

然レトモ一層深ク此問題ヲ攻究スル時ハ更ニ一個ノ説明ヲ要スル者アリ元來國政ニ要スル總テノ費用ハ皆國家ノ或必要ト要求トテ充スベキ者ナリ此點ヨリ曰ヘバ總テ國家ノ支出ハ各々其目的ニ關シテ全然生産的ノ者ナリト曰ハザルベカラズ而モ或ル支出ハ國家繁榮ノ増進ニ直接ノ影響ヲ及ボシ或ル支出ハ間接ノ影響ヲ及ボス例ヘバ國家ニシテ交通方法ノ爲メニ財ヲ費スコト多ケレバ多キ程交通方法ハ改良シ道路ノ數モ増加スベシ國家ニシテ教育ニ費ス財多ケレハ學校ノ數ヲ増加シ字ヲ書シ書ヲ讀ム者ヲ増スベシ而モ一方ニ於テハ秩序ト安全トヲ保證スベキ美俗ト道德トノ缺陷ヲ補ヒ國內ノ靜肅ト安寧トヲ維持センカ爲メ多クノ費用ヲ要スルコトアリ罪惡ノ最モ流行スル處ニハ牢獄ヲ要スルコト最モ多キコトナリ加之此種ノ費用ノ最大ナルモノハ國防ノ費用ニシテ國際間相互ノ信任ノ増長スルト共ニ精密ナル比例ヲ以テ増加セザレバ第一種ノ支出ノ多キ國ニ在リテハ其歲計ハ國民ノ負擔大ナルコト比較的ニ輕シ是レ人民ノ物質的道德的ノ勢力其支出ト増加シ國家ノ財源ヲ多クスレバナリ

人若シ數字ヲ以テ此問題ヲ解釋センガ爲メニ最近ナル露國ノ歲計表ヲ以テ之レ

ヲ他國ノ歲計表ト比較セバ此ノ點ニ於テ露國ノ歲出ハ多ク他國ト異ル所ナキヲ見ルベシ事實ヲ曰ヘバ我國ガ教會僧侶國民教育農業及ビ產業交通機關等ニ費ス所ハ(鐵道ヲ除ク)我歲計ノ百分ノ八ニシテ佛國及ビ英國ヨリモ少ケレドモ(全歲入ノ百分ノ十一)之レヲ日耳曼ニ比スレバ同額ニシテ又伊太利(百分ノ七)ニ比スレバ多シ

然レトモ若シ精密ニ此問題ヲ解釋セントセバ更ニ國家ノ歲計ト地方ノ歲計トノ關係ヲ知ラザルベカラズ下ハ即チ各國ノ歲計ト其ノ地方歲計トノ比例ヲ示ス者ナリ

	國家ノ歲計	地方ノ歲計	百分比例
露國	一、三六二、〇〇〇、〇〇〇「ルーブル」	一九五、〇〇〇、〇〇〇「ルーブル」	一四
普露西	二、三一一、〇〇〇、〇〇〇「マーク」	五二二、〇〇〇、〇〇〇「マーク」	二二
佛蘭西	三、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇「フランク」	一二五、五〇〇、〇〇〇「フランク」	三八
伊太利	一、六三四、〇〇〇、〇〇〇「リラ」	六四四、〇〇〇、〇〇〇「リラ」	三九
奧國本部	五、六六〇、〇〇〇、〇〇〇「フロリン」	二、二七〇、〇〇〇、〇〇〇「フロリン」	四〇

英國

九〇、〇〇〇、〇〇〇 磅

七〇、〇〇〇、〇〇〇 磅

七八

斯ノ如クニシテ上ニ説キシ如ク露國ニ於ケル國家ノ歲計ハ佛國ト同比例ニテ國民ノ收入ヲ收領セリト雖モ而モ佛國ノ地方歲計ハ之レヲ露國ニ比スレハ甚ダ重シ但シ地方ノ官署ニ於テ支出スル所ノ費用ハ重ニ生産的ノ目的ニ供セラル、コトモ亦記セサルベカラス言ヲ換ヘテ之レヲ曰ヘバ地方ノ歲計道路學校病貧民ノ救助等ノ如キ者ニ用キラル、コト多キヲ以テ地方歲計ノ増加ハ必スシモ人民ニ不利ナリトスベカラス都市即チ、ゼムストヴオス、村邑即チ、ヴオロスト、及ビ歐羅巴露西亞ノ農郡ノ統計ニ從ヘバ其支出ノ總計一億五千三百萬、ルーブルニシテ内七千萬、ルーブル即チ百分ノ四十六ハ道路ノ改修維持公共ノ健康慈善及ビ教育ニ費セシ者ナリ

租稅ヲ課スルニ付キ國民ノ重負タルヤ否ヤノ第三要件ハ即チ國家及ビ其地方機關ガ財源トスル租稅ノ性質ニ在リ

此事ニ關シテ財政上ノ當局者ハ意見ヲ同フセズ此處ニハ之ヲ論ズベキ限ニアラザルヲ以テ我等ハ唯我現在ノ國家經濟ノ基礎タル重要ナル原則ヲ説キ且説明ノ

料トシテ史上ノ事實ヲ引證スルヲ以テ足レリトスヘシ

(二) 稅法ノ沿革

露國財政上ノ狀態ハアレキサンダー二世ノ初政ニ於テ著シク變化セリ此ノ時ヨリ前マデハ我財政ハ權利ヲ有セザル大多數ノ奴隸ヲ相手トセザルヲ得ザリキ帝ノ初政ニ於テ奴隸解放ノ事アリシヨリ政府ハ多數ノ新シキ納稅者ト關係ヲ結ブニ至レリ

故ニ此新時期ノ第一要求ハ稅法ノ改良ナリキ然レドモ當時改良ノ事情ヲ明カニセンガ爲メニ我等ハ先ヅ從來存在シタリシ稅法ニ就テ説ク所ナカルベカラスベトトル大帝ノ未ダ即位セザリシ時既ニ時世相應ナル稅法アリキ當時ノ租稅ハ犁ニ課セラレタリ(日耳曼ノ「ブーフエ」古代英國ノ「ハイデ」他語ヲ以テ之ヲ曰ヘバ耕作地ノ一定ノ境域ニ從テ課セラレタリ此ノ租稅ハ土地ノ廣狹ト地主ノ產業ヨリ生ズル收入ノ多少ニ從テ差別アリ且都府ト殖民地ニ住スル者ハ一定ナル家族ノ數ヲ以テ收稅ノ單位トナシ以テ其稅ヲ定メタリ故ニ此犁稅ハ同時ニ土地家屋及ビ物産ニ賦課セシ者ナリ然レトモ此稅法ハ空位ノ時期ハ(一五九八—一六一三年)ニ起

リタル政治上ノ争鬪及ビ之レニ次ギテ起リタル戦争ニ因リテ大ニ破毀セラレタリ此故ニペートル大帝ハ第十七世紀及ビ第十八世紀ニ於テ西歐諸國ニ行ハレタリシ人頭税ヲ以テ犁税ヨリハ一層簡短ニ歳入ヲ得ルノ道ナリト思料シタリ之ニ因リテ人頭税及ビ之レニ伴ヘル納税ノ階級即チ農夫市民商人ノ階級ハ一七二四年ニ於テ始メテ露國ニ施行セラレタリ爾來露國ノ直税ハ其主要ノ部分ニ於テ改革セラレ、コトナク唯カテリン二世ノ世ニ於テ商人ノ人頭税ヲ除キ此ノ代リトシテ資本ニ課税セントセシコトアリキアレキサンダー即位ニ於テ此種ノ税ハ實ニ左ノ如クナリキ

(一) 人頭税

(二) 「ゼムスキイ」ノ税 重モニ人口ニ因リテ課ス

(三) 國有地ノ奴隸ニ課スル税 是レ事實ニ於テハ官有地ヲ使用スルガ爲メニ納税スルモノニシテ人頭税ニ加算スヘキモノナリ

此ノ人口税即チ人頭税ノ賦課力ノ不公平トナルハ其ノ人口ガ眞實ヲ得ザル時ニ在リ勿論村落ニテハ人頭税ノ賦課ハ自治體ノ自ラ定ムル所ニシテ自治體ハ個人

タル農ノ所有地ト收入トニ從テ之レヲ徵收ス然レトモ各村ニ於テ徵收スベキ税額ハ一八五七年ノ人口再調査ニ因リ登録シタル者ニ從テ之レヲ賦課セシテ以テ實際ノ數ト甚ダ異ナル所アリ故ニ村落ニ因リテ調査セシ人口ハ實際ノ男子ノ數ヨリモ多キコト五倍ニ至ルコトアリ

之ト同時ニ連帶納税ノ法ヲ定メ之レヲ一般農夫ノ收税ニ普及セシメタリ連帶納税ノ法トハ即チ一個人ニ對シテ納税ノ責任ヲ負ハシメズ之ヲ自治體全體ニ負ハシムルモノニシテ若シ租税ノ未納アレバ之レヲ實際ノ怠納者ヨリ徵收セズシテ一村全體ノ住民ヨリ區別スル所ナク徵收スルモノナリ此ノ如キ徵税法ハ旅行券ノ法ニ因リ農民ヲ土地ニ固着セシメ因テ以テ彼等ヲシテ納税ヲ避クル能ハサラシムルノ必要アリ而シテ之ト共ニ他方ニ於テハ農民ガ現ニ取ル所ノ職業ヨリモ更ニ有益ナルモノヲ撰ンテ移ルコトヲ抑制スルノ傾向アリ終ニ或地方ニ於テハ怠納ノ税額ハ甚ダ多クシテ賦課セラルベキ税額ノ全數ニ超過スルニ至レリ此ノ如キ不便アリシガ爲メニ漸ク改良ノ途ニ就キ先ヅ一八六三年ニ於テレウテルンガ財政ノ任ニ當リシ時都邑ニ住スル人民ノ中富有ノ度最モ低キ者タリシ市

民ノ階級ニ課セラレタル人頭税ヲ廢シ之レニ代フルニ都邑植民地村落ニ於ケル所有地ニ課シタル税ヲ以テセリ農民ノ人頭税ハ現世紀ノ第八十年期マデ存在セリ而シテ人頭税ト同ジキ方法ニ因リテ彼ニ加課セラレタル他ノ租税ハ次第ニ宥除セラレタリ斯クシテ一八五九年ニ至リ國家ニ直隸スル農夫ハ地租ヲ課シ以テ人頭税ヲ除クニ至レリ尋テ一八六四年ヲ始メトシテゼムスキイノ人頭税ハ殆ンド土地及ビ處有地ニ屬スル財産ニ課セラレタル租税ニ代ヘラレ其ノ一部分ハ一八七五年地租ノ名ニ因リテ歲計豫算表ニ載セラル、ニ至レリ此ノ地租タル全ク所有者ノ階級及ヒ状態ニ關スルコトナク專ラ土地ニ課セラル、モノナリ而シテ一八七九年ニ至リテ人頭税ヲ廢スルノ可否ヲ考料スベキ勅令ヲ發セラレタリ其ノ結果終ニ重要ナル案ヲ實施スルニ至リシハアレキサンダー三世ノ治世ニシテブーングー氏ガ財政ノ任ニ當リシトキナリ是レヨリ先キ一八八三年從來人民ノ重荷タル階級ニ因リテ租税ヲ區別スルノ法ヲ廢シ以テ改革ノ前提ヲ爲シ一八八七年一月一日ヨリ歐洲露國人民諸階級ニ課セラレタル人頭税ヲ全廢シタリ然レトモシベリヤニ於テハ人頭税及ビ農夫ノ地租ハ猶存セリ是レ此所有地ノ多寡ヲ

精密ニ量ルノ道ナケレハナリ然レトモ此ノ處ニモ猶改革ノ端緒ヲ開カザルニ非ズ男子ニ課シタル「ゼムスキイ」ノ人頭税ヲ代ヘテ土地ニ課税スルニ至レルガ如キ是ナリ是ヲ以テ人頭税ノ法ト密着ノ關係アル不便ナル旅行券ノ制限ハ一八九四年ノ新旅行券ノ規則ニ因リテ著シク寛大ニセラレ之ト同時ニ前帝ノ意ニ從ヒ農民ヨリ徵税スル方法ヲ改良セントスル財政法ハ出テ來レリ

(三) 直税

現時ニ於ケル露國ノ重ナル租税ハ都邑殖民村落土地及ビ所有地ニ課スルモノニシテ往時ノ如キ階級ニ因リテ差別アル租税トハ性質ヲ同フセザルナリ此等ノ租税徵收ニ關スル方法ノ重要ナル性質ハ各州ヲシテ一定ノ税額ヲ納メシムルニ在リ而シテ此額タル地方ノ政治機關ガ特ニ「ゼムストヴオ」及ビ都邑ニ對シテ寛大ナルヲ以テ方針トシテ爲シタル各地租税ノ分配率ヲ基礎トシ各州都邑及ビ一個人ノ中ニ分配シテ徵收スル者ナリ

因是觀之我等ハ帝國全體ノ丈量ヲ爲シタルコトナク且所有地ノ性質耕作ノ度等ノ如キ土地ニ關スル利益ノ精密ナル記載ヲ有セザルコトヲ知り得ベシ而モ是レ

決シテ驚クベキコトニアラズ何トナレバ佛國ノ如キハ我國ニ比スレバ地積頗ル
 狹少ナリト雖モ猶全國ノ丈量ヲ爲スニ四十年ヲ費シタレバナリ且現時ノ西歐諸
 國ハ全國ノ丈量ヲ爲シ易キ理由アリ是レ土地ニ屬スル財産ノ分量ト性質トヲ明
 瞭ニ解釋シ置クハ獨リ財務ノ當局者ニ取リテ必要ナルノミナラズ所有者モ土地
 所有權ヲ保護シ農業上ノ信用貸借法ヲ安全ニスルニ必要ナル典地ノ法アルガ爲
 メニ自ラ之ヲ知ルノ要アルニ因ルナリ

借地典地等ノ目的ノ爲メニ所有地ヲ登記スルノ法が存在スル處ニ在リテハ土地
 ノ丈量ヲ爲スコト極メテ易ク其費用モ亦少シ而モ露國ニテハボウランド及ビバ
 ルチツク地方ヲ除クノ外此ノ如キ方法ハ猶未タ存セザルナリ

然レトモ概シテ之ヲ曰ヘバ西歐ノ富有ニシテ且文明ナル國ニ於テモ猶十分満足
 ナル結果ヲ得ル能ハザル直稅分配ノ如キ難事業ヲ爲サントシタル者ナルニ關ハ
 ラズ我々ゼムストヴオノ制度ハ此點ニ於テ豫期以上ノ結果ニ達シタリト云フベシ
 蓋シ弊害ノ因リテ起ル所以ハ法律ニ因リテ定メラレシ直稅分配法ノ性質ガ其宜
 シキヲ得ザルニ在リ故ヲ以テ一八九三年ニ於テ固定財産即チ所有地ノ評價ニ關

スル規則ヲ發シ財政ノ當局者ゼムストヴオ及ビ都府ノ代表者ニ因リテ構成シタ
 ル州及ビ郡ノ評價委員ヲ撰定シタリ此法ハ土地ヨリ產出スル平均ノ收入額ニ從
 テ土地ヲ評價シ敢テ其實價ニ據ラズ且ツ前法ノ如クセズ不動産ヲ評價スル時ニ
 遵守スル細則ヲ以テ其前置規則トスルモノナリ

土地及ビ所有地ニ課セラレタル我國稅ノ比例ハ甚ダ苛酷ナルモノト言フベカラ
 ズ此ヲ平均スルニ此ノ如キ財産ヨリ生ズル收穫ノ百分ノ四ニ過ギザルナリ但シ
 埃國ノ如キ地租ハ收穫ノ百分ノ二十三ニ及ブ而モ之ト共ニ忘ルベカラザルハ政
 府ニ納ムル租稅ノ二千五百萬ルーブルニ加フルニゼムスキイ及ビ自治區ノ稅ア
 リ貴族社會ニ屬スル階級的ノ義務アリ田舎及ビヴオロスト社會ノ必要ヲ供給ス
 ベキ農夫自治體ノ租稅アリ及ビ土地購買ノ費用アルコトヲ忘ルベカラズ此等ノ
 附加物ヲ加ヘテ土地及ビ所有地ヨリ收入スル租稅金額合計二億ルーブルニ達ス
 内(歐羅巴露西亞ノ五十二州及ビ附屬地ニテ

政府ニ納ムル租稅
 都市ニ納ムル租稅

二千五百萬ルーブル
 八百萬ルーブル

「ゼムスキイ」ニ納ムル租税 四千萬ルーブル

貴族ニ納ムル租税 二百萬ルーブル

農夫ノ自治體ニ納ムル租税 四千萬ルーブル

購地費用 八千八百萬ルーブル

即チ全國人民收入ノ百分ノ三十ナリ而シテ之ト同時ニ總テノ不動産ヨリ區別ナク納メシムルモノハ僅カニ七千三百萬ルーブルニシテ其外二百萬ルーブルハ特ニ貴族ノ出ス所ニシテ一億二千八百萬ルーブルハ農夫ノ土地ヨリ納メシムル者ナリ加之別ニ農夫ノミ專ヲ納ムル所ノ割賦金ノ如キ者アリ道路開修ノ義務警部其他ノ官吏ノ旅行スル時馬車ヲ供スル所ハ其特ニ著シキ者ナリ「ゼムストヴオ」ハ此等ノ割金ニ代フルニ一定ノ金額ヲ以テスルノ權ヲ有シ成ルベク此ノ權ヲ利用シテ大ニ自ラ益シタリ而モ此ノ如キ改革ハ全國一般ニ行ハレタル者ニ非ズ且ツ上ニ記シタル農夫ノ出スベキ二億二千八百萬ルーブルノ中八千八百萬ルーブルハ我等ガ階級ヲ論ジタルニ於テ既ニ記シタル土地購買ノ爲メニ生ズル所ナリ此購買ノコトタル從來奴隸トシテ土地ヲ耕シタル農夫ヲシテ其ノ土地ノ所有主タ

ラシメンカ爲メニ從前ノ主人ニ拂フベキ金額ヲ政府ヨリ支拂ヒシコトアリシガ之レヲ補償スル爲メニ出ス所ナリ一八八七年以來國有地ノ農夫モ亦從來ノ地租ノ代リニ土地購買ノ費ヲ大藏省ニ納メ以テ其土地ヲ買フノ方針ヲ取レリ地所購買ノ事ハ一九三一年ニ至リテ完結スベシ

貿易及ビ工業ニ課スル直税ニ關シテハ露國ハ一八二四年以來佛國ノ法ニ倣ヒテ專賣及ビ特許ノ法ヲ行ヒ資本ノ數ニ因ラズ特ニ貿易ノ權ヲ有スル各社ニ向テ一定ノ稅ヲ徵スルコト、ナシタリ此外各貿易商ニ屬スル店舗ノ數ニ從フテ徵收スル特別稅アリ是レ專ラ商業上產業上ニ使用セラレタル資本ノ高ト均衡ヲ得セシメンガ爲メナリ

此法ノ重ナル缺點ハ太甚シキ不公平ニ在リ假令特許及ビ免許ニ對スル租稅ハ貿易及ビ產業ノ種類ニ因リテ若シクハ地方ニ因リテ其高チ異ニスルモ數バ數百萬ノ資本ヲ用ヒテ起シタル商業上及ビ產業上ニ於テ其租稅トシテ出ス所唯數千金ヲ使用スル事ヨリモ多カラサルコト往々ニシテ然レバナリ

此不公平ヲ正シ同時ニ貿易及ビ工業ヨリ政府ノ收入ヲ增加セン爲メニムーニング

氏ガ財政ノ衝ニ當リシ時一八八五年二種ノ附加税ヲ設ケタリ一ハ各株式會社及
 ビ合資會社ニ對シ收益ノ百分ノ五ノ特別税ヲ課スルナリ二ハ總テ其他ノ商業上
 及ビ工業上ノ事業ハ三年毎ニ始メタル各州ノ定額ニ從ヒ各其應分ノ税ヲ出スナ
 リ納税者ヨリ撰出シタル議員ニ因リテ補助セラル、收税吏ハ年々此定規ニ因リ
 各郡及ビ納税者間ニ其收益ノ度ニ從テ出金スベキ租額ヲ分賦スルコトヲ掌ル
 統計表ノ示ス所ニ因レバ最近三十年間ニ於ケル貿易及ビ工業ヨリ徵收スル我税
 額ハ六ニ増セリ一八六三年ニハ其額六百二十萬ルーブルニ過ギサリシガ一八九
 三年ニ至リテハ四千〇五十萬ルーブルニ達セリ是レ其額既ニ七倍ニ達シタリ而
 シテ内附加税ハ千三百萬ルーブルニ過ギズ然レトモ貿易及ビ工業ハ「ゼムスト」及
 ビ都府ノ利益ノ爲メニ使用スル二千萬ルーブル以下ノ地方税ニ對シテ一モ負擔
 スル處ナキヲ以テ此租税ハ多額ナリト云フヘカラス且吾人若シ收益百分ノ五及
 ビ其他商人ニ分賦スル新税ヲ除キ國家ノ收入ト工業及ビ貿易ヨリ出ス税トノ關
 係ヲ見レバ後者收入ノ比例漸々減少スルヲ見ル即チ一八六三年乃至八三年ハ平
 均租税金額ノ百分ノ十一ナリシガ一八八三乃至九三年ニハ百分ノ三個六ニ過ギ

ザルニ至レリ是レニ因リテ之レヲ觀レバ特許及ビ免許ニ對スル現今ノ租税法ハ
 既ニ其達スベキ制限ニ達シタルガ如シ此事情ハ終ニ商業上及ビ工業上ノ租税法
 ヲ根本的ニ改良スベシテフ問題ヲ提起スルニ至リ現世紀ノ第八十年以來討論漸
 ク盛ニシテ終ニ一八九二年ニ於テ大藏省中ニ特別委員ヲ設ケテ審査セシムルニ
 至レリ

土地及ビ土地ニ屬スル財産並ニ貿易工業ニ課スル租税ノ外ニ人民ガ他人ニ貸與
 シタル資本金ニ課スル租税アリ何レノ國ニテモ株券義務公債證書合資會社株券
 等ヨリ利子ヲ得之レニ因リテ生活スル多數ノ人物アリ而シテ西歐諸國ニ於テハ
 久シキ以前ヨリ此ノ如キ租税ニ對シテ課税シタリシガ露國ニテハ一八八五年始
 メテ此税ヲ設ケ現ニ百分ノ五ノ率ヲ以テ徵收セリ

上ニ掲ゲタル租税ハ歲入トナルベキ重要ナル税額ヲ盡シタリト謂フベシ然レト
 モ西歐諸國ニ於テハ現世紀ノ始メヨリ一般所得税ノ法ヲ行フニ至レリ此法ハ土
 地家屋資本產業勤勞ヨリ生ズル各種ノ所得ヨリ納税者及ビ其家族ノ生存ニ必要
 ナル額ヲ引キ去リタル高ニ對シ適當ノ率ヲ以テ課スル者ナリ而シテ各納税者ノ

所得額ヲ算スルノ極メテ難キコトノ一事ハ露國ニ此法ヲ應用スル一大障害タリト雖モ此法ノ原則ハ大藏大臣ウイツテ氏ガ一八九四年ニ定メタル都府ニ住スル人民ヨリ其借家料ノ多寡ニ應ジテ租稅ヲ徵スル法ヲ施行シタルニ因リテ幾分カ實行セラレタリ此法タル借家料ノ多寡ハ概シテ在住者ノ貧富ニ應スル者ナリトノ原則ニ基キタルモノナリ然レトモ此ノ租稅タル固ヨリ所得稅トハ大ニ趣ヲ異ニスルモノニシテ都府ニ住セザル人民ハ之レニ關セザルナリ而シテ此ノ事實ハ亦タ露國ノ都府的生活ノ發達ガ西歐諸國ニ比シテ著シカラザルコトニ關係アリトス

正當ニシテ且規律アル稅法ヲ定メントシテ前二帝ノ世ニ施行セラレタル諸事ヲ觀察スルニクリミヤ戰爭及ビ土耳其トノ戰爭ニ關シテ我財政當局者ガ困難シタルノ迹ハ到底掩フベカラズ而モ此ノ如キ艱難アリシニ關セズ人頭稅ハ廢セラレタリ之ト共ニ我稅法ノ中ニ存セシ階級的ノ制モ亦廢セラレタリ土地ニ屬スル財產若シクハ貿易工業ノ收益ニ對スル正當ナル賦課ノ原則ハ施行セラレタリ從來課稅ヲ免レタル所得ノ大部分ハ納稅ノ義務ヲ負フニ至レリ而シテ一般ノ所得稅

モ亦施行セラルベキ初步ニ達シタリ
殊ニ先帝ノ世ニ於テ施行セラレタル稅法ノ歴史ハ左表ヲ瞥見セバ其大畧ヲ看取スルコトヲ得ベシ

(一)租稅ヲ出ス階級ヨリ徵收セシモノ	一八八一年見積	一八九五年見積	増減
人頭稅	百萬元トシテ 五九	同上	一五八
地租	三五	二	一三三
購買費	七二	八八	一六
合計	一六六	九一	一七五
(二)總テノ階級ニ課セラレタル租稅 <small>ポルランドハ稅法ノ改革ナルヲ以テ之レヲ除ク</small>			
土地及ビ土地ニ屬スル財產ニ課セラレタル稅	一六	三二	一六
商工業ニ課セラレタル租稅	一九	四一	二二
資本金ニ課セラレタル租稅	—	一三	一三
相續稅	—	六	六
家屋稅	—	三	三

之ト同時ニアレキサンダー二世及ビアレキサンダー三世ノ治世ハ間税ニ關スル
 許多ノ改革アリキ

(四) 間税

露國ニ於ケル間税ハ消耗品ニ課セラル而シテ其一部ハ帝國內ニ於テ徵收ス即チ
 酒、煙草、砂糖及ビ揮發油マツチ等ノ産額ニ課スル國税是ナリ曩時ハ鹽ノ如キモ亦
 國税ヲ課セラレキ其他ハ即チ輸入品ニ對シ國境ニ於テ課スル者ニシテ之ヲ關稅
 ト爲ス此等ノ租稅ハ自然消費者ノ拂フモノナルガ故ニ結局各人ノ所得ヨリ出ル
 モノナリ

實際上ヨリ觀察スレハ直稅ハ間税ヨリモ便利ナル者ナリ是レ其強迫的手段ヲ要
 セズ物品ノ費消ニ比例シテ少額ツ、分賦スルガ故ナリ是ヲ以テ總テノ歐洲諸國
 ノ財計表ニ於テハ間税其要部ヲ占ム

然レトモ他ノ方面ヨリ觀察スレバ間税モ亦弊害ナキニ非ス何トナレバ最も多ク
 間税ヲ得ベキ消耗品ハ民間ニ於テ最も必要ナル者ニシテ消費者ノ財產ニ比例シ

テ消費セラルヘキ物品ハ最も少キ間税ヲ得ベキ者ナレバナリ此意義ニ因リテ之
 ナ論ズレバ麵包、鹽及ビ肉ニ課スル間税ハ最も不公平ナル者ナリ是レ此ノ數者ハ
 貧富ノ人共ニ消費スルガ故ニ同額ノ間税ヲ課セラルレバ自ラ貧民ヲシテ此等ノ
 必需品ヲ費用スルノ量ヲ減セシムルモノナルガ故ナリ曩時ハ此ノ如キ間税甚ダ
 多數ナリキ現時ト雖モ或邦ニハ猶此ノ如キ者ヲ存スルナリ露國ニテ曩時人民ノ
 鹽ニ課シタル間税ハ即チ此一種ニシテ人民ヲ苦シムルコト太甚シク家畜ノ飼養
 及ビ其他ノ産業ニ大害アリシ者ナリ

此故ニアレキサンダー二世ハ凶年ニ於テ帝ガ人民ノ幸福ニ注意スルコト切ナル
 者アルヲ示サンガ爲メニ一八八一年一月一日ヨリ鹽ニ課シタル國税ヲ廢シ輸入
 ノ鹽ニ對シテモ亦同様ニ命令ヲ廢シタリ此良法ノ結果ハ顯著ナリキ年々鹽ノ産
 出ハ之ガ爲メニ増加シテ平均五千三百萬ブードヨリ七千八百萬ブードニ上リ其
 代價亦從來ノ鹽稅ノ高ヨリモ低キニ至レリ現時ニ於ケル露國財政上ノ狀態ハ之
 レ西歐諸國ニ比スルニ人生必要ノ物品ニ對シテ全然無稅ノ方針ヲ取レル一事ニ
 於テ勝レル所アリト謂フベシ斯ノ如クニシテザルアレキセイ、ミハイロウイチガ

其子孫ヲ誠メテ食品ニ課税スルナカラシメタル訓誡ハ實際ニ行ハル、ニ至レリ
 總テノ直税ノ中高ニ於テ最モ大ナルハ酒税ナリ此税ハ其關稅ニ屬スル者ヲ除
 クモ猶二億六千萬「ルトブル」即チ總間税ノ百分ノ八十二達ス是レ獨リ露國ニ於テ
 歲入中ノ最大數ヲ占ムル税目タルノミナラズ例ヘバ佛國ノ歲入ニ在リテモ此ノ
 如キ多額ノ税目ハ存セザルナリ

我等ハ露國ニ於テ酒類ノ賣買ガ始メテ政府ノ税源トナリシ時ニ就キテ精密ナル
 智識ヲ有セズ而モ第十六世紀ニ於テ都府ニハ既ニ政府ノ酒藏ナル者ノ存シタル
 コト及ビ第十七世紀ニ於テハ酒精麥酒及ビ糖蜜水ノ賣捌ガ政府ノ特權タリシコ
 トハ明白ナル事實ナリ而シテ此等ノ酒類ハ政府ノ指揮ノ下ニ在ル店舗ニテ賣捌
 セシコトアリ又ハ其他ノ者ヲシテ賣リ捌カシメシコトアリ此二法ハ共ニ頗ル長
 キ間行ハレシガ大露西亞ノ諸州ニ於テハ一八二七年ヨリ專ラ代理專賣法「フアー
 ミング」アウト、システム」ヲ行フニ至レリ此法ニ因レバ政府ハ酒ヲ造ル者ト契約シ
 テ酒類ヲ買入レ之レヨリ酒類賣捌ノ權ヲ買ヒテ本納局ノ代理者トシテ待遇セラ
 ル、者ニ賣渡シ以テ賣捌カシム是レ等ノ代理者ハ政府ヨリ特ニ價ヲ減ジテ賣リ

渡サル、モノナリトス此方法ハ出納局ヲシテ少數ナル專賣ノ代理者ト直接ニ交
 渉スルヲ得セシムルノ利益アルガ如シト雖モ其實ハ酒ニ關スル收入ヲ徵收スル
 ニ就キ最モ收益ノ少ナキ方法ニシテ且人民ノ福利ヲ殺ス者ナリ何トナレバ自由
 ノ競争ナキヲ以テ人民ハ少數ナル專賣者ノ壓抑ヲ蒙ラザルヲ得ズ而シテ專賣者
 ハ不廉ナル價ヲ以テ惡シキ酒ヲ賣リ其手代等ハ人民ノ酒ノ密造密賣ヲ検査スル
 爲メニ人民ヲ苦シムルコト少ナカラズ是レ大藏大臣レウテルンガ財政ノ要路ニ
 當リシ時一八六三年「フアーミング」アウト「システム」代理店專賣ノ法ヲ廢シタル所
 以ナリ是ヨリ以來酒税ハ二個ノ法ニ因リテ徵收セラル「(一)ハ即チ蒸餾シタル無水
 酒精ノ量ニ從テ課スル國稅ナリ(二)ハ即チ蒸溜所及ビ酒類賣買ノ店舗ニ課スルノ
 税ナリ此外猶麥酒及ビ糖蜜水ニ課スル國稅アリ「ヴオドカ」及ビ他ノ酒精ヨリ生ズ
 ル物産モ亦附加ノ諸税ナリ

斯クノ如ク酒類ノ專賣法ヲ易ヘテ國稅ト爲セシ結果ハ害アリキ酒税ノ歲入ハ漸
 ク増加セリ殊ニ近年ニ於テ殊ニ其然ルヲ見ル從來各人ニツキ三乃至四「コベック」
 ニ過ギザリシ酒税ハ今ヤ十「コベック」ニ達シタリ

次ニ酒精蒸溜ノ法モ亦大ニ進歩シタリ從來ノ古流ナル蒸溜所ハ最モ新シク最モ進歩シタル構造ノ蒸溜所ニ易ヘラレタリ蒸溜ノ原料タリシ者ヨリハ多クノ酒精ヲ得ベキ法ハ發見セラレタリ而シテ穀物ノ代用トシテ多量ノ馬苔薯若シクハ甜菜ノ廢物ヲ蒸溜ノ原料トシテ用ヒラル、ニ至レリ然レトモ之レト共ニ酒類生産ハ大ナル蒸溜所ニ集中スルノ傾向ヲ生ジタルヲ以テ家畜ノ飼養品及ヒ土地ノ肥料ヲ得ベキ所トシテ甚ダ必要ナル小蒸溜所ハ大蒸溜所ト競争スル能ハザルガ故ニ次第ニ廢止スルニ至レリ此ノ如キ狀況ナルヲ以テ政府ハ一八九〇年ニ於テ一法律ヲ發シ農業ニ必要ナル蒸溜所ニ便宜ヲ與フルコトヲ計レリ

酒類ノ賣買ハ一八六三年酒類ニ國稅ヲ課スルノ法ヲ定メシヨリ自由ノ商業トナレリ尋デ人民ノ酒ニ耽ケルコトヲ禁センガ爲メニ酒舖ノ開業ハ都邑ノ自治體ノ許可ヲ得ベキコトヲ定メタリ然レトモ此等ノ自治體ハ此ノ許可ヲ與フル代價トシテ金ヲ納ムベキコト、ナシ、カバ酒類賣買ハ自由ノ商業トナラズシテ酒舖所有者ノ獨占ニ歸スルニ至レリ故ヲ以テ酒ニ耽ケル者ハ猶ホ其數ヲ減セズ是ニ於テ一八八五年ニ至リテ自治體ハ特許ヲ與フルノ權ヲ剝カレ且人民ヲシテ其家ニ

在リテ飲食スルノ風ヲ長ゼシメンカ爲メニ酒舖ヲ變ジテ酒類賣買所トナシ且店中ニ於テ飲食スルコトヲ禁ジタリ然ルニ田舎ノ自治體ハ從來ノ利得ヲ剝ガレタルヲ以テ此新法ヲ喜バズ特許ナキ秘密ノ酒類賣買ヲ獎勵スルニ至レリ

現時ノ大藏大臣ウイツラ氏ハ政府酒類專賣ノ法ヲ施行シテ此ノ如キ狀態ヲ改良セント試ミタリ

此ノ政府酒類專賣法施行ノ結果トシテ政府が得ント欲スル希望ハ從來ノ酒店ニ於テ酒客ヲ誘導シ物品ヲ以テ酒ニ易ヘ若シクハ物品ヲ買トシテ酒ヲ賣リシ弊風ヲ矯正シ田舎ニ於テ勢力ヲ揮ヒシ酒舖ノ主人ノ一種ノ階級ヲ亡サントスルニ在リ且是ト共ニ酒類ノ性質ト製法トヲ改良スルヲ目的トシタリ何トナレバ現時ノ酒舖主人ハ獨リ酒ノ製法ヲ惡シクスルノミナラズ有害ナル原料ヲ混ジテ之レヲ偽造スレバナリ加之各州ニ於テ人民ノ清醒ヲ監視スル特別ノ監督法ヲ設ケシハ飲酒ヲ節セシムルノ效アリ大藏大臣ノ說ニ因レバ此節酒ノ法タル他ノ總テノ場合ト同シク全體ニ於テ酒ノ使用額ヲ増ス者ニシテ同時ニ國家ノ收入ヲ増加スル者ナリ且政府專賣ノ法タル農事ヲ助クル者ナリ是レ政府ニ供給スル酒精ノ多量

ハ農家ノ蒸溜所ヨリ納ルモノナルヲ以テナリ

此法ノ大體ハ既ニ皇帝陛下ノ嘉納シ給フ所トナレリ而シテ一八九五年一月一日ヨリ政府酒類專賣法ハ試驗ノ爲メ先ヅベルム、ウフア、オレンベルグ、サコラノ各州ニ施行セラルハ、ニ至レリ爾後三年間ニ於テ此法ハ更ニ猶太人ノ住スル諸州即チ南部及西部ポーランドノ諸州ニ施行セラルベシ

大藏大臣ハ一八一九年乃至一八二七年ニ於テ幾キニ行ハレタル經驗ニ因リテ政府酒類專賣法ヲ施行スルノ難事タルヲ掩ハントスル者ニ非ズ當時ニ在リテハ實ニ此ノ如キ事業ニ使用スル信任スベキ吏員ヲ得ルニ苦シミタリキ而モ七十年間公務ニ關スル會社ノ思想ハ大ニ變化シタルヲ以テ政府ハ此種ノ行政上經濟上ノ事業例ヘバ鐵道工事ノ如キモノヲ行フニ於テ稍自ラ信任スルヲ得ルニ至レリ蓋シ此ノ如キ者ハ從來極メテ施行スルニ難シトスル所ナリキ其他ノ國稅即チ砂糖煙草揮發油、マツチニ課スル租稅ニ就テハ細論セズ唯其稅額總計八千五百萬ルブルニ上ルコトチ一言シテ以テ足レリトス

古代ノ露國ニハ外部ノ間稅即チ今日ノ所謂關稅ハ未ダ嘗テ存在セザリキ當時實

易上ノ租稅獨リ外國人ニ對シテ國境ニ於テ徵收スルノミナラズ各都邑若シクハ殖民地ニ於テ地方ノ商人ヨリ租稅ヲ徵收スルモノアリ國內ノ各地ヲ區劃スル各渡船場ニ於テモ同様ノモノアリ此關門制度タル商業ノ大妨害ヲナスモノニシテ中世紀ニハ全歐洲ヲ通シテ行ハレシ所ナリキ而シテ近世ニ於テモ或部分ニハ猶存在シタリキ露國ニテ始メテ之ヲ廢止シタルハ僅ニ一七五三年ニ在リ國境ヲ通過スル商品ニ對シテ賦課スルヲ以テ現時ノ所謂關稅ナルモノ、定義トセバ其存在ハモスコト時代ノ末ト謂フベシ而モ此時ニ於テ唯輸出入品ニ對シテ均シク賦課シタル國家歲入ノ一部タルニ過キザリシナリ

貿易ノ進歩發達ヲ謀ル爲メニハ何事ヲ爲スコトヲ辭セザルベトル大帝ハ之レニ反シテ露國ニ産シ得ベキ外國品ニ對シテハ稍高キ關稅ヲ課シ以テ保護貿易ノ政策ヲ採リタリ事實ニ於テ高キ關稅ト高キ關稅ヲ課シタル物品ノ產出ガ内國ニ於テ進歩スル程度トハ互ニ相關スル者アリキ爾來我國關稅政畧ハ常ニ動搖ノ狀態ニ在リキ第十九世紀ノ嚴酷ナル關稅則ニ因リテ生ゼシ貿易上ノ不満足ナル狀態ハ其五十年期ノ末ニ於テ自由貿易論ノ流行ヲ來シ終ニ一八五七年ニ至リテ關稅

ヲ低減スルニ至レリ然レトモ其結果タル外品ノ輸入ヲ増加シ終ニ貿易ノ平衡ヲ失ヒシヲ以テ保護税法ハ漸ク根據ヲ長シ當時ノ皇太子タリシアレキサンダー三世帝ノ編纂シタル一八六八年ノ關稅則ヲ始メトシテ次第ニ保護税法ニ傾ケリ一八七七年關稅ハ總テ黃金ヲ以テ拂フベキコトヲ命シ之レニ因リテ百分ノ三十ノ關稅ヲ増加スルヲ得タルハ明ニ此ノ方向ヲ示スモノナリ此ノ増加ハ自然ニ從來ノ稅則中不公平ノ處ヲ顯著ナラシメシカバ各品ノ稅額ヲ再査シ之レヲシテ露國產業上實際ノ狀態ニ一致セシムルノ必要ヲ感ジタリシカバ大藏大臣ブリングー氏ノ任ニ在ル一八八二年ヨリ次第ニ關稅則ヲ改良シ石炭鐵其他製造ニ對シテハ稅額ヲ増加シ我產業ニ必要ナル上製品及ビ粗製品ハ其物ニ因リテハ全ク關稅ヲ免シタリ尋テ一八九一年ニ至リテ新ラシキ關稅補則ヲ廢シタリ是レ專ラ日耳曼ノ商業ニ影響スベキモノナリシガ日耳曼モ亦之レガ爲メニ我國ニ對シテ抗敵スベキ幾多ノ處置ヲ取リタリ是ニ於テ二國關係次第ニ惡シク一八九二年ニ至リテ日耳曼ハ露國以外ノ諸國ト通商條約ヲ結ビ我輸出品ト同様ナル諸國ノ輸出品ノ關稅ヲ低廉ニシ專ラ我麥ノ輸出ニ對スル競爭者ニ利益ヲ與ヘンコトヲ謀リタリ

爾來關稅則ノ戰爭ハ日ヲ追フテ激シク互ニ關稅ヲ増加シタリ然レトモ一八九三年ニ至リテ露國ハ總テノ歐洲諸國ニ對シテ均シク從來ノ關稅法ヲ廢シ西歐諸國ニ行ハル、相互關稅法ヲ採用セリ此法タル我輸出品ニ對シテ低廉ナル關稅ヲ課スル國ニハ我モ亦少額ノ關稅ヲ課シ其ノ他ノ國即チ日耳曼等ニハ多額ノ關稅ヲ課スル者ナレドモ終ニ日耳曼ニ對スル相方ノ誤解ヲ明ニセンカ爲メニ特ニベルリンニ會議ヲ開キタリ

一八九四年ノ通商條約ハ此商議ノ結果ニシテ露國ト日耳曼トガ一九〇三年マデノ長期間互ニ最惠國ノ權利ヲ得ヘキコトヲ約シタルモノナリ此商業上ノ關係ノ確定スル甚ダ重要ナル結果ヲ來セシモノナリ此條約ニ因リテ我農產物ハ國際的ノ市場ニ於テ他國ノ同品ト公平ナル競爭ヲ爲スコトヲ得農民ヲシテ麥價低廉ノ爲メニ生ジタル現時ノ困難ヲ輕クセシメタリ但シ此ノ如キ結果ヲ得タルハ日耳曼ノ產物ニ對スル關稅ヲ輕減シ大ニ議スル所アリタル爲メナルコトハ勿論ノコトナリ

財政ノ畧說ヲ終ルニ方リテ我等ハ他ノ種類ノ租稅即チ印紙證券及ビ裁判上ノ稅

ナ數ヘザルベカラズ且之ト共ニ官署ノ與フル文書旅行券鐵道旅客特別急ギ鐵道荷物保管財産等ニ課スル稅ヲモ之ニ加ザルベカラズ而シテ是等ヲ通ジテ合計五千萬ルーブルニ上ル鑛山造幣郵便電信其他諸種ノ固有財産ヨリ生ズル歲入ニ關シテハ他ノ章ニ於テ記述スルノ機會アルベシ

(五) 國家ノ信用制度

我等ハ既ニ我租稅ニ關スル財政ノ大綱頗チ畧記シタルヲ以テ是ヨリ更ニ國家ノ歲計表及ビ信用ニ關シテ數言ヲ費サマルベカラズ蓋シ多少恒久ノ形狀ニテ國家ノ信用ヲ利用シタルハ女帝カテリン二世ヨリ以前ノコトニ非ズ而シテ此信用タル現世紀ノ第六十年マデハ下ノ形狀ニ於テ存在シタリ即チ(一)外國債是レ最モ不便利ナル條件ニ因リテ借り入レシモノナリ(二)銀行ノ積金ヨリ借入ルコト(三)紙幣ヲ發行スルコト是レナリ別ニ又利子付ノ内國債ナル者アリシモ比較的甚ダ稀ナリキ何トナレバ當時政府ガ其ノ信用ヲ利用シタルハ大抵政府銀行ノ積金ニ限りタレバナリ而シテ政府銀行ハ之レガ代償トシテ公債若シクハ土地ノ抵當ヲ以テ政府ニ對スル信用ナルコトヲ許シタリ紙幣ハ其ノ非常ナル額ノ發行アリタルト

且久シク戰爭ノ續キタルトニ因リ百「コヘツク」ノ價チ有スル「ルーブル」紙幣ガ其ノ價僅ニ二十五「ベツク」ニ至リシヲ以テ財政ノ秩序ヲ挽回セ、ンガ爲メニ莫大ナル勳勞ヲ爲スニ至レリ此秩序挽回ノ事タル一八一七年ニ至リテ始メテ緒ニ就キタリ何トナレバ此年ヨリ紙幣ノ新規ナル發行ヲ停止シ同時ニ紙幣ト共ニ公私ヲ論セズ時價ニ從テ硬貨ヲ使用スルコトヲ許シタレバナリ此ノ廢令アリシト共ニ硬貨ハ外國ニ流出セズ國內ノ市場ニ於テ紙幣ノ交換率ヲ定ムル標準トナレリ勿論此ノ後下雖モ紙幣ノ交換率ハ上ラザリキ而モ紙幣ノ價格ハ頗ル堅固ナル者トナリシカバ一八四三年ニ至リテ銀貨ト交換シ得ベキ「ルーブル」紙幣ヲ以テ三「ルーブル」半ノ舊紙幣ニ易ユベキ率ニ因リテ新舊紙幣ヲ交換セシ時モ障害ナクシテ行ハル、コトヲ得タリ

然レトモ其後十年ニシテ我貨幣製度ハ新ナル痛撃ヲ受ケタリ即チ一八五三年乃至一八五六年ノ四年間ニ續キタルクリミア戰爭ニテ殆ンド八億「ルーブル」ノ非常ナル財計不足額ヲ生ジタリ此ノ如キ巨額ニ向テ年々不足額ヲ増加スル租稅ヲ以テ補充センコトハ到底能ハザル所ナルノミナラズ殆ンド歐洲全體ヲ敵トシテ戰

ヘル當時ニ於テ外國債ヲ募ルコトモ亦爲シ得ベキコトニ非サルヲ以テ我等ハ政府銀行ヨリ二億二千萬ルーブルヲ借り更ニ最後ノ手段タル紙幣ノ新發行ニ因リテ僅ニ満足セザルヲ得ザリキ此紙幣新發行アリシガ爲メニ三億千百萬ルーブルノ紙幣ハ七億三千五百萬ルーブルニ増加シ之ト共ニ銀紙ノ交換ヲ停止シ硬貨ヲ以テ諸拂ヲ爲スコトヲ禁ジタリ蓋シ此ノ如キ手段ヲ取ルニ至リタルノ意ハ紙幣ノ價格ヲ維持センガ爲メナルヘシト雖モ必然ノ事實トシテ硬貨ハ外國ニ流出シ紙幣ノ相場ハ專ラ輸出入ノ額ニ因リテ定メラル、ニ至レリ但シ當時ノ貿易ハ外國ニ對シテ負債スル所多ク且輸出モ亦發達セザリシカバ二者ノ權衡ハ常ニ我不利ニ傾キタリ

此ノ如クニシテ一八六六年ノ紙幣交換率ハ一ルーブルノ紙幣ニ對スル硬貨七十六コベツクトナリキ紙幣ノ一部ヲ流通額ノ中ヨリ減シ去ラントスル總テノ政策ハ不満足ノ結果ヲ生ジタリ而シテ一八六二年ニ於テ再ビ時價相場自由交換ノ法ヲ施行シタリシニ其結果唯國立銀行ノ準備硬貨ヲ減耗セシメ之ガ補充トシテ新シキ負債ヲ増加シタルノミ何トナレバ當時硬貨ハ國內ニ留存スルコトナク直ニ

外國ニ流出シタレバナリサレバ一八六六年以來紙幣ノ交換價格漸ク上騰シ一八七四年ニ至リテ八十七コベツクニ上リシハ專ラアレキサンダー二世帝ノ治世ニ於ケル一般財政上ノ處置ト此ノ時代ニ於ケル外國交際ノ平和トニ歸セザルベカラズ

大藏大臣クニアエヴィツチノ時殊ニレウテルン氏在職中政府ハ專ラ税法ノ改革ト共ニ國民ノ生産力ニ何ノ補助ヲモ與ヘザル古流ノ信用法ヲ改メンコトニ注意セリ此國ニ於テモ當時ノ他國ト同ジク改革ノ重要ナル方法ハ一個人ノ發達ニ在ルコトヲ看取シ專ラ一個人ノ信用ニ關スル制度ヲ改メントシ從來ノ政府銀行ヲ廢シ商工業ノ發達ヲ目的トスル現時ノ國立銀行ヲ立テタリ爾來商工業ノ進歩及ビ會社繁榮ノ増加スルト共ニ國家信用制度ハ更テニ新シキ職務ヲ加ヘタリ從來ノ國債タル其ノ目的專ラ巨額ナル財計ノ不足ヲ補充スルニ在リキ即チ莫大ナル戰費ニ充ツルニ在リキ而モ爾後規模宏大ナル幾多ノ大事業ヲ計畫シタリシカバ巨費ヲ要スルコト獨リ戰爭ノミナラズ財政上ノ局面ヲ一變シタリ農夫ヲ助ケテ其私有地ヲ買ハシムルコトモ必要ナリタリミヤ戰爭中痛ク其缺乏ヲ減シタル鐵

道建設ノ爲メニ吝マズシテ金銀ヲ支出スルコトモ必要ナリ此等ノ目的ノ爲ニ巨額ノ金ヲ要セシカバ自然ト國債ノ高チ増加セリ領主ハ其ノ農民ニ分與シタル土地ニ對シテ政府ヨリ貨幣ヲ受ケザリシカドモ公債證書ヲ受ケタリ出納局ハ農民ノ爲メニ土地救贖代トシテ利子ト年賦金トヲ拂ハザルベカラズ鐵道ノ起業ヲ助ケンガ爲メニ政府ハ鐵道會社ノ株券ニ對シテ保證シタル利子ヲ拂ヒ若シクハ其受持ツベキ株券ヲ買入レザルベカラズ而シテ是又新シキ負債ヲ要スル者ナリ然レトモ土地救贖法が出納局ニ向ツテ金錢上ノ利益アル者ナレバ暫ク論ゼザルモ猶記シテ忘ルベカラザルモノアリ即チアレキサンダー二世ガ帝位ニ即キシ時ハ唯九百七十九「ベルスト」ノ鐵道アルノミナリシニ其崩御ノ時ニハ二萬千二百二十八「ベルスト」ニ延長シタルコト是ナリ政府ハ又財政ニ關シテ管理ノ缺乏ト秘密トハ人民ヲシテ十分信任セシムルノ道ニ非ラザルコト、認メタリ

是ニ於テ一八六二年ニ於テ一般ニ告知センガ爲メニ豫算表ヲ公ニシ豫算表ニ關スル検査ノ細則ハ樞密院ニ因リテ制定セラレタリ且之ト同時ニ出納局ノ現金取扱所即チ金庫ハ西歐諸國ノ模範ニ從テ統一セラレ總テ金錢ハ大藏大臣ノ金庫ニ

集中セラレタリ蓋シ此時ニ至ルマデハ拂金錢トシテ大藏大臣金庫中ニ保管セラ
ル、者ハ其四分一(即チ二億七千五百萬「ルーブル」ノ内)七千五百萬「ルーブル」ニ過ギ
ズ他ノ四分三ハ各部局ノ現金取扱所ニ保存セラレ其管理ノ法モ甚ダ散漫ナル者
ナリシナリ然ルニ此統一アリシヨリ適當ナル管理法モ成立シ一八六六年以來ハ
豫算ノ執行ニ關スル會計検査院ノ報告モ亦廣ク天下ニ公示センガ爲メニ刊行セ
ラル、コト、ナリタリ

前述ノ諸件ハ良好ナル結果ヲ生ジ從來殆ンド毎年ノ如クニ生ジ殊ニ一八六六年
ニ於テ六千一百萬「ルーブル」ニ達シタル歲計不足額ハ始メ我歲計表ヨリ消滅シタ
リ而シテ大藏大臣レウテルン執政ノ末年タル一八七一年一八七四年一八七五年
ノ三年間ニ於テハ剩餘金スラ生ジタリ例セバ一八七五年ノ剩餘金ハ三千三百萬
「ルーブル」ニ達シタルコトアリ

然レトモ恰モ此時ニ當リテバルカン半島ニ於ケル新キ政治上ノ紛議ヲ生ジ終ニ
一八七七年乃至一八七八年ノ露土戰爭トナレリ此戰爭ニ因リテ生ジタル總費額
ハ一八七六年乃至一八八〇年間ヲ合算スレバ無慮十億七千五百萬「ルーブル」及ビ

巨額ノ國債ヲ生ジタリ而モ此時ニ於テ軍事其他ノ費金ガ大抵内國債ヲ以テ支拂ハレタリシハ特ニ注意スベキ事實ナリトス一八七六年乃至一八八一年ニ銀行公債及ビ東方事件公債ノ二種ヲ廢シ九億〇百五十萬ルーブルヲ募リ得タリ勿論是レノミニテハ當時ノ難關ヲ過グルコト能ハザリシカバ更ニ五億四千三百萬ルーブルノ紙幣ヲ發行セリ此紙幣ノ幾分ハ速ニ流通額ノ中ヨリ吸收セラレ一八八一年ニ至リテハ先キニ臨時發行シタル額ノ中殘ル所ハ四億ルーブルニ過ギザリシト雖モ紙幣ノ價值ハ下落シテ一ルーブルニ付六十三コベツクナリ一八八〇年ニハ非常ナル不足額ヲ生ジタリ

是ヲ以テアレキサンダー三世ハ適當ナル經濟ニ因リテ歲計上ノ堅固ナル平衡ニ達センコトヲ謀リ專ラ意ヲ之レニ用ヒタリ而シテ其治世ノ間ニ於テ曩ニ現世紀ノ第六十年ニ計畫シタリシ財政整理法ノ原則ヲ事實トシタリ

豫算執行ノ特別ナル障害ハ各省局ガ思慮ナク豫算以外ノ負債ヲ爲スコト是ナリ故ニ各省局及ビ各大臣ハ陸軍大臣ト雖モ豫算ニ於テ許サレタル外ノ負債ヲ爲スコトナク其ノ財政ヲ調理スヘキコト及ビ先ヅ必要ナル負債ヲ要求セズシテ他ノ

豫算外ノ金ヲ要求スル處分案ヲ皇帝ニ上奏ス可ラザルコトヲ命ジタリ此ノ結果トシテ額外ノ費用ハ次第ニ減少シ現時ニ至テハ殆ンド存續スルモノナシ

嚴格ナル經濟及ビ財政上ノ改革ハ從來ニ比スレバ五割ノ歲入ヲ増加シ有益ナル結果ヲ生ジタリ我等ガ既ニ説キシ如ク一八八〇年ノ豫算執行ハ不足ヲ生ジ一八八八年ニ至ルマデ年々不足ヲ見タリシモヴイシユネグラトスキイガ大藏大臣タリシ年ヨリ通常歲入ハ同歲出ニ超過シ一八九四年ニ至リテ此超過ハ一億五千八百六十萬ルーブルニ達シタリ

今ヤ出納局ハ自由ニ使用シ得ヘキ遊金ヲ其手ニ有スルニ至リテ一八九一年及ヒ一八九二年ニハ凶歉ニ苦シメル者ヲ救ハンカ爲メニ一億五千四百萬ルーブル以上ヲ費シタリ而シテ當時此資金ハ全ク盡キタリシカト現時ニ至リテ更ニ二億七千百萬ルーブルノ遊金ヲ見ルニ至レリ蓋シ此中一億二千萬ルーブルハ一八九六年ニ於テ特別支出ノ見込アリ殘ル一億五千百萬ルーブルハ其儘存續スベキモノナリ

露國財政上ノ信用ガ増加スルト共ニ露國ヲシテ次第ニ外國市場ニ於テ獨立ノ位

地ヲ占メシムルノミナラズ國債モ亦無比ノ好況ニ達シタリ例ヘハ一八八〇年ニ於ケル外債ノ利子ハ五朱三厘ニシテ一八八三年ノ利子ハ更ニ多ク六朱一厘ナリシニ現時ニ於テハ我等ハ唯四朱一厘ヲ以テ外債ヲ得ルノミナラズ三朱一厘デスヲ猶之ヲ得ヘキナリ

一八八一年ノ一月ハ國債ノ總計三十八億四千萬ルーブルナリキ鐵道事業ヲ國家ニ移シ新シキ線路ヲ建設シ及ヒ其他ノ生産的支出アリシガ爲メニ一八九五年ニハ國債ノ額更ニ増加シ五十五億八千九百萬ルーブルニ達シタリ而モ之ト同時ニ政府ガ國債ノ爲メニ仕拂フ所ノ額ハ二億三千八百萬ルーブルヨリ二億五千七百萬「ルーブル」ニ増加シタルノミ更ニ詳ニ之ヲ言ヘハ國債ハ百分ノ四十五ヲ増加シ政府ニ仕拂フ所ハ其五分ノ一ヨリモ少キ百分ノ八ヲ増加セシノミ此ノ如キ結果ヲ生ジタル所以ハ專ラ國債變換ノ法ニ因レリ他ノ語ヲ以テ之ヲ曰ヘハ國債ノ利子ヲ減少シタルニ因レリ此ノ減少ハ大藏大臣ヱイシュネグラドスキイノ始メテ執行シタル所ニシテ其ノ職ヲ繼キタルウイツテ氏モ亦之レニ倣ヘリ我國ノ公債ハ金利ノ甚ダ高キ時ニ募集セラレタル者ナルカ故ニ五朱二毛五朱四朱二毛ノ利ヲ

付シタリ此利子タル現時貸金市場ノ狀態及ビ露國財政信任増加ノ度ニ符合セザル者ナリ是ヲ以テ政府ハ公債所有主ニ對シテ其利子ヲ四朱ニ減ズベク若シ之ヲ肯セザレバ其資本ヲ返還スベキコトヲ宣告セリ而シテ自然ノ結果トシテ其多數ハ少額ノ利子ニ甘ンシテナリ何トナレハ之ヨリモ高キ利子ニテ危險ノ恐ナキ儲金ヲナスハ蓋シ能ハザル事ナレバナリ

最モ功績ノ顯著ナル公債變換ハ五朱利付十億千四百七十萬ルーブルノ銀行公債及ビ東方事件公債ヲ四朱利ニ變換シタルコト是ナリ是レ總テ國債ノ高ヲ増加セスシテ年々二千三百萬ルーブル以上ノ費ヲ節約スルヲ得タル者ナリ而シテ之ト同時ニ借金ノ形狀ヲ帯ビタル此等ノ公債ハ純乎タル國債ノ一部トナリ從來一定ノ條件アリテ仕拂ノ時期ト比率ノ定マリ居リシ者ヲ變ジテ何時ニテモ政府ニ申出テ現金ヲ受取ルコトヲ得若シクハ之ヨリモ更ニ多ク利益アレバ市場ノ相場ニ從テ之レヲ賣買スルコトハナレリ蓋シ此種ノ公債ハ國家財政ノ信用大ナル時ニ始メテ行フベキモノニシテ現時西歐諸國ニ行ハルハ公債ハ此ノ如キモノノミナリトス

土地ヲ抵當トスル信用制度之ニ聯關スル貴族及ビ農民銀行並ニ國立銀行ノ改正
 儲蓄銀行ノ發達等ニ關シテハ寧ロ經濟上ノ問題ニシテ財政上ノ問題ニ非ラザル
 ガ故ニ此ノ處ニ之ヲ論セザルヘシト雖モ而モ財政ノ秩序カ整頓シタルニ依リテ
 我通貨ニ及ボシタル有益ナル影響ニ就テハ一言セザルベカラズ蓋シ其最モ重要
 ナル結果ハ爲替相場ノ比較的ニ堅固ニ趣キタルノ一事タルヤ掩フヘカラズ過去
 三年ノ間紙幣「ルーブル」ニ付六十七コベツク割合ニテ大ナル動搖ヲ見ザリシ露
 國政府ノ手ニ集中セラレタル準備金ハ一八八一年ノ一月ニハ二億九千百萬ルー
 ブルナリシガ現時ハ六億八千五百萬ルーブルニ達シ現時流通スル紙幣額面價格
 總額ノ百分ノ六十二ニ當レリ

最後ニ一言スヘキハ政府ハ去年ニ於テ硬貨ノ流通ヲ開カンガ爲メニ重要ナル處
 置ヲ爲シタリ外國ヨリ硬貨ノ輸入ヲ助ケンカ爲メニ金ノ價格ヲ以テ商業ヲ行フ
 コトヲ許シタルノミナラス現金取扱所ニ於テハ國稅ノ仕拂ヲ金ニテ受取ルゴト
 ニ定メタリ此法ハ須臾ニシテ總テ諸拂ニ適用セラレ終ニ國立銀行ニ於テ金ヲ賣
 買シ金塊ヲ儲蓄セントスル者ハ國立銀行ニ於テ之ヲ預リ預券ヲ發シテ何時ニテ

モ請求ニ應ジ之ヲ貨幣ニ引キ換ユルコト、爲セリ
 財政ノ改革信用ノ進歩通貨ノ堅固ナルコト等ハ皆アレキサンダー三世ノ平和ナ
 ル政畧ノ結果ニシテ佛王ルイ十八世及ビルイヒクツブノ大藏大臣タリシ男爵ル
 イガ惡キ財政ハ善キ政治ノ助ニ因リテ成ルト云ヒシ語ヲ事實ニ證明スルコトヲ
 得ル者ナリ

左表ハ即チ一八九六年ノ豫算表ナリ

歳入	千「ルーブル」ヲ	同歳入ニ對スル百
通常歳入	一、五、四、一、一	一、一、一
(一) 直稅	四、八、〇、二、四	三、五
(二) 土地及ビ土地ニ屬スル財產其他ニ課スル租稅	四、三、三、五、三	二、二
(三) 貿易及ビ工業稅	一、三、一、五、九	一、〇
(四) 遺產稅	一、五、四、一、一	一、一

合計	一一一九、九四七	八八
(三) 土地購買償還費	八九、〇〇〇	六、五
(三) 間稅		
(一) 內國間稅	三八五、五八六	二八、三
(三) 外國間稅(關稅)	一五三、八七六	一、三
合計	五三九、四六二	三九、六
(四) 輸出稅	四九、八六四	三、七
(五) 特別收入(郵便電信 鑛山造幣及ビ政府ノ酒類販賣)	六七、〇二一	五、〇
(六) 國有財產及ビ資本		一、七、一
(一) 鐵道	二三二、三二八	一七、一
(三) 其他ノ財產	六二、五八〇	四、六
合計	二九四、九〇八	四四、六
(七) 私有鐵道ヨリ徵收スルモノ	一四、八二二	一、一

(八) 戰爭償金	三、一三八	〇、二
(九) 其他	五二、三一〇	三、八
通常歲入合計	一一三、九四七	九、〇
通常歲出	千「ル」ト「シ」テ「ラ」 一位	百分率ニ對スル
(一) 國債	二六九、二二八	一九、八
(二) 高等官職	二、四三二	〇、二
(三) 聖敎院	一七、四八八	一、三
(四) 宮內省	一一、九六五	〇、九
(五) 外務省	四、六九三	〇、三
(六) 陸軍省	二八八、五二二	二、二
(七) 海軍省	五七、九六六	四、三
(八) 大藏省	一八六、八一	一、三、七
(九) 農務及ビ領地省	三二、一八〇	二、四
(十) 內務省	九〇、〇二五	六、六

(一一) 文部省	二四、八六三	一、八
(一二) 遞信省	一九六、四一三	一四、四
(一三) 司法省	二八、〇一〇	二、一
(一四) 會計檢査院	五、九五六	〇、四
(一五) 御厩局	一、五三六	〇、一
(一六) 雜費	一、二〇〇	〇、九
通常歳入合計	一、二三一、〇八九	九〇、四
臨時歳入	千、ルトリブテラ	分全歳入ノ百
國立銀行準備金	二、二〇〇	〇、二
歳計剩餘金	一一九、八七六	九、八
總歳入合計	一、三六一、五四八	一〇〇、〇
臨時歳出	千、ルトリブテラ	分全歳出ノ百
シベリヤ鐵道建築	八二、二四八	六、一
シベリヤ鐵道建築ニ屬スル副事業	二、四八五	〇、二

其他ノ本線鐵道建築	三五、七二六	二、六
地方鐵道及ビ支線建築	一〇、〇〇〇	〇、七
臨時歳出合計	一三〇、四五九	九、六
歳出總合計	一、三六一、五四八	一〇〇、〇
露國帝國一般歳計豫算ノ外フィンランド大公國ニハ特別ノ豫算表ハ一八九五年ニハ總計七千二百六萬四千九百三十マールク(フインランド)ニ上レリ		

第二章 農業及ビ地方經濟概論

露國ノ地方經濟ヲ略說セントスルニ方リテ我等ハ先ツ一般ニ行ハル、露國ハ農業國タリトノ說ノ眞實ナルコトヲ認識セザルベカラズ我等ニシテ若シ露國人民生産上ノ現狀ヲ思考セバ此ノ說ノ疑ヲ容ルヘカラザル者タルヲ知ラン露國人民ノ百分八十七ハ村落ニ住スル者ニシテ都會ニ住スル者ハ百分十三ニ過キズ此ノ如キ都會ト村落トノ關係ハ他ノ諸國ニ於テ絶テ見ザル所ナリ例ヘバ英國ニ於テハ其人民ノ百分六十五ハ都會ニ住シ日耳曼ニ於テハ同百分四十五合衆國ニ於テ

ハ同百分二十九ノ比例ナルガ如シ若シ夫レ農産物ノ價格ヲ比較シ來レバ此ノ事實ハ更ニ一層彰明ナルベシ例ヘバ合衆國ニ於テハ一八八〇年ニ於テ製造品ノ價格ハ十億磅ニ及ヒタレトモ農産物ノ價格ハ之レカ半數(四億四千三百萬磅)ニモ及バザリシナリ

露國ニ於テハ全ク之ニ反シテ製造品ノ年額ハ金屬ノ物産ヲ合算ストモ年額十六億「ルーブル」ニ過キザルニ農産物ハ穀物ニテモ其產出ノ年額ハ豐凶ニ從ヒ十八億「ルーブル」ヨリ二十億「ルーブル」ノ間ヲ上下スルナリ

更ニ此比較ヲ十分ニ知ラントセバ左ノ事實ヲ考フルヲ要ス即チ露國ノ國境ヲ通シテ歐洲諸國ニ輸出スル製造品及ビ金屬八年々平均九千萬「ルーブル」ナリ

露西亞ガ此ノ如ク農業國ノ性質ヲ有スルコトハ其外形ニ於テ著シク他ノ歐洲諸國ト異ナル所以ニシテ露國ヲシテ農産國タル點ニ於テ甚ダ北米合衆國ニ類似セル所以ナリ而シテ更ラニ精シク事實ト統計トヲ検査スレバ其實ハ大ニ之レニ異ナルヲ發見セン歐羅巴露西亞ニ於ケル穀物產地ノ地盤ガ其廣袤略米國ニ均シク或ハ少シク之ヨリ大ナルハ事實ナリ而モ其開墾未ダ十分ナラザルガ故ニ土地瘠

薄ニシテ其產出獨リ他ノ歐洲諸國ノミナラズ合衆國ニ比スルモ猶半ニ過ギズ此故ニ人口ノ比較的ニ稀少ナルニモ關セス其產出セル穀物ヲ以テ悉皆内國ニ用ユルコト、シ之ヲ各人ニ割合スルニ其割賦セラルベキ者佛國人ニ均シク米國人ニ比スレハ僅ニ其半ニ及ブノミ然ル所以ノ者ハ重ニ氣候沍寒ニシテ耕作甚ダ難キニ因レリ此故ニ國民ノ糧食ニ供スヘキ穀物ヲ外國輸出ニ因リテ奪ヒ去ラレザラシガ爲ニ今後猶幾多ノ改良ヲ施スノ必要アリ

露國全體ハ到底歐洲ノ穀倉ナリト呼バルベキ者ニ非ズシベリヤノ如キハ氣候ト地味トノ情況ニ因リテ農業ニ堪ユル所僅ニ其百分十六ニ過ギザレバ之ヲ論セズ歐羅巴露西亞ニテ自國ノ食用ニ供スヘキ外多少ノ餘穀ヲ產スルノ地ハ所謂黑壤ト稱スル西南帶ノ地方ニシテ其北界ハ東ヨリ南ニ連リヘツサラビヤ附近ヨリウフア附近ニ至ル此處ニ一億「デシエタイン」ノ黑壤アリ歐羅巴露西亞全部五分一以上ノ地ナリ其ノ他帝國ノ北方及ビ北西ノ部分ハ泥濘多ク所々ニ沙洲アリ(ボレシヤニハ沼澤アリ)北方ニハ岩石多ク以テシベリヤノ「ツンドラス」ニ接ス斯ル地方ニテハ農業ヲ以テ人民ノ重要ナル生業トナスベシト云ヘル主義ハ既ニ久シク放擲

セラレタリ而シテモスコイ地方ヴイスチユラ河地方及ビポーランド地方ハ工業ノ發達頗ル見ルベキモノアリ

然レトモ之ニ因リテ明ニ露國ハ二個ノ部分ニ分タレタリ換言スレバ東南ノ農業地方及ビ西北ノ工業地方ニ分タル、ノミナラス猶ホ東南地方ハ其天然ノ富饒アルガ爲メニ其工業モ亦北方ニ比スレバ活潑ナリ易キ位置ニアリ黑海及ビアゾフ海ニ濱スル南部ノ諸洲ハドネツトト呼バレタル廣大ナル石炭産出地ヲ有ス(殆ンド層四萬方ヴェルストノ地盤ヲ覆フト云フ)而シテ之ニ接壤スル地方ニハ富饒ナル鑛鐵アリ此二事ヲ以テ南方ノ工業ニ便ヲ有スルコトヲ知ルニ足ルベシ

其海ニ突出シタルコト及ビニイベルドンヴオルカ等ノ諸川ニ因リテ國ノ中心ト交通ノ便宜ヲ有スルガ爲メ總テノ農業地方ハ未來ニ於テ大ニ工業ヲ起シ得ベキ好望アリ

東部諸州ハ其ノ穀物産出ニ餘剩アルヲ以テ久シキ前ヨリ露國鑛業(ウラル)ノ養育所トシテ知ラレタリ而シテ其ノ廣大ナル森林ハ之ニ必要ナル燃料ヲ供シタリキ中央ノ黑壤帶ニテハ人民經濟上ノ進歩ハ早ク既ニ獨リ農業ニ專ナル能ハザルニ

至レリ是レ濫用ニ因リテ地味ヲ貧シカラシメシニ因レリ高加索工業ノ將來ニ就テハ此處ニ言ヲ要セズシベリヤハ其工業猶幼稚ノ状態ニ在リ而シテトムスク州ニクーンズネツト石炭層アリ四萬四千方ヴェルストノ鑛脈ヲ有シ其大ナルニ於テ獨リ北米及ビ東支那ノ石炭層ニ劣ルト雖モ其近傍ニハ蓋シ豐富ナル鑛鐵アルベシ然レトモ比較的ニ人口少キヲ以テ鑛業ニ從事スル者稀ナリ此ノ如キ自然ノ富ハ大シベリヤ鐵道ノ落成ト共ニ此ノ地方ニ工業繁昌ノ機會ヲ與フベシ

故ニ若シ其農業ヲ以テ露國ヲ合衆國ニ比シ得ベクンバ其工業ト商業ノ發達ニ關シテ自然ノ便宜ヲ有スルノ點ニ於テモ亦合衆國ニ比シ得ベシ勿論今日合衆國ノ工業ハ既ニ其ノ隆昌ニ至ルベキ十分ナル發達ノ度ニ達シ世人既ニ之ヲ稱シテ農業國ト曰ハザルニ至レリ然レトモ露國ハ唯其初步ヲ着ケタルノミニシテ此ノ如キ發達ハ未來ノ起業ト精カトニ因ルベキモノタルノ差アリ

教授メンデレエフガ正シク指示シタル如ク露國ガ農民ヲ解放シ之ニ土地ヲ與エタルハ繁昌ノ新紀元ニ入りシモノニシテ農業工業トヲ混一シタルモノナリ此ノ混一コソ露國ヲ合衆國ニ比スベキ所以ニシテ其歐洲諸國ニ對シテ一頭地ヲ抜ク

所以ナリ露國ハ合衆國ノ如ク天然ニ富饒ナレバ他日外國ヨリ輸入スル物品ヲ自國ニテ生産セシメ得ベク同時ニ自國ノ食用ニ供スベキ麥ヲ他國人ニ仰ガザルヲ得ベシ且然セサルベカラザル位置ニ在リ然レトモ是唯未來此ノ如クナルベシト云フニ過キズ現時ニ於テハ露國ガ概シテ農業國ト稱スベキモノタルヤ勿論ナリ

第一節 土地ニ屬スル財産ノ分配

農業ノ状態ヲ記載シ殊ニ農業ニ關スル政府ノ作用ヲ記載スルニ先チテ我等ハ先ツ土地ニ屬スル財産ノ分配ニ就キ論セザルベカラズ蓋シ民間經濟ノ性質及ビ農業ノ幸福ハ專ラ此ノ分配ニ關係スレバナリ
歐羅巴露西亞ニ在ル土地ニ屬スル財産ハ其ノ四十九州ニ於テ三億九千百萬デシエタインアリドン、コサツク、地方ヲ除ク而シテ此内一億五千萬デシエタイン即チ全面積ノ百分ノ三十八、五ハ皇室ニ屬シ一億三千百萬デシエタイン即チ全面積ノ百分ノ三十三、五ハ農業民ニ割賦スベキモノトシテ農民自治體ニ屬シ九千三百萬デシエタイン即チ百分ノ二十四ハ私人及ビ會社ノ所有ニ屬シ其餘ノ千七百萬デシエタイン即

チ百分ノ四ハ皇族采地教會庵寺都府及ビ其他ノ官署ニ屬ス

故ニ露國ニ於テハ最モ多クノ地盤ヲ有スル者ハ皇室ナリト雖トモ其ノ他ノ國內ニ分配セラル、ヤ甚タ區々タルモノナリ北方アーチヤンセル、ウオログダ、オロネツツ及ビ東北ノ數州ベルム、及ビヴィアツカハ皇室ノ所有地全面積ノ百分四十八乃至九十二及ベドモ其餘ノ四十四州ハ政府ノ所有タルモノ一千六百萬デシエタイン即チ全面積ノ百分ノ十六ニ過ギズ且四十九州ノ皇室所有地中森林ヲ以テ蔽ハレズ耕耘ニ堪ユベキ地ハ四百萬デシエタインニシテ其三分ノ一ハサマラ州ニ在リサレバ農業上ノ經濟ニ關シテハ露國ニテハ農民ノ所有地コソ第一ニ位スベキモノニシテ國家ノ最モ多數ナル階級ガ衣食ノ道ヲ得ル所ハ實ニ此所ニ在リ故ニ更ニ多少精細ニ其状態ヲ詮索スルノ必要アリトス

(一) 農民ノ土地所有

(甲) 其性質及區域 農民ニ關スル改革ハ往時ヨリ傳來シタル農民ノ地主權ヲ堅固ニセリ而シテ農民自治體ハ大抵總テノ土地ヲ其所有トシ之ヲ各人ニ分配ス此ノ土地タル改革以前ハ唯其使用權ヲ有シタルノミナリキ

大露西亞人ノ住スル地方ノ村邑自治體ニ於テハ猶ホ古代ノ土地收用權ノ方法ヲ維持ス此ノ法タル蓋シ古代ノ種族的社會ニ淵源シタルモノニシテ當時ハ即チ種族又ハ家族ノ一員タル者ハ其共有ノ土地ニ對シテハ總テ同一ノ權利ヲ有セシ者ナリ小露西亞及ビ從來ポーランド王國ノ領地タリシモノ並ニバルチツク諸州ニ於テハ農民自治體ナル者終ニ強固ナル發達ヲ爲ス能ハサリキ是レポーランド及ビ日耳曼ノ貴族ガ十分ニ其威權ヲ揮ヒタレバナリ故ニ此地方ノ土地所有法ハ各人各地ヲ有スル者ニシテ自治體ニテ土地ヲ有スルノ古法ニ據ラザルナリ自治體ガ土地ヲ使用スルト云フハ即チ村會ノ議決ニ因リ時ヲ定メテ總テノ耕地ヲ農民ノ間ニ再ビ分配スルノ法ヲ云フナリ故ニ耕地宅地及ビ邸園ハ此ノ限ニ非ズガ一人ノ農夫若シクハ其嗣者ニ因リテ使用セラルハ唯一時ノミ再ビ分配ノ所分アレバ其地ハ移リテ他人ノ使用スル所トナルコトアリ

勿論根本的定時土地再分配法ハ比較的ニ僅少ナル團體ニテ人口ニ變化アル時ニ行ハル、ノミ其他ノ地方ニ於テハ之ヲ行フコト甚ダ稀レナリ或團體ニテハ農僕ノ解放アリシヨリ今日ニ至ルマデ三十餘年ノ間一度モ之レヲ行ハザルモノス

ラアリ

而シテ其ノ再分配ハ專ラ數個ノ異ナレル家族ノ土地ヲ使用スル村落ニ起ル者トスバルチツク及ビ西北諸州ノ一部ヲ除ケバ農民ノ團體ハ大抵甚ダ大ナル區域ヲ占ム而シテ此ノ如ク大ナル農民社會ニ分配セラル、所有地ハ二千乃至三千デシエタイン若シクハ其以上ニ及ブ蓋シ作物ハ時々轉換セザルベカラズ且ツ土地ハ沼澤耕地森林牧地等ノ區別ナキヲ以テ此ノ如クニシテ分配セラレタル土地ハ一ノ單位ニシテ其ノ成分ニ一定ノ律アリ其ノ所有主ヨリ各土地ヲ受ケ作物轉換ノ普通法ニ從ハザルベカラズ故ニ村會ハ數バ經濟上ノ必要ニ因リテ各所有者ノ間ニ土地再分配ヲ行ハザルヲ得ザルコトアリ因是觀之ハ自治體ノ所有地ト數家族ノ所有地トノ差異ハ決シテ外見上ニ於ケルガ如ク大ナラズ村落ノ廣大ナル南部及ビ西南ノ諸州ニ在リテハ特ニ然リトス

前記説明セシモノハ總テ耕地ニ關スルモノナリ此ノ外各村落ハ其ノ住民ノ馬及ビ家畜ノ使用ニ供スル牧地ヲ有シ且ツ或村落ハ其森林及ビ原野ヲ各自ニ分配セズシテ唯拾集セシ乾草及ビ薪ヲ分配スルモノアリ

一八九〇年ニハ歐羅巴露西亞ノ五十州ニ於テ農民千五十萬戸アリ此ノ農民ノ分配地ハ大抵各州ニ於テ百分ノ三十五乃至六十ニ及ブ但シ黑壤帶ニ於テハ農民ノ分配地他所ヨリモ頗ル廣濶ナリトス農民所有地ノ總額中(哥索克兵ニ屬スルモノ及ビ東方諸州ノ異種族ニ屬スルモノヲ除ク)自治體ノ所轄ニ屬スル者ハ八千萬デシエタインニシテ自治體ニ屬セズ直ニ各家ニ分配セラレタルモノハ二千二百萬デシエタインナリ農僕開放ノ時自治體ノ所轄ニ屬スル土地ヲ之ニ屬スル農民ノ人口ニ分割セシ者ハ當時再調査ノ人口即チ男子ノ數ニ依リ一人ニ附キニデシエタイン半乃至十五デシエタインニ相當セリ勿論其多數ハ此中ノ最大數ヲ得タル者ナリ御領及ビ皇族采地ノ農民ハ他ノ地方ノ農民ニ比スレバ各所トモ五割増乃至二倍ノ分配地ヲ受ク平均シテ之ヲ論ズレバ露國ノ農夫ハ各人五デシエタイン餘ノ地ヲ受ケタリ而モ爾來人口漸ク増加シタルヲ以テ一八七八年ニハ四デシエタインニ内外ニ相當スルノミトナリ一八九二年ニハ各家ノ受クル所十二デシエタイン三ノ地ニ過ギズ一人ニツキ平均三デシエタイン八一家ノ受クベキ耕地平均十一デシエタイン有餘ナルニ至レリ勿論實際ニ於テハ農民ニ分割セラレタル

土地ノ割合ハ歐羅巴露西亞ノ各地ニ於テ甚ダ相違アリ若シモスコト中心トシテ經緯ヲ界シ歐羅巴露西亞ヲ四個ノ部分ニ分ツ時ハ西南露西亞ハ土地ノ分配最モ狹小ナルモノニシテ各戸分配八デシエタインニ過ギズ西北及ビ東北ハ殆ンド相均シクシテ十四デシエタインアリ東南ニ於テハ最モ廣クシテ十八デシエタインアリ然レトモ此分配ノ廣狹ハ農民ニ取リ充分ナル土地ナリヤ否ヲ説明スルニ非ズ例ヘバ佛國ニテハ各家ノ土地ニ屬スル財產大中小ノ地主ヲ平均シテハ平均五ヘクタルスニ即チ四デシエタイン七ニ過ギズ小農ノ中數ヲ計レバ蓋シ之レヨリモ少ナルヘキナリ我隣國ノ中ニテ日耳曼ハ八ヘクタルス即チ殆ンド七デシエタインヲ以テ中農ノ所有地トナシタリ小農ニ至リテハ唯三ヘクタルス六即チ凡ソ三デシエタインヲ領スルノミ露領ポーランドニテ農民ノ所有地ハ平均七デシエタインニ當ル故ニ歐羅巴露西亞ニ於テ農民所有地ノ大サハ頗ル寬濶ナリト謂フベシ而モ分配ノ充分ナルト否トハ獨リ其地ノ廣狹ニ關スルノミナラズ土地ノ性質耕耘ノ方法智識經驗農民ノ家族組織法等モ亦之ニ關ス露國ヲ以テ日耳曼及ビ佛國ニ比較セントセバ先ヅ此等ノ國ニ於テハ其地ノ產出スル所露國ニ二倍

スルコトヲ記憶セザルベカラズ故ニ各家平均十一デシエタインヲ領スト言フモ其實ハ之ヲ半減セザルベカラズ且例令農民ノ多數ハ其分配地ヲ以テ生活ノ基礎トナスト雖モ此餘ニ猶ホ農民ノ生業ニ關スル者アリ農民家族中ノ或者ガ從事スル種々ノ本業外ノ工業及ビ製造場ノ事業ノ如キハ常ニ農民收入ノ一部トナル者ナルガ故ニ工業地方ニ於テ比較的ニ狭小ナル分配地ヲ受ケシモノハ東南露西亞ニ於テ大ナル土地ヲ受ケシ者ヨリモ收益多キヤ疑フベカラズ事情此ノ如シト雖モ猶露國ニ於ケル土地分配ノ狭小ニ過グルコトハ争フベカラザル事實ナリ而シテ此事實ハ農民ガ附近ノ所有地及ビ一個人所有地ヲ借用スルコト富有ナル農民ノ一個人私有地ヲ買入ル、コトシベリヤノ廣大ナル地方ニ移住スルノ傾向アルコトニ因リテ證セラル而シテ人口ノ次第ニ増加スルト共ニ土地ノ缺乏ハ一層強ク感セラルヲ以テ此困難ヲ救済スルノ方法ヲ講ズルノ必要アリ現ニ各地ニ於テ此ノ如キ方法ヲ講ズル者アリ之カ第一着手トシテ農民ハ政府ノ所有地及ビ一個人ノ私有地ヲ借用セリ斯ノ如ニシテ一八八一年ニハ農民ノ借地千百五十萬デシエタインナリト數ヘラレタリ此數タル遙ニ其實數ノ下ニ在ルコト言マデモナシ

而シテ特ニ注意スベキ事實ハ此ノ如キ借地ヲ爲スモノハ大抵富民ニシテ貧民ハ其ノ分配セラレタル土地ヲモ放抛セザルヲ得サル事情ニ迫ラレツ、アルコト是リナ

(乙) 農○民○信○用○制○度 土地割賦ノ外農民ヲシテ土地ヲ得セシムル方法ハ即チ土地購買ノ法ナリ改革ノ事アリシヨリ以來農民ハ此手段ニ注目セリ一八七七年乃至七八年ノ調査ニ因レバ彼ハ政府ノ補助ヲ借ルコトナク五百萬デシエタインヲ得タリ此中百分ノ六十八小サキ土地ヲ買ヒタル者ナレトモ其ノ餘ハ富民ガ大面積ノ地所ヲ買ヒタル者ニシテ數バ一萬デシエタイン若シクハ其以上ニ上ル者アリ一八八〇年ノ始メニ方リテブリングウ氏ノ大藏大臣トナルヤ政府ハ農民ノ土地缺乏ニ關シテ特別ニ意ヲ注ギ一八八二年ニ至リテ農民均田銀行ナル者ヲ立テ各種ノ農民ヲシテ盡ク其ノ分配地ニ附屬スベキ餘地ヲ買ハシムル途ヲ開キタリ爾來一八九五年一月一日ニ至ルマデ十二年間此銀行ハ農民ヲ助ケテ二百二十二萬八千七百十二デシエタインノ土地ヲ買ハシメタリ其代價九千八百萬ルーブルニシテ内七千六百萬ルーブルハ銀行之ヲ貸與シ殘二千二百萬ルーブルハ農民自己

ノ所有金ヲ以テ之ヲ支拂ヘリ而シテ此銀行ノ事務ノ行ハレシ區域ハバルチツク諸州ヲ除クノ外總テノ歐羅巴露西亞ニ及ベリ土地買入ノ爲メニ貸與ヲ受ケタルハ(一)農民自治體(二)農民ノ會社(三)一個人タル農民ナリ農民ガ銀行ノ補助ヲ假リテ買入ルヽコトヲ許サレタル土地ノ最多額ハ購買者及ビ其家族ノ產業力ニ超過セザルヲ度トシ特別ノ行政命令ニ因リテ各郡ニ於テ其額ヲ定ム始メハ借入ノ年限ハ本人ノ希望ニ從ヒ二十四年若シクハ三十四年半ナリキ而シテ此時期ノ間年々割戻金ト共ニ銀行ニ拂フヘキ利子ハ年額八朱二毛若シクハ七朱二毛ナリキ而モ今上皇帝ニコラス二世陛下ノ大婚ヲ紀念センガ爲メニ發セラレタル一八九四年十一月十四日ノ仁惠ナル布告ニ因リテ農民ノ狀態甚ダ憫ムベキモノナルヲ以テ此利子ハ七朱二毛及ビ六朱二毛ニ減セラレタリ同時ニ均田銀行ヲシテ更ニ多數ノ農民ニ土地ヲ與フルノ便宜ヲ得セシメンガ爲メニ一八九五年ヨリ土地救贖返還金ノ幾分ヲ以テ年々銀行ノ資本ニ加ヘ此總額二千萬ルーブルニ達セシメタル後農民銀行ノ爲メニ新法律ヲ發シタリ此法律ニ從ヘバ農民銀行ハ其營業ノ區域ヲ擴張シ農民ニ賣ルノ目的ヲ以テ自ラ土地ヲ買フコトヲ得タリ土地救贖返還金

ヲ減ジテ銀行ニ與ヘタルハ專ラ此目的ノ爲メナリ而モ此事タル猶試驗中ニシテ一八九八年ノ正月マデ維持スベキモノナリ且此新法律ハ大ニ農民ノ土地買收ヲ容易ナラシメンガ爲メニ土地代價ノ百分ノ九十マデハ銀行ニ借ルコトヲ得セシメ且割戻ノ年限ヲ長クシ十三年乃至五十一年トシタリ(五十一年割戻ノ場合ニテハ割戻金ト共ニ支拂フベキ利子ハ僅ニ年六朱ナリトス)然レドモ農民ハ農民銀行ニ因リテノミ其分配地外ノ土地ヲ得ルモノナリト思フベカラズ之レニ反シテ假令露西亞全國ニ關スル統計ハ未ダ詳カナラザルモ銀行ノ助ヲ借ラズシテ買入レタル農民ノ土地ハ銀行ノ助ヲ借りテ買入レタルモノヨリモ更ラニ大ナルガ如シツヴユルモスコロ、スモレンスク、カルコツフ、オレンブルク及ビカウルランドノ七州ニ於テ分配地附加トシテ農民ノ得タル土地ニ屬スル財産額ノ報告ニ從ヘバ一八七七年乃至一八八七年ノ間ニ於テ銀行ノ補助ヲ以テ買入タル土地ハ二十二萬九千デシエタインニシテ銀行ノ補助ニ依ラズ買入タル土地ハ九十萬七千デシエタイン即チ其四倍以上ナリ

(丙) 移住。土地ノ不充分ヲ癒ヤスベキ最後ノ方法ハ即チ自由ナル領地ニ移住ス

ルコト是ナリ史家ソロヴィノフノ言ヘルガ如ク露國ノ歴史ハ即チ國ヲ舉ゲテ殖民シツハアル歴史ナリ古代ノ露西亞ニ於テハ移轉ノ自由アリシヲ以テ人民ハ自由ニ遍歴スルノ性質ヲ有シタリキ而モ第十六世紀ノ始メヨリ農民ヲシテ強テ土着セシムルノ制ヲ發シタルヲ以テ頗ル其移住ヲ妨ゲシガ當時租稅其他ノ義務極メテ重リシカバ人民ノ中ニ自ラ其住地ヲ脱走スルノ風習ヲ生ジタリ然レトモ政府モ亦新領地ヲ得タルヲ以テ人民ヲ彼所ニ移住セシムルノ方法ヲ講ジ先ツ國有ノ奴隸ヲ送リテ土地ヲ彼等ニ與ヘ農民モ亦其ノ後ヲ追フテ移住セリ而シテ一方ニ於テハ脱走者漂泊者ニ因テ企テラレタル殖民ハ露國ノ國界ニ住シテ自由ナル團體ヲ作ラシコトヲ勉メ終ニ各所ノ哥索克殖民地トナレリ此哥索克殖民地タルペートル大帝以前ニ於テハ露國ニ大益ヲ爲セシモノニシテ獨リ殖民ノ事ノミナラズ宗教ト國粹ノ爲メニ生存競争ヲ爲セシモノナリ

十八世紀ノ始メヨリ國家ノ權力漸ク増加シ農僕ノ數モ亦夥多トナリシヲ以テ自己ノ自由ヲ以テ國境ニ殖民スル者ノ運動ヲ妨ゲタリ而モ此ノ如キ運動ヲ必要トスルノ事情ハ猶存在シタルヲ以テ政府モ亦之ニ感シ官許ヲ得テ殖民スルノ途ヲ開

カンコトヲ勉メタリペートル大帝ハ此方法ニ因リテ先ツ新タニ獲得シタルインヂルマンウンドニ殖民セシメタリ而シテ第十八世紀ニ於テ政府ハシベリヤ殖民ノ免許ヲ與ヘタリ女帝カテリン二世ノ時ニ露國ノ中央ヨリ南部ノ諸州及ビ新領地トナリタルクリミヤ國ニ向テ特ニ大ナル移民ノ運動アリキ總テ此等ノ方法ヲ總轄シテ之ヲ曰ヘバ當時ノ目的ハ移住民ノ利害ヲ商量スルヨリハ寧ロ防禦ノ必要ヲ充シ國境地方ニ人民ヲ備フルニ在リシガ如シ而モ斯ル殖民ノ目的ハ皇帝ニコラス一世ノ時領地省ヲ設クルニ至リテ蓋シ一變シタリ領地省ヲ設置シタルニハ多クノ理由アレドモ其一ハ國家ニ屬スル農民ヲ保護スルニアリキ而シテ此ノ省ノ長官ハモルタヴィヤ及ビワラチヤノ公國ヲ治メテ功績アリシヲ以テ有名ナル伯爵キイセリイフナリキ氏ハ一八三七年各州ニ監査官ヲ派出シタリシガ彼等ハ各地ニ於テ土地ノ缺乏セルコトヲ發見セリ許多ノ農民ハ其村落ヲ離レ寬濶ナル土地ヲ得ンガ爲メニ他ノ州ニ行ケリ此故ニ領地省ハ先ツ國家ニ屬スル農民ノ土地ヲ丈量シ之ニ必要ナル分配地ヲ與フルコトヲ計畫シ尋デ一八四三年四月八日規則ヲ發シテ移住及ビ殖民ノ事ヲ規定セリ此規則ハ土地ノ缺乏シテ各人分配

セラル、所五デシエタイン以下ノ地方ニ住スル者ニ殖民スルコトヲ許シタリ而シテ殖民スベキ地ハ一村全體殖民スル者ノ爲メ四千乃至五千デシエタインヲ給スルコト、シタリ此中五分ノ一ハ人口増加ノ需用ニ應ズベキ豫備トシテ分チ置クベキ者トセラレタリ領地省ノ地方部ハ移住民ノ其新住地ニ行クベキコトニ附キテ十分ナル補助ヲ與フルノ義務アリ糧食ヲ彼等ニ供シ其疾病ヲ監護スルノ事ヲ掌ル必要ナル穀物枯草農業器械家畜等ハ其殖民ヲ始ムルノ場所ニ於テ彼等ニ供セラレ亦金錢上ノ補助ヲ受クルコトアリ然レトモ一八四三年ノ規則ハ實際ニ於テ最モ土地ニ富メル國家ニ屬スル農夫ノミ適用セラレベキモノニシテ農僕タル農夫ノ移住ハ當時猶地主ノ制裁中ニ存スルヲ以テ此規則ヲ適用スル能ハズ故ニ地主ニ役事スル奴隸ノ解放アリシ時移住ニ關スル問題モ亦攻究セラレタリ然ルニ不幸ニシテ當時此問題ハ全ク農民自治體ニ委任セラレタルヲ以テ農民ノ其住居ヲ變シ及ビ他ニ移住スルハ一ニ農民自治體ノ許可ヲ經ザルベカラザルコトトナリ而シテ此許可ヲ得ルノ事情甚ダ困難ナル者アリキ是ニ於テ一八六六年ニ至リテ新規則ヲ作り之ヲ以テ一八四三年ノ法律ハ國家ニ屬スル農民ニ適用スル

ニ至レリ

シベリヤノ殖民ハ斯ノ如ク許多ノ制限ヲ受クルコトナカリキ唯隨意ニ移住セントスル者ハ其離レ去ルベキ自治體及ビ州ノ有ヨリ許可ヲ得ルヲ以テ足レリトス然レドモシベリヤハ極テ遠隔ノ地ナルヲ以テ此所ニ赴カントシテ其郷里ノ農民中途上ニ於テウフア及ビオレンブルグノ如キ東部諸州ノ棄地ニ滯住シタリシ者多カリシヲ以テ政府ハ終ニ官許ヲ得ザル移住民ヲ制裁スル法律ヲ廢スルノ止ムヲ得ザルヲ感ジ一八八九年ニ至リテ皇室御料地ニ殖民シテ村邑ヲ經營セントスル者ノ爲メ一ノ通則ヲ發布シタリ此法律ニ從ヘバ總テ殖民セントスル者ハ内務大臣及ヒ領地大臣ノ許可ヲ得ザルベカラズ而シテ其許可ヲ得シ者ハ村邑團體ヨリ出立ノ許可狀ヲ得ルヲ要セサル者トス此移住民ハ歐羅巴露西亞ノトホルスク及ビトムスク二州ニ於テ並ニ平原地方總督ノ所轄地ニ於テ土地ヲ附與セラシテ歐羅巴露西亞ニ於テハ最初ハ唯時ヲ限リテ土地ヲ移民ニ貸與シ尋デ之ヲ無期限ノ所有地トスルノ制ナリ亞細亞露西亞ニ於テハ其分配地ハ直ニ永久使用スベキ權アリ但シ之ヲ他人ノ所有ニ移スコトヲ得ズ且負債ノ抵當トナスコトヲ得ズ

移住民ニ土地及ビ最モ便宜ナル道路ニ關スル智識ヲ供給センガ爲メ一八八一年ウオルガノ渡船場ニ近キシズラン地方ノバツラツクニ於テ政府殖民局ヲ設ケタリ爾後オレンベルグ、チウメン、トムスクニテモ殖民委員ノ設置アリ一八九〇年ニ至リテペートルスボルグニ於テ移民ヲ補助スル會社創立セラル

一八九一年乃至一八九二年ノ凶歉ナル二年間ニ於テ食物ニ缺乏セル農民ヲ救ハシガ爲メ當時ノ皇太子殿下即チ今上皇帝ニコラス二世陛下ヲ議長トシタル特別ノ委員ヲ設ケ獨リ糧食ノ問題ヲ審議スルノミナラズ併セテ被害地方ノ經濟上ノ危険ナル狀況及ビ移住ノ振ハザル最大原因ヲ調査セシメタリ此委員ハ最モ移民ノ缺乏ノ状態ニ注意シ特ニ之ガ爲メニトムスクニ置キタル官吏ニ八萬九千ルーブルノ金ヲ給シ移民ノ便ヲ計ラシメタリ此金ノ一部分ハ移民ノ間ニ傳染シタル流行病ヲ除ク爲メニ使用セラレタリ

上述ノ諸方法ハシベリヤ鐵道委員ノ設ケラル、マデ政府及ビ會社ガ農民ノ移住ヲ制裁センガ爲メニ設ケタル者ナリ而シテ該委員ノ設ケラル、ト共ニ移民問題ハ更ニ新ラシキ狀況ニ移リタリ

吾等ハ歐羅巴露西亞ニ於テハ農業ノ殖民ニ適スベキ政府所有地ノ頗ル狭小ナルコトヲ記シタリ然レトモ亞細亞露西亞ニ於テハ殆ント總テノ土地ハ政府若シクハ皇帝陛下ノ内局ニ屬ス此ノ土地ノ中ニハ廣袤ヨリ曰ヘバ頗ル大ナル部分ハ政府及ビ皇帝陛下ノ内局ノ直轄スル處タリ而シテ此ノ直轄地ノ殆ント全體ハ森林若シクハ耕作ニ適セザル土地ナリトス此ノ直轄地ノ外別ニ大ナル面積ヲ占ムルハ即チ殆ント無人ノ境ナルタイガス、ツーントラスト稱スル土地及ビ一般ニ荒原ノ状態ヲ保テル土地ナリ此ノ二者ヲ除キテ最モ農業及ビ家畜ノ飼養ニ適當セル良地ハ農民及ビ最モ開明ニ赴ケル土人ノ使用スル所タリ而シテ農民土人等ノ其土地ヲ占ムルヤ唯口碑及ビ古來ノ遺傳ニ因リテ之ヲ保ツノミ一モ正式ノ權利ニ因リテ之ヲ有スルニ非ラザルナリ村及ビボオロストノ如キ多少ノ面積ヲ占ムル各單位ノ中ニ於テ土地使用ノ法ハ一様ニ非ズ東部シベリヤ及ビアムール河畔ノ如キ近頃殖民セラレ且人口ノ稀薄ナル土地ニ於テハ自治體ハ終ニ成立スルヲ得ズ土地極メテ廣大ナルヲ以テ何人モ他人ニ關係スルコトナク自己ガ好ムガ儘ニ耕耘ニ從事シ家畜ヲ飼フコトヲ得斯ノ如クニシテ得タル土地ヲ「ツアームカ」或ハ

「グートル」即ち借圃ト稱ス時トシテハ其廣袤五百乃至千デシエタイン以上ニ及ブ
 コトアリ此ノ如クニシテ有利ナル土地ガ此處彼處ノ借圃トナリシトキニ及ビ新
 ラシキ移民アリテ更ニ土地ヲ有スレバ「ツアイムカ」即ち借圃ノ制ハ變ジテ土地自
 由分割法トナルトムスク及ビトボルスグニ於テ現ニ是ヲ用ユ此法ハ各人ヲシテ
 其耕作ヲ續クル間其耕地ニ對シテ權利ヲ有セシムル者ナリ然レトモ人口益々増
 加シ此法モ亦不便ヲ感ズルニ及ンデ終ニ自治體ノ制ヲ用ヒ之ニ付スルニ土地分
 配ノ權ヲ以テスルニ至レリ

前述ノ概論ニ因リテシベリヤガ土地ニ富メルコト及ビ猶農業ニ從事スル人口ヲ
 増殖スルニ堪ユルコトヲ知ルニ十分ナルベシ且此事實ハシベリヤニ於ケル殖民
 ノ運動ハ長キ未來ニ續クベキモノタルコトヲ知ルニ足レリ現時ニ於テ九年間一
 八八七年乃至一八九五年ニ四十六萬七千ノ人口ヲ有スル九萬四千ノ家族ハシベ
 リヤ及ビ高原地方總督ノ所轄地ニ移住セリ移住民全體ノ四分三ハトムスクノ府
 廳ニ管理セラル、アルタイニ於ケル皇帝陛下内局ノ土地ニ移住セリシベリヤ鐵
 道ノ建設ハ其必然ノ結果トシテ露西亞農民ヲシテシベリヤニ達シ易カラシムル

モノナリ是レ先帝アレキサンダー三世ガ一八九三年一月十四日ノ勅令ヲ以テ
 上帝ニ倚賴シ皇太子殿下即今上陛下ヲ以テシベリヤ鐵道委員長ニ任シシベリヤ
 ヲ通ジテ連續セル鐵道ヲ作ルコトトシベリヤ殖民ノ事業ヲ容易ニスルノ目的ヲ
 實行スルノ事務トヲ結合セント試ミタル所以ナリ此委員ハ先ヅシベリヤ鐵道ニ
 沿フ所ノ地方ニシテ殖民ニ適當ナル自由地ヲ測量センコトヲ決議セリ此目的ノ
 爲メニ幾隊ノ土地測量官ヲ任命シ且之ニ訓令シテ新移住民ノ爲メニ土地ヲ區劃
 スルト共ニ成ル可ク土人ニ干涉スルコトヲ避ケシメタリ

此測量隊ニ因テ一八九三年乃至一八九五年ノ間ニ三百萬デシエタイン以上ノ地
 盤ハ八百十七ノ部分ニ區劃セラレタリ而シテ次ニ爲サザルベカラザル重要ナル
 二個ノ事件ハ移民ニ對シテ其移住ノ道路ニ關スル補助ヲ與フルコト及ビ其移住
 ニ適當ナル土地ヲ給スルコト是ナリ移住ヲ制裁センガ爲メニ此委員ハ組織立タ
 ル醫療上ノ補助ヲ爲スコト及ビ移民進行ノ途上ニ糧食ヲ分配スルノ手段ヲ附與
 セラル且之ト共ニ移民ニ對シテ貸與スベキ金額ヲ増加シ規則ヲ設ケテ其旅行ヲ
 續ケタル間及ビ其定メラレタル土地ニ達シタル後其產業ヲ經營スル爲メニ要ス

ル貸與金ノ法則ヲ定メタリ又移民ハ其屋舎ヲ建築スル爲メニ官有ノ森林ヨリ材木ヲ受ケ取り且之ト同時ニ之ヨリモ更ニ必要ナル精神上ノ要求ヲ満足セシムベキ方法ヲ供給セラル此目的ノ爲メニ教會及ビ學校ハ重ニ鐵道停車場ニ近キ諸所ニ建設セラル而シテ此善業ニ對スル寄附金及ビ教會贈與金ハ露西亞ノ總テノ部分ヨリ來レリ

土地ノ缺乏ヲ濟フノ方法トシテハ移民ノ法ハ萬已ムヲ得ザル時ニ於テ始メテ行フベキモノナリ農民其固有ノ地ヲ愛惜スル者ナルコトヲ思ヘバ此ノ如キ醫療法ハ特別ナル苦痛ヲ堪ユルコトニ因リテノミ行フベキ者ナリ故ヲ以テ之ニ因リテ土地缺乏ノ患ヲ免レントスル者ハ其數甚ダ少シ吾等が既ニ記シタルガ如クシベリヤニ移住シタル者ハ九年間ニ唯ダ九十六萬七千人アリシノミ之ヲ一ヶ年ニ平均スレバ五萬二千人ニ當ル假令其ノ數ハ正確ナリトスベカラザルモ歐羅巴露西亞ニ於ケル人口ノ増加八年々百五十萬ニ上ルコトヲ記憶セザルベカラズ故ニ何レノ點ヨリ曰フモ概シテ露人ノ移住ヲ惡ム所以ハ人民ヲシテ強テ其現在住地ニ滯住セシムル方法ニ在リト曰フベカラザルナリ今日ニ於テ必要ナルハ農民ヲシ

テ好ンデ其郷里ニ止マラシムベキ状態ヲ作ルニ在リ農民ヲシテ自己ノ現ニ住スル所ニ於テ自己ト家族トニ必要ナル何物ヲモ供給セラレ得ベキコトヲ信セシムルニ在リ而シテ斯ノ如クセンニハ唯廣ク教育ヲ施シ特ニ農業及ビ専門ノ智識ヲ與フルニ在ルノミ且ツ人々ノ知レル如ク農業ハ餘暇多ク殊ニ冬間ニ於テ然ルモノナレバ此餘暇ヲ以テ所謂家庭工業ナル者ニ從事セシムベシ我農民ハ久シク此小工業ノ必要ヲ知レリ此小工業タル農民ヲシテ其土地ヲ離レシメザルノ効アル者ニシテ且十分發達ノ見込アル者ナリ而シテ此小工業タル亦從來ヨリ多クノ智識ヲ要スル者ニシテ農業ニ學校ノ設アルヲ要スルガ如ク之ヲ爲スニモ亦學校ノ設アルヲ必要トス

(丁) 農家小信用制度ノ組織 此外農民ニ取リテ必要ナル者ハ土地改良及普通工業及ビ閑暇ノ時ニ於ケル日々ノ需用ニ要スル金ナリ而シテ此金ハ當ニ適當ニ組織セラレタル農家小信用法ニ因リテ供給セラルベシ若シ此法ナキ時ハ農民ハ高利貸及ビ貪利者ニ制御サレ易クシテ終ニ最後ノ手段トシテ其財産ヲ賣リ他所ニ移轉スルニ至ルベシ

露國ニ於テ此ノ如キ小信用法ヲ組織セントシタル最初ノ企圖ハ現世紀ノ初メニ
 湖ルベシ而モ久シキ間此法ハ動搖常ナキ状態ニテ存シタリキ當時國有地農民ノ
 爲メニ設ケタル農業銀行及ビ從來ヨリ農民タル者ノ爲メニ設ケタル救済及ビ儲
 蓄銀行ハ多少重要ノ者トナリ一八六六年ニハ救済及ビ儲蓄銀行ノ數四千五百以
 上ニ達シ其運用資金ハ九百萬ルーブルニ及ビタリ而モ此數ハ次第ニ減少シ其事
 務ハ全ク懈怠スルニ至レリ
 農僕解放ノ後現世紀ノ第六十年期ノ始メニ至リテ一般ニ農民ノ爲メニ並ニ小商
 人及ビ製造者ヲ助ケテ其事務ト工業トヲ發達セシメンガ爲メニ低利ノ小信用法
 ヲ組織スベキ觀念ハ生ジタリ
 當時日耳曼ニテ人民ノ間ニシユルツエ、デリツヒノ唱道シタル自助及ビ相互補助
 ノ信用法ニ關スル觀念盛ニ普及シタリキ而シテ此觀念ハ同情及ビ實行ヲ以テ露
 人ノ迎フル所トナレリ此義ヲ露國ニ誘引シタル者ノ一人ニコストロマ政廳ノ下
 ニ住シタル地主シ、ユフ、ルージニント曰ヘルモノアリ露國ニテハ其領地ナルヴ
 エストルーガ北方ノロージエストヴエンスクニ於テ最初ノ相互貸借及ビ儲蓄銀

行會社ヲ建テタリ此會社ノ法ハ之ニ續キテ建テラレタル他ノ同種ノ會社ノ摸範
 トナリ又爾來此種ノ銀行千五十個ハ時ヲ異ニシテ生ジタリ然レトモ或ル者ハ何
 ノ効用ヲ爲サズ或ル者ハ空シク解散シ現時ニ於テハ亞細亞及ビ歐羅巴露西亞ノ
 六十三府廳ノ下ニ唯七百六十四個アルノミ而シテ各會社ノ運用資本ハ五十ルー
 ブルヲ超過セザル株金ニ因リテ社員ノ出金ヲ以テ組織スルノ方法ヲ取レリ會社
 ハ儲蓄金ヲ受ケ取り且其株金ノ比例ニ從ヒテ金ヲ社員ニ貸與ス而シテ貸與其他
 ニ附キ別ニ關シタル責任ハ社員全體ノ保證スル所ナリトス
 一八九三年一月一日ニ於ケル我貸金及ビ儲蓄銀行會社ノ報告及ビ之ガ模型タル
 シユルツエ、デリツヒ主義ヲ基礎トシテ日耳曼ニ行ハル、各種ノ會社ノ報告ハ左
 ノ如シ

露國

日耳曼

會社ノ數	六六二	一、〇七五
社員	二二一、四〇〇	五一二、五〇九
資本	九、一一八、〇〇〇ルーブル	一四七、四六二、〇〇〇マーク即チ 六七八三三、〇〇〇ルーブル

借入資本及ビ儲金 一、二、三四三、〇〇〇 ルーブル
 貸附金 一、八、二七二、〇〇〇 ルーブル

四三四、二四八、〇〇〇 マーク即チ
 一九九、七五四、〇〇〇 ルーブル
 一、五三九、〇三四、〇〇〇 マーク即チ
 七〇七、九五六、〇〇〇 ルーブル

此統計ハ七百六十四ノ銀行中六百六十二ニ付キテ計算シタル者ナリ

此ノ統計ニ關シテ此ニ一言セザルベカラザルハ上ニ述べタル日耳曼ニ於ケル一
 千七十五會社ハ唯計算表ヲ提出シタル銀行ニノミ限レル者ニシテ日耳曼ニハ總
 計四千七百九十一個ノ儲蓄銀行會社アリ少クトモ二百萬ノ社員ヲ有ス此外工業
 需用建築等他ノ種類ニ屬スル銀行會社ノ總數四千百三十個アリ

儲蓄銀行ノ外我等ハ之ト同時ニ小資本ヲ供給スルヲ以テ目的トスル他ノ建設ヲ
 有ス一八八三年ニ於テ大藏大臣ハ農業銀行即チ貸金及儲蓄銀行ヲ此種ノ銀行ナ
 キ所ニ設立スルヲ許可スルノ權ヲ附與セラレタリ此銀行ノ特質ハ資本ヲ株金ヨ
 リ取ラズシテ自治體若クハ一個人ノ出金ヨリ取ルニ在リ此點ニ於テ農業銀行ハ
 「ライフアイゼン」銀行ト呼バレタル日耳曼銀行ト其形式ヲ同フスル者ナリ而シテ
 唯農事創業者ニノミ金ヲ貸與シ二百「ルーブル」ヲ最高額トシ一年ヲ以テ期限トス
 若シ其ノ定メタル時ニ於テ返金ヲ怠ル時ハ租稅怠納者ト一例ヲ以テ處分ス然レ

ドモ此種ノ銀行ハ其數猶多カラズ十三州ノ下ニ百五十三個アリ其資本ノ總計四
 十萬「ルーブル」ニシテ儲蓄金ハ二十三萬五千「ルーブル」貸附金ハ六十七萬五千「ルー
 ブル」ニ達セルノミ

日耳曼ニテハ凡ソ二千五百個ノ「ライフアイゼン」銀行アリ其貸附金一億「ルーブル」
 以上ニ達ス此ノ如キ普通ナル農民信用法ノ外ニ各處ニ於テ之ト性質ヲ同フスル
 多クノ獨立ナル信用法アリ即チポーランドニ存スル千二百九十五個ノ「グミナ」貸
 金及ビ儲蓄銀行ノ如キ是レナリ此ノ銀行ハ總計殆ンド千二百萬「ルーブル」ヲ農民
 及ビ都民ノ階級ニ屬スル農夫土地ヲ有セザル田舎ノ労働者及ビ小地ヲ有スルポ
 ーランド貴族ニ貸與ス猶モチレツフ州ニ在ル貸金及ビ補助銀行等アリ

上ニ記載シタル事實ハ露國ニ於ケル小信用法ハ猶創業ノ際ニ在リ之ヲ日耳曼ノ
 進歩ニ比スレバ遙ニ其後ヘニ在ルモノタルコトヲ示スモノナリ
 勿論地主ノ中ニハ農夫ト密着ナル關係ヲ有シ農夫ノ爲メニ便宜ナル方法ヲ執リ
 テ彼等ヲ助クル者ナキニ非ズ然レトモ斯ノ如キ補助ハ常例ノ者ニ非ズ且其區域
 モ亦廣キコト能ハズ是ヲ以テ一八九四年國立銀行ノ組織セラル、ヤ室内工業ニ

從事シ若シクハ三百ルーブル以下ノ小商業ヲ營メル土地所有者ニ對シテ單署ノ小切手即チ單ニ一人ノ名ヲ署シタル小切手ヲ保證トシテ貸金ヲ爲スコトノ權利ヲ該銀行ニ與ヘ且之ト同時ニゼムストヴオ團體私立ノ信用會社アルテルス等ノ媒介及ビ借主タル農夫ト密切ノ關係アル私人ノ媒介ニ因リテモ貸金ヲ爲スヲ得ルコト、シタリ

然レトモ民間ノ信用法ヲ更ニ整備セシメントセハ獨リ政府ヨリ金錢ノ補助ヲ爲スヲ以テ足レリトスベカラズ此故ニ大藏大臣ウイツテ氏ハ國立銀行ゼムストヴオ及ビ其他ノ公共團體並ニ一個人タル者ガ共ニ基本金ヲ作ルヲ目的トシタル信用會社ヲ組織セン爲メニ共同シテ政府ノ金ヲ借り出スベキコトヲ勸告シタリ(利息ハ事業ノ利益ヨリ拂フベキモノトス)此ノ如ク政府ノ貸金ニ因リテ建テラレタル會社ハ直チニ信用ヲ得テ有利ナル約束ニ因リテ一個人ノ資本ヲ吸收スルニ至ルベシ此方法ハ現存ノ貸金及ビ儲蓄銀行ニ於テハ數バ全額拂ヒ込ミニ至ラザルコトアル株金募集法ヲ要セザルニ至ルベシ而シテウイツテ氏ノ此方案ハ一八九五年六月一日ニ至リテ皇帝ノ裁可ヲ經タリ且爾來著ルシキ變更ヲ從前ノ小信用

制度ニ加ヘ倍其建設ノ目的ニ適シ人民ニ便利ナル者タラシメシガ爲メ此等ノ小信用會社ヲシテ大藏大臣ノ許ヲ得テ其會社員ノ爲メニ必要ナル物品ヲ購求シ及ビ其生産物ヲ賣ルコトノ代理業ヲ行ハシムルニ至レリ貸金及ビ儲蓄銀行ニ此種ノ事業ヲ加フルノ利益ハ「ライプアイゼン」銀行ノ例ニ因リテ之ヲ知ルニ至ルベシ蓋シ「ライプアイゼン」銀行ノ成功ハ實ニ此點ニ存スルナリ是レ小信用ニ關スル新法律ノ基礎ノ概畧ナリ此ノ法ニ因レバ將來民間信用ノ大ニ發達スベキハ從前ノ比ニアラザルベシ

(二) 私領地

(甲) 其性質及區域 重要ナル土地ニ屬スル財産ノ第二種ハ即チ一個人ノ私領地ナリ一八七四年ニハ歐羅巴露西亞ノ四十九州ノ下ニ現存スル私領地ハ合計四十八萬千ニシテ九千二百萬デシエタインノ土地ヲ蔽ヘリ私領地ノ地主中其數最多キモノハ農夫ナリ一八七八年ニハ其數全員ノ半以上ヲ占メタリ然レドモ其ノ面積ノ大サヨリ日ヘバ貴族ハ百分ノ八十ヲ占メ商人ハ百分ノ十一ヲ占メ農夫ハ僅ニ百分ノ五個ニ占ムルノミ

故ニ露國ニ於ケル私領地ノ重要ナルモノハ貴族ノ領地ナリ貴族領地ガ今日ノ状態ニ至リタル歴史ハ下ノ如シ古代露西亞ニハ土地ニ屬スル財産ニ二種アリ一ハ即チ十分ノ意義ニ於ケル私有地(ヴオツチナ)ナリ二ハ即チ領地即チ封地ニシテ露國ノ君主ガ自己ニ役事シタル者ニ與ヘシ者ナリ而モ此領地ハ君主ノ意思ニ因レバ何時ニテモ返還セシメ得ベキモノトス第十五世紀ヨリヴオツチナハ次第ニ封地ニ混合シ二種ノ土地ハ共ニ君主ニ役事シタルモノニ給スルモノトナリ領地ハ農僕之レニ任スルニ至レリ此ノ如キ土地ハ勿論貴族ノ外ハ唯君主ニ役事スルモノノミノ領スル所タリ十八世紀ノ終ニ至リテ貴族ガ國家ニ役事スルノ義務ハ自然ニ止ミシカバ總テノ土地ハ再ビヴオツチナトナレリ然レドモ農僕ハ猶續ヒテ其土地ニ住シ且農僕ヲ有スルコトハ獨リ貴族ニ限ルヲ以テ土地ト共ニ其住民ヲ所有スルノ權ハ獨リ貴族ニ存シタリシガ奴隸ノ解放ト共ニ此權ハ自ラ廢滅ニ歸シタリ

此歷史上ノ事實ハ今日ニ於テ露國ノ貴族ガ土地ノ所領ニ於テ重要ナル位地ヲ占ムル所以ヲ解釋スルニ十分ナルベシ然レドモ土地ヲ所有スルノ權ガ人民ノ總テノ他ノ階級ニ擴張セラルト共ニ貴族ノ領地ハ漸ク減少スルノ傾向アリ一八六一年農民改革ニ方リテハ殆ンド總テノ私領地ハ貴族ニ屬シタリシガ爾來十七年ヲ經タル一八七八年ニ至リテハ凡ソ千九百萬デシエタインノ地即チ全私領地ノ百分ノ二十八他ノ階級ノ所有ニ屬スルニ至レリ而シテ現時ニ於テハ此比例ハ更ニ増加シタルナルベシ露國ニ於ケル私領地ノ平均額ハ百九十デシエタインヲ超ユルコトナシ此ハ農夫ガ其分配地ノ附加地トシテ土地ノ小部分ヲ割キ自己ノ所有トナスモノ多キガ爲メナリ而シテ他方ニ於テハ貴族ニ屬スル私領地ノ平均額ハ六百三十八デシエタインナリ然レトモ今日ハ貴族ノ領地ヲ以テ總テノ他ノ領地ヲ概論スベカラズ何トナレバ全領地ノ五分ノ一ハ既ニ他ノ階級ノモノトナリタレバナリ

是故ニ若シ他國ト比較セントセバ總テノ階級ニ屬スル小領地ハ一般ニ之ヲ除キ去ルヲ以テ適當ナリトス何トナレバ此等ノ小領地ハ其區域狹少ニシテ重要視スベキノ理由ナキノミナラズ外國ノ小領地ハ既ニ之ヲ我農夫ノ分配地ト比較シタルヲ以テナリ

吾等若シ此方法ニ從ツテ百デシエタイン百ヘクタール三百エーケル以上ノ領地ヲ比較シ各國ノ中數ヲ求ムレバ左ノ如クナルヲ見ル

露國ノ 千百十六デシエタインハ

英國 六百二十九デシエタイン

佛國 四百六十デシエタイン

日耳曼 三百七十四デシエタイン

然レドモ土地ノ廣狹ハ直チニ其生産ノ程度ヲ示スモノニ非ズ西歐諸國ニ於テハ各デシエタインノ生産ハ我國ニ比スレバ頗ル大ナリ英國ハ三倍シ日耳曼ト佛國トハ二倍ス故ニデシエタインノ數ニ生産ノ割合ヲ乘ゼザルベカラザルナリ即チ左ノ如シ

露國ハ千百十六ニ一ヲ乘ジテ千百十六

英國ハ六百二十九ニ三ヲ乘ジテ千八百八十七

佛國ハ四百六十二ニ三ヲ乘ジテ九百二十

日耳曼ハ三百七十四ニ二ヲ乘ジテ七百四十八

因是觀之ハ第一等ニ位スベキモノハ露國ニアラズシテ英國ナリ
吾等假ニ露國ノ土地ニ屬スル財産ヲ分チテ三等トナスベシ即チ百デシエタインマデナ小領地トシ百乃至千デシエタインマデナ中領地トシ千デシエタイン以上ヲ大領地トスル時ハ小領地ハ唯全領地ノ百分ノ十ヲ占メ中領地ハ百分ノ二十ヲ占ムルニ過ギズ百分ノ七十八大領地ノ占ムル所ナリ大領地ハ特ニ西北及ビ東方ノ境界地方ニ多ク中領地ハ中部ノ地方ニ多ク小領地ハ北方ニ多シ然レドモ此處ニモ亦抽象的ナル統計上ノ數ハ之ヲ地方農業經濟ノ狀況ニ對照セザルベカラザル必要アリトス蓋シバルチツク諸州ノ千デシエタインノ地ハ之ヲヘルム及ビウフア諸州ノ千デシエタインノ地ニ比スレバ固ヨリ同ジカラザレバナリ
(乙) 村落労働者ノ備使 土地使用ノ方法ヲ論ズルニ方リ我等ハ地主ノ耕作方法ト農夫ノ耕作方法トノ間ニ存スル區別ヲ明カニセザルベカラズ 此處ニ稱スル地主ノモノヲ指スナリ 農民ノ土地ハ僅少ノ例外ヲ除クノ外土地所有者自ラ之ヲ耕シテ備労働者ノ助ヲ待ツコトナシ然ルニ從來農僕ヲ使役シテ労働ニ從事セシメタル地主ニ至リテハ今ヤ村落ノ労働者ト契約シテ其力ヲ借ラザルベカラザルニ至レ

リ故ニ傭労働者ノ状態ハ土地ノ耕作ニ關シテ最も重要ナル關係ヲ有スル者トナレリ而シテ此状態タル專ラ地方ニ於ケル労働者ノ數ト耕作スベキ面積トニ關スル地方殊ニ人口稠密ナル黒壤地方並ニ工業地方及ビ黒壤地界外ノ多クノ部分ニ於テハ土地ノ大サヲ其地方農民ノ労働ノ程度ニ比スルニ狭少ナリ是ヲ以テ此等ノ地方ニハ頗ル労働者ノ餘剩アリテ多クハ露國ノ南方若シクハ東南ニ生業ヲ求メンガ爲メニ一時黒壤地ヲ去ルヲ常トス黒壤地界ノ外ニ住スルモノハ大抵都府及ビ工業ノ中心ヲ指シテ労働ヲ求ム蓋シ其土地ヲ耕作スルニ其人民ノミニテ満足スル者ハ極メテ僅少ノ地方ナリ(人口稠密ナル黒壤地ノ界中及ビ界外ノ地ニシテ工業ノ進歩セザル地ナリ)南露西亞及東南露西亞ノ總テヲ包轄スル地方ニ於ケル最も廣大ナル土地ハ他地方ヨリ來レル此等ノ臨時労働者ノ補助ニ頼リテ耕作セラル、ナリ

農業労働者ノ數土地ノ耕作ニ對シテ充分ナル地方ニ在リテハ耕地ノ多クハ地方農民ノ耕作スル處ナリ而シテ此農民ハ自己ノ器械ト家畜トヲ用ヒテ耕耘ニ従事スルナリ此方法ハ奴隸解放以前ヨリ殆ンド到處ニ行ハレタル者ニシテ今日ニ至

リテハ三様ノ方法ニ因ル(一)ハ農民ト約束シテ耕地ノ諸事業ヲ分擔セシムルノ法ナリ即チ耕作、播種、收穫等ノ課ヲ分チテ之ニ依托スル者ナリ或ハ全體ノ土地ヲ耕耘スルコト、收穫スルコト、ノ二課ニ分チテ之ニ依托スルコトモアリ而シテ其代償トシテ金若シクハ土地ヲ給ス其土地ヲ給スルノ法タル例ハ二「デシエタイ」ノ地ノ耕作收穫ニ従事スル者ニハ一「デシエタイ」ノ地ヲ與ヘテ自ラ之ニ播種シ其利益ヲ受ケシムルガ如キ是ナリ(二)ハ土地ヲ農夫ニ貸與シテ其收穫ノ半バ若シクハ幾分ヲ受クルコトナリ(三)ハ長キ期限ノ間領地ノ全體若シクハ大部分ヲ村落自治體或ハ會社ニ貸スコトナリ時トシテハ一收穫ノ間土地ノ幾部分ヲ一個人タル農民ニ貸與スルノ方法ヲ取ルコトモアリ

農業労働者ノ供給ヲ得ベキ第四ノ方法ハ年ヲ限り若シクハ日ヲ限り或ハ其他ノ定期ニ因リテ一定ノ間労働者ヲ傭使スルコト是ナリ
月ヲ限り若シクハ夏期ノ間労働者ヲ傭フノ法タル農民ノ極メテ少キ南方ニ於テ行ハル、者ナリ此地方ニ於テハ私領地ノ農業ハ遠來ノ人ニ因リテ行ハレザルヲ得ズ年ヲ限りテ傭使スル労働者ハバルチック、ウイスチユラ及ビ西部ノ諸州ニノ

ミ行ハル、者ナリ

土地所有者ハ其土地ノ耕作ニ關シ傭労働者ヲ得ザル可カラザルコト此ノ如キヲ以テ政府ハ常ニ充分ナル労働者ノ供給ニ附キテ特別ナル注意ヲ致セリ古代露西亞政府ノ最モ注意シタル所ハ特ニ此處ニ在リキ當時ニ在リテ人々ノ知レルが如ク富有ナル地主若シクハ寺院ハ其財政上ノ特權ヲ以テ小領地ノ農民ヲ吸收シ小領地ノ所有者ヲシテ其土地ヲ耕作スベキ労働者ノ缺乏ノ爲メニ國家ニ對スル義務ヲ行フコト能ハザラシメタリ此ノ如キ小地主ノ不平ト苦痛トハ政府ヲシテ農民ヲ土地ニ固着セシムルノ制度ヲ取ルニ至ラシメタリ而シテ一八六一年ニ至ルマデハ農制度ハ地主ヲシテ十分ナル供給ヲ得セシムベキ唯一ノ方法ナリシガ奴隸解放ト共ニ此事情ハ根本的ニ變化シ相互ノ關係ハ自由約束ヲ基礎トスルニ至リシカバ政府ハ此事情ニ相應スベキ規則ヲ作りテ傭労働者ノ利益ヲ均一ニセシコトヲ計レリ蓋シ労働者ガ困難若シクハ危急ノ時ニ於テ不意ニ約束ヲ破リテ地主ヲ困シムルコトナカラシメンガ爲ニ之ガ保護法ヲ立ツルト共ニ一面ニハ労働者ノ經濟上及ビ身體上ノ自由ヲ保護シ其労働ニ對シテ正當ナル報酬ヲ得セシ

ムルノ制ヲ定ムルハ最モ必要ナル者ナリ而シテ労働者ヲ保護スルノ法タル地主ニ取リテモ亦利益アル者ナリ農僕ノ強迫的労働ニ因リテ生シタル土地ノ生産力ガ極メテ小ナリシハ既ニ十分論議セラレタリ是レヲ以テ奴隸解放ノコトアルヤ直チニ一八六三年ニ於テ政府ハ農業労働者及ビ婢僕傭人ニ關スル臨時規則ヲ頒布シ尋テ一八八六年ニ於テ再ビ之ヲ變更セリ此規則ニ因レバ傭主ハ其期限ノ未ダ終ラザル間ニ其地ヲ去リ他ノ傭主ニ到テ労働スル労働者ノ歸來ヲ命令スルノ權ヲ有シ且此ノ如キ労働者ハ其傭主ニ與ヘタル損害ヲ賠償セシメラル傭主ハ耕地ニ出デザル若シクハ故意ニ姿ヲ隠セル労働者ヲシテ歸來セシムルコトヲ請願スルヲ得傭主ハ酒ニ酔ヒ若シクハ事業ヲ怠リシモノニ對シテ其ノ傭料ノ中ヨリ罰金ヲ引キ去ルコトヲ得且ツ其ノ故意懈怠無禮並ニ所有地ノ財産ニ加ヘタル損害ニ對シテ罰金ヲ徵スルノ權アリ然レドモ其ノ罰金ハ二日間ノ傭料ニ超過スベカラズ酒ニ酔フテ義務ヲ怠リシ者ノ罰金ハ其徒費シタル總テノ時間ノ傭料ニ二倍スルコトヲ得全時間農場ニ出デザル労働者ニ對シテハ傭主ハ賠償金ヲ徵スルヲ得但シ其高ハ三ヶ月ノ傭料ニ超過スルコトヲ得ズ此ノ如ク傭主ヲ保護スルト

同時ニ労働者ノ經濟上並ニ身體上ノ獨立ヲ保護センガ爲メニ備役ノ契約五年間ヨリ長キコトヲ得ザルノ制アリ又借錢ノ爲メニ労働ヲ以テ備主ニ償ハントスル者其期限一年ヲ超ユルヲ得ザルノ制アリ加之備主ハ其備料トシテ貨幣ノ外穀物其他ノ物品ヲ以テ強テ被備者ニ拂フコトヲ得ザルノミナラズ備料ヲ拂フコトヲ怠リシ備主ハ罰金ヲ課セラルベシ

以上ハ備役ニ關スル諸規則ヲ法律上ノ點ヨリ觀察シタル者ナリ而シテ經濟上ノ點ヨリ備役ヲ見ルモ其重ナルコト決シテ之ニ讓ラザルナリ事實ヲ曰ヘバ事業資金ノ多寡ハ全ク労働ノ安全ニ關スル地方ノ状態ニ賴リテ定マルモノナリ

人口稠密ナル黒壤地方ノ土地所有者ハ大抵自ラ家畜農具ヲ有スル者稀ナリ此ノ所ニ於テハ地方農民労働者ハ自己ノ家畜ト農具トヲ携ヘ來ルナリ又生産ノ一部ヲ以テ農民労働者ニ與フル地若シクハ長期間土地ヲ農民ニ貸與スル地ニ於テハ土地所有者ハ全ク自己ノ工夫ヲ用ヒザルコトヲ得然レドモ之ニ反シテ遠隔ナル地方ヨリ農民ノ來ル地若シクハ一年ヲ期限トシテ農民ヲ備フノ地ニ在リテハ土地所有者ハ自己ノ工夫ヲ用フルコト多カラサルヲ得ス

労働問題カ私領地ノ利益ニ及ボス結果モ亦重要ナルモノナリ農業ノ利益ハ收穫ト小麥ノ代價トニ在リ而シテ其費用ハ即チ労働者ノ價值ニ在リ年若シ凶歉ナレハ穀價ハ概シテ騰貴シ労働ノ價ハ概シテ減スルヲ常トス而シテ年豐ナレハ即チ之ニ反ス故ニ年々ノ收穫ニ動搖アレハ彼此ヲ平均スベキ筈ナルモ事實ニ於テハ全ク之ニ反スルコトアリ例ヘハ南方ニ於テハ穀物ノ價低落シテ労働ノ價騰上シ地主ノ損失ハ凶歉ノ年ヨリモ甚シキモノアリ此故ニ最モ利益アル年ハ收穫中庸ノ時若シクハ平年ニ比スレハ少シク豐饒ノ時ニ在リ而シテ北方ニ赴クニ至テ最モ利益アリ何トナレハ北方ハ土地ヨリノ産出及ヒ労働ノ價共ニ動搖スルコト少ナク私有地ノ面積モ比較的ニ僅少ナレバナリ

然レトモ南方ニ於テハ收穫ニ必要ナル費用ヲ精密ニ前知スルコト能ハサルヲ以テ地主ヲシテ借金シ若シクハ未タ穀倉ニ收メサル穀物ヲ賣リテ金錢ノ前拂ヲ爲サシムルコトアリ

此等ノ事情ハ我等ヲシテ長期及ヒ短期ノ農業貸與ニ關スル問題ヲ説明セサルヲ得ザラシム

(丙) 地主ニ對スル長短期ノ貸借 金錢ノ貸借ニ土地ヲ抵當トスルハ第十四世紀ノ露國ニ於テ既ニ人ノ知ル所ナリシガ第十六世紀ニ於テハ充分一定ノ形狀ヲ取ルニ至レリ然レトモ土地ヲ獲取スルコトヲ平民ニ禁シタリシカハ平民ノ階級ニ屬スルモノニハ土地ヲ抵當トシテ金ヲ貸スコトヲ禁セラレタリ是レ土地抵當ノ事務ニ大障害ヲ爲セシモノニシテ金利ノ高カリシ所以モ亦此ニ存ス

女帝エリサヴエタ、ペトロヴナノ治世中即チ千七百五十四年貴族ガ高利貸ニ苦シメラル、コトヲ防ガンガ爲メニ聖ペートルスボルグ及モスコイニ於テ二個ノ政府銀行ヲ建テタリカテリン二世ノ時ニ於テ聖ペートルスボルグ銀行ハ國立貸金銀行トナリ而シテ時日ノ經過ト共ニ貸金ハ獨リ貸金銀行ニ於テ行ハル、ノミナス聖ペートルスボルグ並ニモスコイノ棄兒院並ニ公立慈惠事務所ニ屬スル儲蓄銀行ニ於テモ行ハル、ニ至レリ千八百五十九年ニハ此等ノ諸銀行ハ農僕總數ノ三分ノ二ヲ抵當トシテ四億二千五百萬ルーブルヲ貸與セリ我等ハ前章ニ於テ此等ノ農業信用法ノ性質ガ極テ不條理ナルコト及當時既ニ接近シツ、アル農民改革ガ地主ヲシテ從來ノ如ク無報酬ナル農僕ノ勤勞ヲ以テ其財源トスルコトヲ得

ザラシメタルヲ以テ根本的ノ改革ヲ必要トスルニ至リシコトヲ述ベタリ而シテ之ガ結果トシテ總テノ農業信用ハ千八百五十九年七月ニ於テ全ク一變シタリ千八百六十一年奴隸解放ト共ニ農民ニ分與セラレタル土地ニ對シ領主ニ貸與セシ金ハ從來ノ貸金銀行儲蓄銀行等ニ負ヘル彼等ノ借金ヲ拂フ爲ニ用ヒラレタリ爾來一千八百五十四年ニ至ルマデハ適當ニ曰ハバ農業信用法ト稱スヘキモノハ一モ存在セサリシナリ但シ當時ト雖モ農事ニ關スル問題ハ最モ注意シテ討論セラレ結局共同ノ信用ニ因リテ成立セル銀行ヲ建ツルヲ可トスルノ論ニ傾キタリ即チ地主相互ノ保證ヲ以テ基礎トスル會社ヲ組織スヘシト論是ナリ此種ノ最初ノ銀行ハ一千八百六十四年ニ至リテケルメン州ニ建テラレタリ而シテ一千八百六十六年ニ至リテ更ニ重要ナル農家ノ共同土地抵當貸金會社ナルモノ起レリ尋テ一千八百七十一年ヲ始メトシテ土地抵當貸金株式會社ハカールコッフ、ポルタヴァニ起レリ一千八百六十五年ニハ所有地ヲ抵當トシタル借金ノ高九千二百萬ルーブルナリシガ一千八百八十六年ニハ七億ルーブルノ高ニ上レリ現世紀ノ第八十年代ニ於テ穀物ノ價大ニ低落セシ時ニ當リ土地ヲ抵當トシタル地主ハ殆ン

ト救済スヘカラスル状態ニ陥リタリ其収入ハ著シク減シタリ而シテ銀行ニ拂フヘキ金及普通ノ費用ハ依然タリ此事情ト最初ノ地主タル貴族ノ手ヨリ土地所有權ガ神速ニ他ノ階級ニ移リ行ク事情トハ政府ヲシテ大ニ警戒スル所アラシメタリ是ヲ以テ一千八百八十五年ニ至リテ政府ハ國立貴族土地抵當銀行ヲ立テ専ラ貴族ニ限り貸金ヲ行ヘリ其貸金ノ高ハ土地評價ノ百分六十二超ユルコトナク土地ヲ抵當トシテ貸渡スモノトス貸借期限ハ十一年ヨリ六十七年ニ亘レリ而シテ一千八百九十四年十一月ノ勅令ニ因リテ土地救贖ノ外ニ課セラルヘキ利子ノ割合ハ一ヶ年四朱ニ下レリ蓋シ此ノ如キ便宜ナル約束ハ私立ノ土地抵當銀行ニ於テハ決シテ其ノ借主ニ對シテ爲サ、ル所ナリ故ニ私有地アル者ノ借金が増加シタルハ即チ貴族土地抵當銀行ノ貸出ニ因レリト云ハザルヘカラス斯クテ一千八百八十六年ヨリ一千八百九十四年ニ至ルマデ借金ノ高ハ四億七千五百萬ルーブルニ増加シタルカ其三億三千五百萬ルーブルハ貴族銀行ノ貸出ニ係レリ此ニ說明セサルヘカラスルハ此銀行ノ事業ハポーランド、バルチック諸州、フインランドトランスコウカサス並ニ西部諸州ニ於ケルポーランド出身ノ土地所有者ニハ及

ボサマルコト是レナリ

一千八百九十四年一月六日ニ於テ私有地ヲ抵當トシテ爲シタル借金ノ數ハ十一億七千五百萬ルーブルニ上レリ而シテ個人間ニ於テ土地ヲ抵當トシテ貸借シタル者ハ此中ニ加ヘサル者トス勿論其數甚ダ少シ此借金ノ抵當タル私有地ノ數ハ十萬八千ニシテ四千七百五十萬デシエタインノ面積ヲ有シ歐羅巴露西亞ポーランド及高加索全地盤ノ百分四十三ニ相當ス抵當地ノ最多數ハバルチック諸州ニ在リ此地方ニ於ケル貴族共同ノ貸金銀行ハ第十九世紀ノ始メヨリ既ニ存在セリ南部及西南部並ニ中部ノ黒壤地ニ於テハ總テノ私有地ノ過半數即チ百分ノ七十ハ抵當地トナレリ蓋シ此地方ハ收穫及ヒ勞働ノ價值動搖スルコト多キヲ以テ地主ハ常ニ運轉シ得ヘキ資本ヲ保存スルノ要アレハナリ露國ト同時ニ西歐諸國ニ於テハ土地ノ必要ノ爲メニ費サレタル借金ノ數ハ甚ダ少シ其多クノ部分ハ土地購入ヲ容易ニスル爲メ若シクハ家産分配等ノ事アルニ因リ第三者ニ對シテ拂フヘキ必要アルカ爲メ借金スル者ナリ

私有地ノ所置ニ關シ更ラニ重要ナルモノハ短期ノ貸借ナリ直チニ奴隸廢止ニ續

キタル時期ノ間運用資本ヲ得ンカ爲メニ一部分ハ農民ニ分配シタルニ因リ失ヒタル土地ノ賠償トシテ政府ヨリ與ヘラレタル利子付ノ手形ヲ賣リ一部分ハ其ノ土地ヲ抵當トシテ借金ヲ爲シタリ然レトモ此財源モ既ニ盡キテ地主ハ重大ナル借金ヲ負フニ至リ更ニ短期ノ農業貸借法ヲ設クルニ注意セリ土地抵當銀行ハ其ノ條款ニ因リテ資本ノ中比較的小部分ヨリ此ノ種ノ貸金ヲ爲スヲ得ルノ制アリ而シテ土地所有者ハ國立銀行ニ向テ助ヲ求ムルコト甚ダ稀ナリキ何トナレハ國立銀行ハ唯商業上ノ手形ヲノミ割引スルモノナレハナリ個人間ノ貸借ハ其利子殊ニ不廉ナリキ殊ニ凶歉ノ時若シクハ穀物賣買ノ不景氣ナル時ニ於テ甚ダシトス總テ此等ノ事情ハ一千八百八十四年ニ至リテ土地所有者ニ單署ノ手形ヲ發スルノ權ヲ與フル法律ヲ發セシメタリ此法律ニ從ヘハ帝國銀行及其支店ハ單署ノ手形ニ對シ土地所有者ニ金ヲ貸スノ權ヲ與ヘラレタリ(即チ振出人一人署名ノ手形ニ因リテ貸與スルナリ商業上ノ爲替手形ハ第二者ノ署名ヲ要スルナリ)此手形ハ其拂渡シタル金高ニ對シテ土地ヲ以テ抵當トスル者ナリ(現時ニ於テハ什器保證書等モ亦單署手形ノ抵當トスルヲ得ルニ至レリ)一千八百九十三年ニ至ルマテ

貸金ノ爲メニ使用シタル金ハ總計千三百五十萬ルイブルニシテ貸金ハ九百萬ルイブルナリキ爾後殊ニ一千八百九十四年國立銀行ニ關スル新シキ條款ノ發セラレタル時ニ於テ單署ノ手形ニ對スル貸金ヲ更ニ一層圓滑ナラシメタリ是ニ於テ一千八百九十五年ニ至リテ單署ノ手形ニ因リテ貸與シタル金高遂ニ千八百萬ルイブルニ及ベリ

短期農業貸金ノ第二ノ方法ハ農産物ヲ保證トシテ金ヲ貸スコトニ在リ此法ハ土地所有者ニ取リテハ最モ必要ナル者ナリ何トナレハ彼等ヲ助ケテ估客ノ恣ニ定ムル價格ニ對シ獨立スルコトヲ得セシムレハナリ單署手形ノ發行サレシ久シキ前ヨリ現世紀ノ第四十年ニ於テ此法ハ既ニ行ハレタリ當時ノ國立銀行ハキープ及ヒカローラコッフニ支店ヲ設立シ土地所有者ガ同所ニ儲蓄シタル農産物ヲ保證トシテ金ヲ貸シタリ其業務タル最初ハ甚ダ速ニ進歩シタリキ然レトモ抵當トシタル産物ヲ貯フヘキ完全ナル建築ノ缺乏ト之ニ對スル必要ナル監督ノ缺乏ト共ニ此法ハ漸ク行ハレサルニ至リ終ニ全ク廢止シタリ是現世紀第六十年ノ事ナリキ然レトモ國立銀行ノ再建ト共ニ一千八百九十四年ニ至リテ再ヒ成立シタリ

而シテ他方ニ於テハ鐵道ノ發達ト共ニ鐵道事務官モ亦此事業ヲ行ヘリ

第二節 地種ノ分配

吾等ハ茲ニ農夫及ヒ私有地ヲ論スルノ事ヲ轉シテ一般農業ノ状態ヲ記述セントス而シテ之ニ關スル第一ノ問題ハ各地種ノ分配ナリ一千八百八十一年ノ統計ニ從ヘハ歐羅巴露西亞ノ五十州ニ於テ森林ハ百分ノ三十九ヲ占メ耕地ハ同二十六ヲ占メ牧地及ヒ澤地ハ同十六ヲ占メ耕作ニ不適當ナル土地ハ同十九ヲ占メタリ

(甲) 森林。因是觀之ハ露國ハ森林ノ多數ナル國ナルガ如シ然レトモ露國ヲ以テ森林國ト呼ブハ蓋シ誤レリ露國ニ於テ專ラ森林ヲ以テ成立スト稱スヘキ者ハ唯二個ノ地方アルノミ即チ極北地方(百分ノ五十七)及ビウラル地方(百分ノ四十五)ナリ中央ナルヴオルガ及ヒ湖水地方ノ諸州ハ其森林ヲ有スルノ度澳太利ト同ジ(百分二十九乃至三十)而シテ次ニ記スル諸州ハ佛國ヨリモ多ク日耳曼ヨリモ少キ森林ヲ有ス即チモスコ州ノ工業地方リタアニヤヲ加ヘタル白露西亞ノ諸州ポーランド王國ウクレインノ森林ナル部分キイフ及ビヴオルヒニヤ及ヒトランスコーカサス是ナリ(百分二十乃至二十四)バルチツク諸州ハ其森林ヲ有スルノ度佛

國ニ似タリ(百分十七)而シテ其他ノ諸州ニ於テハ森林ノ比例ハ之ヨリモ猶僅少ナリ蓋シ佛國ハ森林ノ極メチ少キ地方ナリトセラル、ニ此地方ノ森林ハ之ヨリモ更ニ少キナリ東南ノ高原地方ニテハ森林ノ數僅カニ百分ノ一ニ過キス

森林ト人口トノ關係ニ關スル統計ハ前ニ比スレバ頗ル佳良ノ状態ニ在リ露國ニテハ森林ノ數一人ニ付一「デシエタイン」三ナリ而シテ歐洲ニ於テハ僅ニ零「デシエタイン」八ニ過キス殊ニ澳太利ニ於テハ二分一「デシエタイン」日耳曼ニ於テハ三分一「デシエタイン」佛蘭西ニ於テハ五分一「デシエタイン」ナリ然レトモ我等ニシテ地帶ト地方トニ因リテ露國ヲ分チタランニハ人口ノ二分一ハ其森林ヲ有スルコト日耳曼ヨリモ少キナリ佛國ヨリモ少キコト五分一ナル者アリ博士ラウドスキイ及ヒシヤフランノツフノ計算ニ從ヘハ室内及工業用ニ費ス所ノ材木ハ一ヶ年間四千五百萬「サジエン」「サジエン」ハ尺四分七毛ニ當ルナリト云フニ千五百萬方「サジエン」ヲ以テ一「デシエタイン」ノ材木ニ相當スル者トシテ計算スル時ハ一億二千二百萬「サジエン」「デシエタイン」ノ材木ニ相當スル者トシテ計算スル時ハ一億二千二百萬「サジエン」ニシテ全森林ノ七十一分ノ一ニ相當ス此材木伐採ノ數タル森林ニシテ若シ全國平均ニ分配セラレタラ

ンニハ多大ニ失スル者ナリト云フヘカラス然レトモ不幸ニシテ事實ハ此ノ如クナル能ハス森林ノ少キ地方ハ其伐採極メテ急劇ナル者ナリ此ノ如キ我穀物生産地方ニ於ケル森林滅亡ノ状態ハ特殊ノ注意ヲ喚起セリ人々ノ知レル如ク森林ハ穀物ノ嫩芽ヲ害スル朝霜ヲ和ゲテ氣候ノ激變ヲ防ギ且濕氣ノ分量ニ影響シテ氣候ト濕潤トヲ制裁スル者ナリ歐羅巴露西亞ニ於テハ森林地方ハ其他ノ地方ニ比スレバ氣候ノ規律整正ナリ

此森林滅亡ハニースター河デニール河ブーグ河ドン河西ドヴェナ河ノ流域ニ於テ古來未ダ嘗テ知ラレザリシ破毀的ノ大洪水ヲ生シタリ森林ハ又氛圍氣ヲ清潔ニシ沙土ノ流失沙丘ノ生成ヲ防キ雪霰及暴風雨ノ災害ヲ防禦シ河川ノ堤防ヲ堅固ニシ河流ニモ淤泥堆積セザラシムルモノナリ森林ガ露國ニ於テ重要ノ者タル理由ハ此處ニ存ス何トナレハ從來露國ハ専ラ農業國ニシテ多數人民ノ幸福ハ氣象ノ平均ト緩和トニ關スレハナリ故ニ露國ニ於テハ社會及ヒ國家ト森林トノ關係ハ大利害ヲ有スル者ナリ古代ノ露國ニテハ森林極メテ潤澤ニシテ稀薄ナル人口ニ對シテハ殆ント價值ナキ者トシテ見ラレ私有財産トシテ取扱ハル、コト

スヲナカリキ第十五世紀ニ於テ始メテ保存免狀ヲ僅少ナル土地所有者ニ與ヘ許可ヲ得ザル人民ノ伐採スルコトヲ防禦スルノ法ヲ發シタリザルアレキセイ、ミクハイロヴァイチノ法典中ニハ他人ノ森林ニ屬スル材木ヲ妄リニ使用シタル者ニ對スル罰則ヲ掲ケタリ然レトモ政府ガ國家ノ森林ニ對シテ一定ノ處置ヲ取りタルハペートル大帝ノ時ニ始マレリ一千七百三年ニ於テ大ナル河ヲ距ル五十「ヴェルツ」小ナル河ヲ距ル二十「ヴェルツ」以内ノ森林ヲ以テ「サボヴィエドン」即チ禁伐林トナシタリ擗樹ヲ伐ル者ハ死刑ニ處セラレ其他ノ樹ヲ伐ル者ハ十「ルーブル」ノ罰金ヲ科セラル、ノ令ハ發セラレタリ

森林事業ノ監督ト管理トヲ目的トシテ林務官ノ團隊ヲ組織シ其長官トシテ林務長官ヲ置クニ至レリ、一千七百二十三年「オベルヴァアルデメイステル」訓令ニ因リテ「ペートル大帝」ノ後此等規則ノ多分ハ變革シテ寛大ナルニ至レリ然レトモ「アンナ、イオハン」ノ「ヴァナハペートル」ノ法ヲ復興スルノミナラス更ニ之ヨリモ嚴ナラシメタリ「カテリン」二世ノ時ニ及ヒテハ私有財産ノ自由ニ關スル當時ノ新思想ニ從ツテ森林ヲ王家ニ獨占スルノ法ヲ全廢シ政府ハ専ラ皇室ニ屬スル森林ニノミ其注

意ヲ集中スルニ至レリ千八百三十四年領地省ノ設ケラル、ニ及ンデ政府ハ始メテ國土ノ開拓ニ必要ナル要素トシテ森林ニ注意シ皇室ノ森林ヲ監督スヘキ護林兵及ヒ森林ノ適當アル管理及ヒ種樹ニ從事スヘキ林務官ノ團隊ヲ組織セリ此法ハ今日マテ續キツ、アル者ニシテ其結果ハ甚タ大ナリ何トナレハ此法タル獨リ森林事業ニ於ケル國家ノ歲入ヲ増加セシムルコト一百萬ルーブルヨリ二千八百萬ルーブルニ至リシノミナラス國家所有ノ森林殆ント無限ナルヲ以テ其國家全體ノ利益ヲ來シタルコト多ケレハナリ歐羅巴露西亞ニ於テハ森林ノ三分二ハ國有ナリ此ノ所モ亦森林ノ分配ハ甚タ妙ナラス國有地森林ノ最多數ハ北方ノ樹木鬱蒼タル地方ニ在リ保護法ナキ個人ニ屬スル森林ハ樹木ノ稀疎ナル地方ニ在リ此等ノ地方ニ於テハ森林保護ノ必要ヲ認ムルコト甚タ遲緩ナリ

尋テ此世紀ノ第六十年間ニ於テ「ゼムストヴオ」ノ設ケラル、ニ及ンデ「ゼムストヴオ」ノ多數ハ森林保護ノ問題ニ注意シ始メ國領地大臣伯爵ウアルーイエフノ有力ナル補助ヲ受ケ始メテ森林保護法ノ草案ヲ起シタリシカ一千八百八十八年ニ至リテ終ニ皇帝ノ裁可ヲ受ケタリ此法ニ因レハ歐羅巴露西亞及高加索ニ存在スル

下ノ森林ハ共ニ保護スヘキモノトシテ認定セラレタリ則チ(一)流沙ヲ防止スル森林(二)河岸ヲ保護スル森林(三)山及丘陵崖及ヒ山背ニ生スル土石ノ崩壞ヲ防グニ足ルヘキ森林(四)川及ビ派流ノ上流及ヒ水源ヲ保護スヘキ森林是レナリ此種ノ森林ハ其地種ヲ變換スルヲ得ズ其管理ノ法ハ政府ノ定ムル所ニ因ル者トス又土地所有者ニシテ若シ必要ナル改良ヲ爲スコトヲ肯ンセサル時ハ大臣ハ估價ニ從テ此等ノ森林ヲ買上ルコトヲ得ヘシ保護スヘキモノトシテ認メラレサル私有ノ森林ハ或ル場合ニ於テモ地種ヲ變換スルヲ得樹木ノ破毀的ノ伐採及ヒ幼稚ナル森林ニ於テ牧畜スルハ禁セラル規則ニ因ラスシテ樹木ヲ拔キ取リタル森林ハ土地所有者再ヒ之ヲ植エサルヘカラス此法律ヲ施行センカ爲メニ各州ニ森林保護委員ナルモノヲ置キ知事ヲ議長トシ貴族行政官司法官セムストヴオ森林所有ノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス一千八百九十五年一月一日ノ調査ニ因ルニ此委員ノ監督ノ下ニ在ル森林ハ二千六百萬デシエタインニシテ内農民林七百萬デシエタイン個人ノ所有林千九百萬デシエタインナリ此總計ノ中保護トシテ認メラレタルモノハ八十九萬デシエタインニシテ非保護林ノ中四百十六萬六千デシエタインノ森

林ハ政府ヨリ其管理ヲ認可シタルモノナリ

以上ハ現在ノ森林保護ニ關スル保護的ノ法律ナリ然レトモ吾人ガ前ニ陳ヘタル如ク露國ニハ森林ノ缺乏セル廣大ナル地方ノ他ニ存在スルヲ見ル此ノ如キ處ニテハ直接ニ森林ヲ繁殖スルニ積極的ノ政策ヲ行フノ必要アルナリ領地省ノ組織アルヤ第一ニ其ノ注意ヲ引キタルハ此ノ問題ナリキ學者ハ「ステツプス」ノ高原ニ森林ヲ植エ付クルコトハ到底困難ナルヘシトナシタレトモキスセレフ伯ハ斯カル學說アルニ頓着セス爰ニ森林ヲ植付クルノ計劃ヲナシヴキクトル、グラフト名クル若年ノ山林學者ヲエカテリノスラフ州ニ遣シ森林植付ノ試驗ヲ行ハシメタルニ此ノ人ハ驚クヘキ勉強ヲ以テ總テノ妨害ニ打勝チ、グレートアナドルスキーニ森林ト稱スル大ナル森林ヲ「ステツプ」ノ地ニ起シタリ是レカ爲メ以前砂漠ノ地ニテアリタル「ステツプス」ニ三千「デシエタイン」ノ良好ナル森林ヲ見ルニ至レリ其ノ後新森林ヲ起スノ事業ヲ他ノ地方ニモ行ヒ多クノ新ラシキ森林ヲ見ルニ至レリ現今森林局ニテ年々増加スル所ノ森林ハ七百五十「デシエタイン」ナルガ政府ノ他ノ局及ヒ一私人ニテモ此例ニ從ヒ森林ノ新設ヲ計ルモノ少ナカラス此外リポー

及ビウキントニ近キ平原及ヒアレスキー市ニ近接セルデニール河ノ河口ノ移動スル砂地ヲ防止セン爲メ樹木ヲ植付タルハ注意スヘキコトニテ尙ホ各地ニ於テ砂地ノ移動ヲ防止スル爲メ樹木ヲ植付ケツ、アルハ著シキコトナリ現今ニ於テ森林ノ當局者ハ森林ノ繁殖ヲ獎勵スルト共ニ三十一ヶ所ノ育種場ヲ起シ其苗木ヲ凡テノ森林者ニ授與シ又森林繁殖法ニ關シテハ懸賞文ヲ募リテ之ヲ講究シツ、アルナリ終リニシベリヤノ森林ニ關シ數言ヲ費サ、ルヲ得ス同地方ノ森林ハ凡テ官有ニシテ西シベリヤノミニテモ一億千萬「デシエタイン」ニ達セリ東部シベリヤニ於テハ森林ノ面積ハ更ニ大ナルカ未ダ其ノ測量ヲ遂ゲザルナリ歐洲露國ト同シクシベリヤノ驚クヘキ森林ノ富源ハ各地方同様ニ分配セルニ非ズ南部ニ於テハ殆ント森林ヲ見ザル所アリシベリヤノ森林ハ多クハ上古以來今日ニ至ル迄更ニ斧ヲ入レザル者ニテ又何等ノ管理ヲモナサ、リキ其地ニ住スルモノハ勝手ニ其森林ヲ伐リ出シ自己ノ必要ヲ滿スヲ得ルナリ斯ク之ヲ放擲シ去リタル結果屢見ル所ノ風害及ビ火災ニテ其森林ノ荒廢ニ歸スルモノ多ク是レガ爲メ人口稍稠密ナル北方ニテハ既ニ木材ノ缺乏ヲ見ル所アルナリ西部シベリ

ヤニ於テ伐木ニ關シ一定ノ租稅ヲ納ムヘキコトヲ定メタルハ六十年代ニテアリタルガ管理者ノナキガ爲メ其等ノ法則モ徒法タルニ過キサリキ後森林署ノ設立ヲ見ルニ至テ幾分カ其實行ヲ見ルニ至レリ亞細亞露西亞カ森林ノ管理ニ關シテハ猶爲スヘキコト少カラス然レトモ是等ハ人口ノ繁殖木材必要ノ増加及ヒ其相場ノ高値ヲ見ルニ及ンテ漸次行ハル、ヲ得ヘキモノナリ

(乙) 耕作法及農産副業。歐洲露國面積ノ百分ノ四十三ハ耕地及ヒ牧場ナリ各地ニ因リテ耕地ト牧場ノ比例ヲ異ニスルハ是ガ地方經濟ノ上ニ一ノ變化ヲ來ス原因タラサルヲ得ス耕地ハ人口稠密ナル黑壤地方ニ多ク此一帶ノ地ヲ除ケハ南部ニ於テモ北部ニ於テモ耕地ハ比較的少シ而シテ耕地ノ最モ少キハウオルグダ、オロネツツ、アルチエンゼン等北部ノ諸州トス是等ノ地方ニ於テハ森林地最モ多ク其地方ニ最モ適スル所ノ耕作法ハ森林ト農作ノ輪環法ナルモノナリ此法ハ久シキ間斷ヲ經テ小麥ヲ播キ同時ニ樹木ヲ植エ付ルニアリテ此耕作法ハ上ニ掲ケタル三州ノ外ノヴゴロツド、コスツロコー、グイアツカー及ヒベルムノ諸州ノ一端ニ於テ行ハル此法ハ漸次廣ク露國ニ行ハル、三作法ナルモノニ變化シツ、アルナリ

其最モ廣ク行ハル、法ハ第一章田第二章麥第三章燕麥大麥若シタハ蕎麥ヲ輪番ニ植エ付ルニアリトス然レトモ土地ノ性質ハ地方ニ因リテ異ナリ又其ノ耕作法ニモ異ナル所ナカルヘカラス是レ等ノ諸州ノ北部ニテハ粘土砂地及ヒ沃土ハ全面積ノ十分ノ二若シクハ三四ニ過キサレトモ黑壤ノ地方ニテハ十分ノ五若シクハ六ニ達スルナリ又西部ノ地方ニテハ農作ト森林輪環法ノ地方ニ接シ亞麻ノ生産地アリ即チプスコフ、ウキツテブスク、ノヴゴロツドノ三州トヤロスラフ、コストロフ、ウオルグダ、ツユウエルスモレンスク及ヒコウルランド諸州ノ一部是ナリ是等ノ地方ニテハ先ツ穀類ヲ植エ後亞麻ヲ植ウルカ其地方ハ半森林半耕地ニテ多クハ苜蓿ヲ植エテ肥料トナスナリ黑壤一帶地方ノ外ノ地方ニテ生産スル亞麻ハ毎年一千三百萬ブーヅニ達シ殆ント全歐洲諸國ニテ生産スルモノニ匹敵ス黑壤地一帶シベリヤ及ヒポーランド王國ニテ産スル亞麻ハ千八百萬ブーヅニテ之ニ加ヘテ亞麻仁二千三百萬ブーヅヲ生ス是等ノ生産物ハ其地方ニ消費スルモノ極メテ少ナク亞麻ノ三分ノ一亞麻仁ノ十分ノ二ニ過キサリ依テ亞麻及ヒ亞麻仁ノ輸出ノ價額ハ八千萬ルーブルニ達セリ故ニ露國ハ世界ノ市場ニ亞麻ヲ供給ス

ルニ於テハ第一ニシテ亞麻ニテハ印度ノ次ニ位ス
 黑壤地以外ノ亞麻生産地ニ接シテ牧場地アリ此ノ地ハ聖ペートルスボルク、バル
 チツク岸三州及リズアニヤ白露西亞ノ一部及ヒ工業地方ヲ含ム此ノ地方中耕地
 モ又少カラス就中最モ多キハリツアニヤニテ其十分ノ四ヲ占ム最モ少キハバル
 チツク地方ニテ十分ノ二ニ過キス此地方ニテ著シキハ苜蓿、馬鈴薯、テモシエー草
 等ノ生産及ヒ河湖沼澤及ヒ森林ニ沿フテ天然ノ牧場ノ饒多ナルニアリトス家畜
 ノ豊富肥料ノ饒多ハ農地經濟ノ根本ノ條件ニテ從テ牛乳製造業ノ大ナル發達ヲ
 見ルナリ

六十年代ノ終ニ於テツウエンノ一地主ニテウエレストチヤンジント名クル人牛
 乳製造研究ノ爲メスウキツルランドニ至リ同國ニテ見ル所ノ同製造組合ノ方法
 ナ學ヒ之ヲ露國アルテルノ組織ノ下ニ露國ニ輸入スルコトヲ圖リタリ一千八百
 七十一年ニ於テウエレストンチヤンジンハツウエルノゼムストヴオ(地方自治體)
 及ヒ政府ノ補助ヲ以テツウエン縣ノエデモノフ村ニ於テ牛乳製造業ノ第一ノ學
 校ヲ開キタリ

牛乳製造業ハ其頃ヨリシテ非常ノ進歩ヲナシ七十年代ノ半ニ於テハ數個ノ「チイ
 ズ」及ヒ「バター」製造場起リスウエツス、和蘭、リンブルグ、佛蘭西ハ「チイズ」等ヲ生産セ
 リ是レヨリ以前ハ露國ニ於ケル「チイズ」ハ單ニ凝乳ヲ以テ製シタリ「クリームバター」
 「ホロスタイン」及ヒ「パリスバター」モ此頃ヨリ製造ヲ始メ現今ニテハ「バター」及ヒ「チ
 イズ」ノ製造場ハ數千アルニ至レリ一千八百八十六年ニ於テ各地ノ地主及ヒ農民
 ニ最モ進歩シタル製造法ヲ教授セン爲メ巡回「バター」製造所ナルモノヲ作り之ヲ
 各地ニ巡回セシメテ教授ヲナシ又芬蘭ニ於ケル牛乳製造學校ノ例ニ倣ヒ多クノ
 牛乳製造學校及ヒ試験所ヲ設立セリ

此改良ノ結果外國ノ「バター」及ヒ「チイズ」ノ輸入ヲ減少セシメタルノミナラズ却テ
 嘗テ是迄見ザル所ノ是等ノ製造物ノ輸出ヲ始メ一千八百九十一年ニ至リテ六萬
 三千「ブーヅ」ノ「チイズ」ト四十三萬三千「ブーヅ」ノ「バター」ヲ輸出スルニ至レリ
 然レトモ牧畜地ニ於ケル穀類ノ生産額モ少シトセス此地方ニ於ケル穀類ノ耕地
 ハ凡テノ耕地ノ三分ノ二ヲ含ム而シテポルチク諸州ニテハ多作法ノ下ニ凡テノ
 耕地ノ十分ノ七ヲ含有ス穀類中最モ多ク産スルハ裸麥ニシテ之ニ亞クハ燕麥及

ビ大麥ナリ

黑壤地方一帶ノ地ヲ除クノ外他ノ地方ニ於テハ地方經濟ノ然ラシムル所其住民ハ土地ノ比較的瘠土地ナルカ故普通農業ノ外亞麻ノ製造及牧畜等ノ副業ニ頼リテ其生活ヲ維持セサルヘカラス是ト同様ノ理由ニ因リ三作ノ耕作法モ漸次改良ヲ加ヘ春期ニハ根類ノ作物及ヒ牧畜用ノ爲メ草ヲ植ウルニ變ジツ、アルナリ而シテ耕地ハ漸次肥料ヲ加ヘ西亞地方ニテハ人類ノ外磷酸質及ヒ骨粉ノ肥料ヲ用ヒツ、アリ爲ニ今日ニテハ此肥料ノ輸入一千八百八十六年ニ比シテ一倍セルヲ見ル

黑壤地一帶ノ地方ニハ他ノ著シキ形狀ヲ呈シ此ノ地方ニテハ穀類ノ生産多分ヲ占メ之ヲ以テ人民ノ食料其他ヲ維持スルナリ此地方ヲ二箇ニ區分スルヲ得ヘシ第一ハ中央ノ黑壤諸州及ヒ小露西亞ノ一部及ヒ南西諸州ヲ包含シ三作ノ耕作法重ニ行ハル、地方ト稱スルナリ

此地方ハ土地ノ豐饒ナルカ爲メ其地ノ多分ハ耕地ニシテ面積ノ半若シクハ四分ノ三ニ及ベリ然レトモ家畜ノ食物ノ缺乏セルカ爲メ牧畜ハ廣ク行ハレス爲メニ

牧畜ヨリ得ル所ノ肥料モ需用ヲ滿スニ足ラサルナリ

此地方ニテ重ニ産スル穀類ハ北部ニテハ裸麥南部ニテハ小麥此外燕麥蕎麥ニシテ往々大麥豌豆及ヒ蜀麥ナリ馬鈴薯ハ酒精及ヒ澱粉製造ノ爲ニ植ヘ農民ノ間ニ於テハ重ニ之ヲ食トス然レトモ此地方全體同様ノ農産物ヲ生スルニアラズ又三作法ニ加ヘテ苜蓿及ヒテモスシエー草類ノ産出ヲ圖リツ、アルナリ

此穀類生産物ノ後半ハサトラフサマラウオル子ゼカルコフエカテリノストラフ及ヒケルノンノ諸州ヲ包含シ之ヲ改良シタル「フオルロ」耕地即チ多作ノ地ト稱ス此地方ハ「ステツプ」平原ノ耕地ト第一ノ耕地ノ間ニアル者ニシテ毎年同様ノ田畑ニ植付チナスニアラス隔年若クハ數年ノ間其地所ヲ休マセ輪番ニ之ヲ用フルコトチナス數年ノ間休ミタル地ハ再ヒ豐饒ニナルヘケレバ其間ニテモシエー其他ノ草ヲ植ウルコトアルナリ此地ニテ生産スル穀類ハ重ニ小麥蜀麥燕麥ニシテ往々大麥及ヒ豌豆又處ニヨリテハ亞麻仁ヲ産スルコトアリ牧畜ハ廣ク行ハル、處ニテ其地肥料ヲ缺クカ故ニ今日マテハ重ニ細毛ノ羊ヲ生育セリ然レトモ地租ノ増加ト共ニ近年ハ羊ヲ畜フコトハ利益少ク依テ今ハ大ニ衰微シツ、アルナリ

三作ノ地ト隔年作地ノ間ニ第三種ノ耕地アリ之ハ甘菜ノ産スル地方ナリ甘菜ハ中央ノ黒壤地方ニモ産セザルニアラザレトモ眞ノ甘菜生産地ト稱スヘキハクルスク、カルコフ、チセルニゴフ、キースボドリヤ及ヒヴオルヒニヤノ諸州ナリ甘菜栽培法ハ他ノ根菜ノ栽培法ト同様ナリ終ニ歐洲露國南部及ヒ南東部オウバ、オレンブルク、サマラ及ヒアスツラガンノ諸州クীবアン、テレク及ヒドン河上ノコサツクノ屯田地及ヒタウリツト、ケルソン及ヒエカテリノスラツフ諸州ニ於テハ單純ナル隔年耕作法ヲ行ヒ此地方ニ於テハ其耕地他ノ地方ヨリモ少ク而シテ其内現ニ耕作セラル、モノ其半ニ及バズオウソハ州ノ如キハ三分一ニモ及ハサルナリ此地方ニテ肥料ヲ用フルニ至リタルハ十年以來ノコトナレトモ是トテ稀ニ用フル所ニテ南部及ヒ南東部諸州ニテハ常ニ肥料ヲ用ヒサル所多シ勿論爰ニ記憶セザルベカラザルハ「ステツプス」ノ平原ニテ農業ヲ始メタルハ前世紀ノ終今世紀ノ始ニアルナリ而シテ羊ノ牧養ヲ始メタルハ最近數年以來ノコトナリ南部及ヒ南東部露國住民ノ最モ利益多キ職業ハ家畜ノ生産ナレハ之ニ關シテ數言ヲ費サ、ルヲ得ス歐洲及ヒ亞細亞露國ノ全體ニ於テ現今養ヒツ、アル家畜ハ

一億六千七百萬頭ニテ内馬二千八百萬牛四千萬頭羊及ヒ山羊八千七百萬頭而シテ豚ハ一千二百萬頭ナリ牧馬ハ露西亞全國到處行ハザルハナケレトモ人口ニ比シテ牧馬最モ多キハ東部及南東部ナリ馬ノ全數ノ内農ニ屬スルモノ百分ノ八十二地主ニ屬スルモノ十五而シテ市内ノ住民ニ屬スルモノ漸ク百分ノ三ナリ然レトモ農民ニシテ馬ヲ有セサルモノハ南西ニ多ク爰ニテハ馬ノ代ニ多ク牛ヲ用フ農民及ビ「ステツプス」高原ノ馬ハ最モ多ク牧馬廳ニテ生産スルモノ極メテ少シ然レトモ露國産ノ馬殊ニ乘馬ヲ改良スルニハ外國種及ヒ英國ノ雜種等ヲ産スルハ極テ重要ナリ乘馬ノ産高ハ頗ル多クアレトモ競馬ノ用ニ適スル外國種ノ馬ハ猶甚タ少シ此ニハ「ステツプス」(高原)ノ馬ヲ改良スルヲ以テ最モ捷徑ナリトス故ニ牧馬廳ニ於テハ斷ヘス政府ノ牧馬場ヲ増加シツ、アリテ競馬用ノ馬ハ生産ヲ獎勵センカ爲メニ懸賞ヲ用ヒ又屢々馬ノ展覽會ヲ開キツ、アルナリ農業用トシテ最モ適當ナル馬ノ種類ハ「グレッツブル」種及ヒ「芬蘭」及ヒ「ボルチク州」ノ「スウエヂス」馬ト「ペートル」大帝ノ和蘭國ヨリ輸入シタル「ウオロセ子」及ヒ「ダンボフ」ノ「ベテヴ、ギーナル」ステツプ平原ニ産スル馬ノ内乘馬ニ適スルモノハ南東歐羅巴

露西亞及ヒ亞細亞ステツヅ高原ニ産スル「カルキース」馬ト稱スルモノナリ又「カルモツクス」バシキルス、ドンコサツクスノ馬モ乘馬ニ適シドンコサツクスノ馬ニ英國及ヒアラビヤ種ヲカケタルモノハ現今露國ノ騎兵隊ニ用フル馬種ナリ之ヲ要スルニ歐羅巴露西亞ノ南東及ヒ亞細亞ステツクス平原ハ多クノ良馬ヲ産スレトモ不幸ニシテ露國ノ牧馬者ハ其經驗智識猶淺クシテ最良ノ騎兵及ヒ馬車馬ヲ生スルノ道ヲ知ラサルナリ

家畜ハ馬ト同シク廣ク各地ニ産セリ吾人ハ上段ニ於テ大露西亞及ヒ北部諸州ノ家畜及ヒ牛乳製造業ヲ記述シタルカステツクス平原即チ南部ステツクス南西小露西亞及ヒ西東諸州ノ家畜ハ極メテ夥シク最モ食用ニ適セリ家畜ノ貿易ハドンクーパーン及ヒ他ノ地方ニテ市ヲ設ケテ之ヲ行ヒ爰ニ數千ノ家畜ヲ集ムルコトアリ其市場ヨリ生ナガヲ諸地方ニ送り出シ又之ヲ屠リテ肉トナシ汽車ニテ諸方ニ送り届クルコトヲナスナリ

然レトモ南部及ヒ南東部地方ニテ家畜中最モ重要ナルハ羊ナリ露國ニ於ケル羊ハ之ヲ二種ニ分ツテ得ヘシ一ハ細毛「メリノ」ト稱スル羊他ハ普通ノ粗毛ノ羊ナリ

リ第一種ノ羊ハ全羊ノ三分ノ一ヲ占ムレトモ「マリノ」毛ノ下落ト農業ノ發達ト共ニ其數ハ減シツ、アルナリ大ナル牧場ニ於テハ一處ニ數千ノ羊ヲ畜フコトヲナス牧羊ノ利益アルコトヲ第一ニ示シタルハ「ベートル」大帝ニシテ彼ハ一千七百二十年ニ外人ノ助ヲ以テ大ナル牧羊場ヲ起シ其羊ヲ誰彼ノ區別ナク望ムモノニハ無代價ニテ與ヘタリカテリン第二世ノ世ニ於テ「メリノ」種ノ羊ヲ畜フコトヲ始メアレキサンダー一世ノ時ニハ南部ステツクスノ地方ニ於テハ多クノ他國人ニ牧羊ノ爲メ地所ヲ自由ニ給與シタリ「メリノ」種ノ羊中最モ多クアルモノハ「エレクトラル」ニ「及ヒ」ネクレチ「ノ」二種ナリ勿論良毛ヲ生スル羊ノ内最モ著シキハ南西ニ於テハ「ツサカイスキ」南東ニ於テ「ウロヂスキ」種ナリ此二種ノ羊毛ハ多量ニ合衆國ニ輸出シ又北部ノ「ヤロスラフ州」ニテハ「ロマノフスキ」ト稱スル他ノ一種アリ此種ハ衣服ヲ造ルニ適スル良毛ヲ給與ス

歐洲露國ニ年々産出スル羊毛ハ七百萬乃至七百五十萬「ブーズ」内二百五十萬乃至三百萬「ブーズ」ハ「メリノ」種ナリ其多クハ生産地若シクハ市場殊ニ「カルコフ」ノ市ニ於テ賣却セラル、ナリ養豚ノ事業ニ關シテハ爰ニ記述スルコトナカルヘシ唯此

ノ業ハ北西及ヒ南西部ニ廣ク行ハル、ナリ終リニ牧畜並ニ牧畜ノ產物(肉、脂肪、毛革等)ノ年々輸出セラル、モノ四千九百萬ルーブルノ巨額ニ達セリ而シテ其輸入ハ三千二百萬ルーブルニ過キス輸出入共ニ最モ多額ナルハ羊毛ニシテ輸出一千四百萬輸入二千二百萬ルーブルナリ

農産業ノ概畧ノ記述ヲ全ウスルニハコーカサス、サイベリヤ及ヒトルキスタンニ就テ更ニ數言ヲ費サ、ルヲ得ス

コーカサスハ其氣候地味及ヒ經濟ノ狀況ヲ異ニスル所多キカ故ニ多クノ耕作法ノ並立スルヲ見ルナリ其ノ地高低甚タシキ爲メ同一ノ地方ニ於テモ其高低ニ從ヒ種々ノ耕作法アルヲ見ル平原及ヒ山脈ノ麓ニテハ隔年耕作法行ハレ山下ノ森林地ニテハ森林農作輪換法行ハル中ニ最モ少キハ三作法ニテ其他ノ改良法ハ殆ント稀ニ見ル所ナリ多クノ河流ノ爲メ水利ヲ得ル所ノ西部コーカサス平原ニテハ同一ノ田畑ニ同一ノ穀類ヲ幾回モナク重ネテ産セシム最モ多ク産スルハ蜀麥ナリ肥料ハ稀ニ之ヲ用ヒ其地味瘠ルニ於テハ數年間之ヲ休養セシム西部コーカサス其他ノ部分ニ於テハ或ハ農作ト森林ノ輪換法ヲ行フアリ或ハ一作法モアレ

ハ又三作法モアルナリ終ニ東部コーカサスノ平地ニテハ人爲灌漑法ヲ以テ耕作ヲナス故ニ若シ灌漑ノ水充分ナルトキハ其收納モ多ク米及ヒ他ノ有益ナル穀類モ亦多ク産ス然レトモ其水不足ナルトキハ一ノ穀類ノ外生セサルコトアリ若シ更ニ水ナキトキハ耕作ヲ全ク停止スルコトアルナリ田地ヲ肥スハ重ニ灌漑法ノ如何ニ據レリ

コーカサスニ於テ産スル穀類ノ總額ハ左ノ如シ

- 小麥 一億九千七百萬ブーヅ
- 大麥 五千二百萬ブーヅ
- 蜀麥 二千三百萬ブーヅ
- 他ノ穀類 六千 萬ブーヅ
- 合計 三億三千三百萬ブーヅ

食用及ヒ種用ノ爲ニ引キ去リ輸出ニ用フヘキ小麥ノ總額一億八千萬ブーヅニ達ス此ノ如ク多額ノ生産ハ露國ノ何レノ部分ニ於テモ見ルコトヲ得サル所ニテコーカサスハ實ニ歐洲ノ穀倉ト稱スヘキナリ

シベリヤハコーカサスト同シク其氣候並ニ地形ニ變化多ケレハ所謂農業帶ト云フヘキ一帯ノ地方ニ於テモ農業上ノ形狀ニ變化ナキヲ得ス農民ノ多數ヲ有スル諸州ニ於テ專ラ行ハル、所ノ耕作法ハ歐洲露國ニテハ嘗テ見ザル所ノ輪換法ノ一種ナリ平原ニ於テ新ニ開墾シタル地ニハ二三年間引續キテ小麥ヲ播キ其レヨリ又一二年間之ヲ休養シ再ヒ之ニ小麥ヲ播キ斯クシテ其他ノ膏腴盡キ去ルニ於テハ之ヲ棄シテ雜草ヲ繁茂セシメ更ニ新ナル地ヲ開墾シ爰ニ又二三年續キテ穀類ヲ播キ再ヒ之ヲ休マセ斯クテ輪番ニ之ヲ用フルコトヲナス瘠セタル地ハ三年以上續キテ耕スコトヲ得サレトモ最モ肥ヘタル黑壤ノ地ハ二十五乃至三十年間續キテ耕スコトアリトボルスグ州ノ南部ニ於テハ一百年モ引續キテ耕シタル地モアルナリ數年引續キテ耕スノ結果其地ヲ瘠セシムレバ巴ムヲ得ス肥料ヲ用フルニ至ル所アリトボルスグ州農産地ノ北部ニテハ歐羅巴露西亞ニ行ハル、三作法ヲ採リ用フル所モアリブレム氏ガ嘗テ明言シタル如クシベリヤノ眞ノ富ハ其黑壤ニアルナリ現今シベリヤ全體ニテ產出スル穀類ノ總額ハ一億六千萬ブヅニテ其内小麥ト燕麥ハ百分ノ六十裸麥ハ百分ノ二十ニテ他ノ穀類ハ百分ノ二

十ナルニ過ギズ

トルキスタンハ其ノ住民ノ職業ニ關シ之レヲ二種ニ分ツテ得ヘシ第一ハ河流ニ沿ヒ山麓アル灌漑ノ地ニシテ之ニ住スル人民ハ一定ノ住居ヲ定メタル農民ナリ第二ハステツプス平原ニテ牧畜ヲ業トスル遊牧ノ人民ナリトルキスタンニ於ケル灌漑地ノ面積ハ全體ノ百分ノ二半ニシテ百五十萬デシエタインアルニ過キス此ノ耕地ノ不足ハボガルニ一ト稱スル田地ニ於テ小麥ヲ作ルニ由リテ補フコトヲナスボガルニ一ノ田地トハ灌漑セサル地ナレトモ冬期ノ濕氣ト春期ノ降雨ニヨリテ濕ル、ノ地ヲ云フナリ濕氣ノ多キ年ニハ農作ヲ見ルコトアレトモ旱魃ノ時ハ收穫至テ少シ斯ル危險アルニ拘ラス此ボガルニ一ノ田地ハ全耕地ノ三分ノ一アリ處ニヨレハ其半七十萬デシエタインヲ占ム灌漑ノ法ニ改良ヲ行フコトヲセハ灌漑地ノ増加ヲ爲シ得ルハ望ムヘカラサルニアラス穀類ノ耕作法ニ關シテハ別ニ述フヘキコトナケレトモ吾人カ注意スヘキハトルキスタンハ綿ノ重ナル生産地ナルコトナリ中央亞細亞ニ於ケル綿作ハ往古ヨリ行ハレタル所ナリ此地方ノ露國ニ征服セラレ、ヤ更ニ良質ナル米國産ノ綿種ヲ

爰ニ輸入スルコトトナリタリ然レトモ其最初十年間許ノ間ハ良好ノ結果ナカリシ
 ガ八十年代ニ及ヒオプランド種ノ地味ニ適スルコト明白トナルヤ廣ク此種ヲ用
 フルコトトナレリ始メハ之カ試験所ヲ爰ニ多キ以テ種ヲ作り之ヲ無代價ニテ農
 民ニ給與セリ感謝スヘキハ此獎勵ノ結果トルキスタン、トランスコーカサスニ於
 テハ綿ノ農作非常ニ盛ントナリ千八百九十二年トルキスタンニ於ケル綿作八十
 萬、デシエタインニ及ヒ其ノ四分ノ三八、オプランド種ニテ是レニヨリテ生スル綿
 二百萬、ブーヅニ達シ是レニキワ及ヒボクハラノ産高ヲ加フレハ四百萬、ブーヅニ
 及ブナリ而シテトルキスタンノ綿ノ産高ヲシテ六百乃至七百萬、ブーヅニ達セシ
 ムルハ難キニアラス目下一地方ニテハ百、デシエタインヨリ廣キ耕地ナク多クハ
 半、デシエタイン乃至五、デシエタインニシテ其地主ハ此ニ産シタル綿ヲ都會ニ持
 出シテ賣捌クコトヲナス而シテ綿商人ハ直ニ之ヲ買フノミナラス次年ノ收穫ヲ
 抵當トシテ貸金ヲナスコトモアルナリ
 露國ノ南部ベサラビヤ、グリミヤ及ヒコーカサスノ地方ニテ農民ノ副業中第一ニ
 掲クヘキハ葡萄栽培ト葡萄酒製造ナリコーカサスニ於テハ葡萄園ハ十二萬、デシ

エタインニ達シ年々一千三百萬、ウエドロスノ葡萄酒ヲ産シヘツサラビヤニテハ
 其葡萄園七萬、デシエタインニテ年々一千二百萬、ウエドロスノ葡萄酒ヲ産シ其價
 ハ「ウエドロス」二十五、コペクス乃至「ルーブル」ナリグリミヤノ葡萄園ハ八千、デ
 シエタインニテ百五十萬、ウエドロスノ葡萄酒ヲ産ス尤モグリミヤノ葡萄酒ハ其
 質最モ良好ナリトス葡萄酒ハ此外トルキスタン、ドンノ地方ツシムリーアンスキ
 一酒ト稱スルモノ及ヒ他ノ南方ノ諸州ニ於テモ産ス露國全體ニ於ケル葡萄園ハ
 二十二萬五千、デルエタインニテ其平均葡萄酒ノ産高二千八百萬、ウエドロスナリ
 故ニ露國ニテ産スル葡萄酒ハイタリヤニ比シテ其十分ノ一佛國ニ比シテ九分ノ
 一スペインニ比シテ七分ノ一ポルトガル、アルゼリヤヨリハ少シ爰ニ記憶セサルヘ
 カラサルハコーカサス、グリミヤ及ベツサラビヤニテハ今日ノ葡萄園ヲ十倍ニナ
 スモ難キニアラサルナリ而シテ其進歩ノ遅々タルハ「フエロツキセラ」ト稱スル病
 毒ノ存スルニヨル者ニテ是カ第一ニ發見セラレタルハ「グリミヤ」ニテ千八百八十
 年ニアリ其他ノ地方ニモ同様ノ病毒アルヲ見ル政府ハ此病毒ヲ撲滅スルニ大ナ
 ル注意ヲ施シ之カ爲メ特別委員ヲ作り中將男爵「コルフ」氏ヲ以テ其長トナシタリ

コルフ氏ハ後アムール地方ノ總督トナリタル人ナリ氏ハ一時病毒ヲ撲滅スルヲ得タレトモ不幸ニモ其毒ハ他ノ地方ニ蔓延セリ數年以來此病毒ヲ消滅セントシテ種々ノ消毒ヲ行ヒ是レカ爲メ年々十三萬五千ルーブルノ大金ヲ費シタレトモ未タ其効ヲ見サルナリ

煙草ハ歐洲露國ノ五十州トコーカサス及ヒシベリヤニ産ス是レガ最モ多ク産スルハ小露西亞ニシテ爰ニ産スル煙草ハ劣等ノモノニテ「マク」「ホルカ」「ハクン」其他ノ種類(三百三十萬ブーヅ)ナリトス次ニコーカサス、タウリツド、ベツサラビヤニテ爰ニ産スル煙草ハ「トルキシ」ト稱スル優等種ニテ其産額一百三十萬ブーヅニ達ス一千八百九十三年ニ於ケル總テノ煙草ノ田畑ハ六十六萬四千ニシテ何レモ小ナルモノナレハ其ノ全面積ハ五萬四千「デシエタイン」アルニ過キサリナリ然レトモ是等ノ面積ハ時ニヨリテハ變化スルモノニテ煙草ハ農民ノ副業トナスモノナレハ時ニヨリテハ全ク是レヲ廢スルコトアリ故ニ一千八百八十九年ニハ其面積僅ニ三萬八千「デシエタイン」ナルモ一千八百八十六年ニハ五萬九千「デシエタイン」ナリシナリ

煙草ノ栽培ニ就テハ露國ハ必スシモ他ノ歐洲諸國ノ背後ニ立ツニアラス然レトモ之カ輸出ハ極メテ少額ナリトス

露國養蠶業ノ中心ハコーカサストトルキスタンナリ此ノ事業ニ用フル「デイムス」ノ全數ハ一百萬ニ達シ一百三十萬ノ繭ヲ産ス此業ハ農民ノ小部分ノ副業トスル所ナリ養蠶業改良發達ノ爲メトルキスタントチフリニスニ試験場ヲ設ケ中外南部露西亞コーカサス同セムストアノ小學校ト農學會ハ人民ノ間ニ養蠶ノ智識ヲ弘ムルコトニ勤勉セリ

猶ホ露國ノ水産業ハ牧畜業ニ次テ最モ重要ナル生業ナリ是レガ重要ナルコトハ漁業ヲ以テ專務トセル人民五十萬ノ上ニ出テ農業ノ傍ヲ漁業ヲ以テ副業トセル者數百萬ノ多キヲ以テ知ルヘシ以前人口ノ稀薄ナル時ニハ魚類ノ繁殖極メテ多ク之ヲ捕フルモ何ノ價モナキ程ニテアリタリ然レトモ森林ヲ伐採シ工場ヲ起シ從テ人口ノ増加ヲ見ルニ至リ魚類モ亦減少シ漁業ハ河ノ上流ニテハ行フヲ得ス之ヲ河口及ヒ海岸ニ於テ行ハサルヲ得サルニ至レリ漁業ノ最モ盛ナルハ歐洲露國ノ南東部ウオルガ及ヒドンノ二河カスピアン及ヒアゾフ海ニアリトス此地方

ニテ八年々捕獲スルモノ三千七百萬ブーヅナリ之ニ次キ北西部ニテハバルチック海ト其ノ近傍ニアル湖水河流ニテ産額二千七萬ブーヅナリデニステルノ下流及ヒ黒海ニテ捕獲スル魚類ハ三百萬ブーヅニテ白海地方ニテ得ルモノ凡ソ一百万ブーヅナリサレバ全歐洲露國ニテ捕獲スルモノ合計六千八百萬ブーヅニ達セリ露國ニ於テ捕獲スル所ノ魚類ノ多分ハ國中ニテ消費スレトモ其内ノ優等ナルモノ及ヒ魚油鹽漬魚卵等ノ海外ニ輸出スルモノ凡ソ六百萬ブーヅアリ重要ナル漁業地ハ比較的都會ノ地ヲ去ルコト遠ク又或ル魚類ハ一年ノ或ル時期ニノミ捕獲シ得ヘキノミナレバ夏期ニ於テハ之ヲ鹽漬ニシ冬期ニ於テハ之ヲ凍ラセサルヲ得ス過去數年間ニハ魚類ノ貯藏法ニ於テ大ナル進歩ヲ見タリ然レトモ漁業ノ性質タル不定ニシテ安固ヲ缺クモノニテ魚類ノ保護ニ對スル法律ノ制定ヲ見ルニ非レハ其進歩ハ期シ難シ現今之ニ關スル法律ナキニアラサレトモ何レモ行ハルヘカラサルモノニテ目下新法律ノ起草中ナリト云ヘリ政府ノ水産局ニ加ヘ水産會ナルモノアリテ月々雜誌ヲ出シ露國水産業ノ改良進歩ヲ期シツ、アリ農民ノ副業トシテ一定ノ性質ヲ帶ヒサレドモ頗ル廣ク行ハル、ハ獵業ナリ之カ

重ニ行ハル、ハシベリヤ及キリギースノ地方ナリ歐羅巴露西亞ニ於テハ此業ハ年々衰頽ニ向フ其ノ理由ハ森林ノ伐採ニヨリ獸類ハ北方及ヒ北東ニ向ヒテ逃ル、ニ因ルナリ他ノ一方即チ東方ニ於テハ獸獵ハ國庫富源ノ一ニシテ多クノ土民ノ重要ナル生業タリ露國全體ニ於テ捕獲サル、毛皮ノ産額ハ一年凡ソ一千万ルーブルニ達スト云フ然レトモ實際ニジニノヴゴロツト及ヒエリビツトノ定期市ノミニテ取扱フ毛皮ハ年々一千万乃至千二百萬ルーブルニ達スレハ其ノ總額ハ更ニ之ヨリ大ナルヘシ外國ニ輸出スル毛皮ハ百五十萬ルーブルニシテ其輸入ハ更ニ之ヨリ多ク四百五十萬ルーブルニ及ベリ

(丙) 穀類ノ産額 吾人ハ前段ニ於テ農業經濟ノ副産物ニ關スル記述ヲナシタレハ是レヨリ穀類ノ産額ヲ舉ケテ此記述ノ結局トナスヘシ其事實如何歐洲露國ノ五十州ニ於ケル平均總額ハ耕作地六十萬デシエタインニテ穀類ノ産額二十四億萬ブーヅナリ即チ「デシエタイン」四十ブーヅノ割合ナルカ之ヲ他ノ諸國ニ比スレハ左ノ如キ割合ナルヲ見ル

英國

百二十ブーヅ

合衆國

八十六ブーツ

獨逸國

七十九ブーツ

奧太利
ホングリ

七十五ブーツ

佛國

七十四ブーツ

伊太利

五十七ブーツ

生産額ニ於テ斯ノ如キ不同ヲ見ルノ理由ハ氣候及ヒ地味ノ然ラシムル所耕作法ノ巧拙肥料ヲ用フルノ多寡或ハ其ノ他ノ理由ニ因ルトスヘシ而シテ露國ニ於ケル生産ノ少キハ耕作法ノ拙劣ナルニ由ルト云フモ謬言ニアラサルヘシ此點ニ就テ吾人若シ歐洲露國ノ各部ヲ比較スル時ハ北西部ヨリ南東部ニ至リ其生産額ノ減少ヲ見地味ノ最モ良好ナル所ニ收穫ノ最モ寡キヲ見ルナリ南部及ヒ南東部ニテ其地味豊饒然モ耕地ヲ休養スル所ニハ其收穫極メテ寡ク之ニ反シテ其地味ノ最モ瘠セタルバルチツク諸州ニテ多作法行ハレ耕作ノ法最モ改良セル所ニハ最モ多クノ收穫ヲ見ルナリ以上ハ數年間ノ平均ニヨリ概算スルモノナルガ露國全體ニ就テモ之ニ異ナル結果ヲ見ルコトナカルヘシ黑壤地一帯ノ大部分殊ニ其地

方ノ平原ニ於テハ豐作ナレトモ時ニ凶作ナルコトアリ然レトモ北西ニ近クニ從ヒ殊ニバルチツク諸州ニアリテハ此ノ如キ不同ヲ見ルコトナシ換言スレハ露國農業ハ最モ豊饒ナル地方ニ於テ最モ危險多シ是レ國民ノ食料ノ供給及ヒ穀類ノ輸出ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナリ故ニ農業ノ技術ノ進歩ヲ圖ルハ刻下ノ急務ニシテ政府ノ力ヲ盡スヘキ所爰ニアリトス第一農業ニ關スル智識ノ普及ヲ圖ラサルヘカラス此一點ニ就テハ今日マテ行ヒタル所少カラサレトモ更ニ行フヘキコト多シトス

第三節 農業教育

専門トシテノ我國農業教育ノ歴史ハ至テ近時ノモノナリ其起原カ女帝カテリン二世ノ代ニアリテ一千七百六十五年ニ聖ペートルスボルグニ經濟協會ヲ見タルカ此會ハ人民ノ間ニ於ケル農業及ヒ經濟ニ必要ナル智識ヲ與フルニアリタリ此例ニ從ヒバルチツク諸州ニテ多クノ農業協會ヲ組織セリ又一千八百十九年ニ組織セラレタルモスコイ農業協會ハ農業ニ關シ諸種ノ進歩ヲ計リタリ殊ニ最近三年間ハ農僕解放以後ニテ是等ノ協會ハ著シク増加シタリ現今其會數一百四十其

支會ハ六十六ニシテ露國ニ於ケル農業教育ノ基礎ヲナスモノナリ一千八百二十二年ニ於テモスコイ農會ハ同市ニ農學校ヲ開キ之ニ附屬シテ模範農場ヲ起シ青年ニ農學及ヒ農業ノ監督法ヲ教授セリ最初ニ起リタル經濟會ハ二ノ農學校ヲ起シ又宮内省ニテハ農夫子弟教授ノ爲メニ聖ペートルスボルグニ同様ノ學校ヲ設ケタリ

其ノ後千八百三十三年ニ於テ此經濟協會ハ其會長海軍大將モルドウキノフノ意見ヲ採用シ農業ノ改良ヲ計ル爲メ委員ヲ組織シタリ此委員ハ農業協會ノ學校ニ補助ヲ與ヘ又南部ニテハ園藝及ヒ葡萄酒ヲ造ル學校ヲ起スコトニ向テ補助ヲナシタリ是等ハ領地省設立ノ時マテノコトニシテ其設立以來ハ政府自ラ其改良ニ手ヲ下スニ至レリ一千八百四十年ニ於テモギレフ州ノゴルキ市ニ農學校ヲ開キ之ニ頗ル完美セル設備ヲナセリ此學校ハ後チ二種ノ學校ニ變セリ一ハゴルキ一ノ高等農學校トナリ後聖ペートルスボルグニ移サレ森林學校ニ變シ一ハ地方農業技師ヲ養成スル中等農業學校トナリタリ第三ノ農業學校ハカルコ府ニ開キタリ模範農場ハ青年ノ農夫ヲ教育シ種々ノ試験ヲ行ヒ併セテ農業法ヲ改良スル

爲メ開キタルモノナリ

農僕解放以前ニ於テハ不幸ニモ農學校殊ニ其學課低キモノハ比較的ニ利益スル所少ク其生徒モ家ニ歸ルヤ再ヒ舊來ノ農業法ヲ襲用セリ是等ノ學校ノ失敗ハ主トシテ農民ニ普通教育ノ缺乏セルト農民自己ノ發意ニヨリテ之ヲ學ヒタルニアラス政府ノ命令若シクハ地主ノ命令ニヨリ止ムヲ得ス之ヲ學ヒタルニヨルナリ故ニ農僕ノ解放ハ農業教育ニ一起原ヲ開クニ至レリ全體ニ於テハ農學校ハ以前ト同シク三段ニ分タレタリ高等學校ハ聖ペートルスボルグニ於ケル森林學校ヲ第一トシ其生徒三百五十二人ナリ此學校資金ハ裕カナレトモ其教育ハ重ニ學校ノミニテ實際ノ教育ハ八十ウエルスノ隔リアル政府ノ農場ニ於テセラレサルヲ得ス此種ノ他ノ學校ハモスコイ農業學校ニシテ依然ベツロフスキ「學院」ト稱シ一千八百六十五年ニ開校シタルモノナリ

「ベツロフスキ」學院ノ外六十年代ノ終ニ於テポーランドニテ新アレキサンドル「學校」ナルモノ設立セラレタリリガノ工業大學ニモ亦農業ニ關スル一課ヲ設ケラレタリ

中等學校ニ關シテハ各異ナリタル時代ニ設立セラレタルモノニテ全數現今九箇アリ政府ハ普通智識ノ缺乏セルコトヲ承認シ農民ノ爲メ專門ノ農學ノミナラス普通教育ヲ與フル學校ヲ設立セリ此制度ノ結果中等學校ハ單ニ農業ノ技師ヲ出スノミナラス初等農業學校ノ教師ヲモ出セリ初等農業學校ハ中等學校ガ漸ク發達ヲ遂ケタル後ニテ設立セラレタルモノニテ牛乳製造及ヒ園藝術ノ學校ノ外五箇ノ初等學校ノ設立アルヲ見ル何レモ農業教育ノ初歩ヲ授クルモノナリサレドゴレツツニアル所ノ初等學校ハ農業器械ノ製造修繕ノ爲メ職工ヲ養成スルコトヲナス

是等ノ學校ノ維持ハ一人ノ多クノ寄附アルニ關ハラス甚タ出費多ク又之ヨリ出ル生徒ハ需要ヲ滿スニ足ラサルナリ七十年代頃ニ領地省ニテハ初等農業學校ハ政府ニテ之ヲ設立維持スルヨリモ私立ニ爲ス方費用少クシテ其効果モ宜シカルヘシト定メ一千八百八十三年ニ於テ農業學校令ヲ發シ地方自治體會社及ヒ一人ニ其費用若クハ政府ノ補助ヲ以テ此ノ如キ學校ヲ開クコトヲ許可セリ而シテ政府ハ之ヲ補助スルニ五百デシエタインノ地所及ヒ補助金ヲ以テスルコトニ

定メタリ是等ノ學校ノ目的ハ農民ノ間ニ農業ノ原則ヲ教ヘ之ニ農業ト關係アル他ノ業務ヲ實際的ニ教授スルニアリトス學課ノ編成ニ關シテハ普通若シクハ專門ノ學課ヲ授ケ專門ハ農業ノ或ル一部ニ關シタルモノノミナリ此外森林ノ初等學校(生徒百七十三人)アルガ其目的ハ森林ノ内ニテ事業ヲナス間ニ其智識ヲ與フルニアリテ初等ノ森林技師ヲ養成スルニアリトス且數年以來ハ業ノノ原理ヲ師範學校高等學校及ヒ他ノ普通學校ニ教授スルコトヲ始メタリ園藝學及ヒ葡萄酒製造ニ關シテハ以前ヨリ是等ノ學科ヲ教フル獨立ノ學校存在シタリ一千八百十三年ニ於テ新露西亞ノ前ノ總督デリチエリユー公ハヤルタ近傍ニキツスキニ植物園ヲ開キ爰ニクリミヤ地方ニ産スル南部諸國ノ植物ヲ栽培シテ地方化スルコトヲ力メタリ其後帝國植物園ハ聖ペートルスボルクニ於テ以前ペートル第一世ノ藥草園ノアリタル所ニ開カレタリ此植物園ノ目的ハ稍前條ノモノト異ニシテ重ニ外生植物ノ栽培ト諸種ノ植物ノ標本ヲ作ルニアルナリ領地省ニテ此植物園ニ大ナル力ヲ盡シタルカ爲メ現今此園ニアル所ノ植物ノ種類七萬五千ニシテ猶ホ二萬五千ノ變種アリ此植物園ハ世界ニ於テ最モ豐富ト數

ヘラル、モノ、一ニテ外國ノ植物學者モ大著作ヲ爲スニ多クハ先ツ此植物園ニ於テ穿鑿ヲ遂クルコトヲナス此植物園ノ博物室ニハ現今並ニ古代ノ植物ノ標本多ク其數四萬種ニシテ其圖書一萬二千種(二萬五千冊)アリ故ニ我國ノ植物園ハ露國ノ園藝學ヲ學ブニ於テ最モ重要ナル場所トナスヘシ

園藝及葡萄酒製造ニ關シテハ一ノ高等學校アルヲ見ス然レトモ實際ノ園藝家葡萄酒製造家ヲ養成スルハ多クノ學校アルナリヤルタノニキツスキ植物園ニテハ稍高等ナル學科ノ備アリテ中等教育ヲ受ケタル人ノ爲メニ高等ノ學科ヲ授ケルコトアリ又近頃ニ至リテ葡萄酒栽培ノ中等學校ヲキシネフニ於テ開キタリ

一千八百九十四年ノ終ニ於ケル(森林學校ノ外)農學校ノ數左ノ如シ

	校數	生徒數
高等學校	四	四百十二人
中等學校	九	一千五百四十三人
初等學校	七十三	二千七百九十四人
農業ノ學科ヲ備ヘアル普通學校	二十一	一千二百四十七人

合計

百〇七

五千九百九十六人

是等ノ學校維持ノ爲メ政府ノ支出スル所九十七萬四千ルイブルス地方自體十六萬ルイブルス一個人若シクハ會社ニテ寄附スルモノ二十九萬一千ルイブルスナリ

以上ノ學校ガ農業教育ニ就テ露國民ノ需要ヲ充タスニ足ラサルヤ明ナリベルゼムニ於テハ一千八百八十三年ニ於テ農業ニ付キ人民ニ許可セシ公開演說ノ數一千三百四十三回ニシテ是等ハ高等學校ノ教授若シクハ生徒ガ二百九十六ヶ處ニ於テ合計八萬五千ノ聽衆ニ演說セルモノナリ

然レトモ一千八百九十年以來ハ政府及ヒ地方自治體ハ多クノ公立學校ニ於テ農學ノ一科ヲ設クルニ至レリ一千八百九十三年及ヒ一千八百九十四年ニハ其學級六十餘アリテ之ニ出席スル生徒四千四十四人アリタリ

第四節 農業經濟ノ改良

人民間ニ農業上ノ智識ヲ與フルノ方法ハ以上掲ケタル如クナルガ第二ノ方法ハ農業經濟ノ各部ニ於ケル改良ヲ計ルコトナリ此點ニ就テハ政府モ公共ノ團體モ

二種ノ方法ニテ之ヲ補助スルヲ得ヘシ此ノ如キ改良ヲ自ラ企ル處ノ農業者ニ補助ヲ與フルカ又ハ政府自ラ改良ノ事業ヲ手ニシ一箇人ニテナシ能ハサル所ノ事業ヲナスニアリトス第一ノ方法ハ已ニペートル大帝ノ頃ヨリ實行シ來リタルモノナリ

一千八百三十八年ニ領地省ノ設立アリタル以來農業獎勵ト協力ニ據リ改良ヲナスヘキモノニテ壓制ノ法ニ據ルヘカラサルコトハ政府部内一般ノ確信トナリ夫レヨリ以來ハ農業ニ關スル露國ノ各種ノ政畧ニ於テ之ヲ以テ其方針トナスニ至レリ南東ステツプス高原一帶ノ地方ニ旱魃ノ爲メ收穫及農業經濟ニ少カラサルノ妨害ヲ與フルコトハ吾人カ既ニ前段ニテ述ヘタル所ナリ政府ハ數年以前ヨリ此災害ヲ除クノ計畫ヲナセリ然レトモ千八百七十年ノ始メマテハ灌溉ノ方法ニ關スル組織的ノ事業ヲ企ルコトナク時々試驗ノ結果遂ニ一大計畫ヲ立ツルノ必要ヲ見ルニ至レリ依リテ一千八百八十年ニ公共救助ノ事業トシテ凶作ヲ防カン爲メ灌溉ノ計畫ヲ立テタリ此事業ハ領地省ノ大臣オストロフスキーノ大ナル熱心ヲ以テ從事シタル者ニテ之ト同時ニトランスカスピヤン地方ニテハ帝室附屬

地ニ於テ宮内大臣オロントソフダスコフ伯ハ同様ノ事業ヲ起シタリ此事業ノ結果ハ最モ良好ナルモノニテ所々ニ大ナル堤ヲ造リ之ヲ以テ水溜所トナシタレハ「ステツプス」ニ於テハ新シキ村落起リ農民ノ働カモ大ニ其効力ヲ顯シ直ニ地價ニ騰貴ヲ來セリ次ニ一千八百九十二年ニ於テ更ニ大ナル灌溉ノ事業ヲ起シ現今ハ其工事中ニテ皇帝ノ命令ニヨリ此事業ヲ更ニシペリヤニモ起スコトトナレリ他ノ一方即チ北部及ヒ北西部諸州ニテハ濕氣多キカ爲メ農業ニ害毒ヲ受ケ且ツ多クノ沼澤ニテ其發達ヲ妨害セラレタリ

沼澤ハ排水ハ以前ヨリ實行セシ所ナリ皇帝ニコラス一世ノ世ニ當リテ聖ペートルスホルク州ニ於テハ此ノ事業ヲ監督スルニ委員ヲ設ケシザレウエツス皇太子後アレキサンダー二世トナレル人ヲ以テ其委員長トナシタリ此皇帝ノ世ニ於テ領地省大臣ワルエツ伯ノ配下ニ於テ沼澤ノ排水ヲ實行セリ後同省ノ大臣オストロフスキー及ヒ陸軍中將ジリンスキーノ監督ノ下ニアリテアレキサンダー三世ノ代ニ至ルマテ之ヲ實行セリ一千八百七十三年ニハ二箇ノ遠征隊ヲ組織シ一ハ北方一ハ西方ニ向テ之ヲ派遣セリ西方ノ遠征隊ハボレシヤニ至リタルガ茲ニ

ハ六百萬デシエタインノ沼澤アリテ唯草ノミ生スレトモ浮草ノ多キカ爲メ何ノ用ヲモナサ、ルナリボレシヤノ地味此ノ如キモノナレバ農業ノ發達ヲ見ルハ困難ニシテ牧畜業ハ其重ナル生業ナリシモ遂ニ漸次衰頽ニ歸シ穀類ハ國中ノ稍高キ部分ニ産スルヲ得タリ然レトモ現今ニ於テハ四千ウエルストノ溝ヲ作り二百六十七萬デシエタインノ面積ノ地ヲ排水シタルカ爲メ元ト無益ノ沼澤ナリシ處ヨリ三十三萬五千デシエタインノ牧場ト十一萬デシエタインノ耕作地ト四十九萬デシエタインノ森林及草生地ト六十萬ノ森林地トヲ得一百十三萬五千デシエタインノ地ハ目下改良ノ途ニ就キツ、アルナリ之カ爲メ此地方ノ物産ヲ増加シタルハ凡ソ二十倍ノ餘ナリ

第五節 穀類貿易

農業經濟ノ上ニ一ノ利益ヲ來シ爲メニ其改良ヲ進ムル所ノ一要素アリ穀類ノ相場是ナリ

穀類ノ相場ニ關シ露國ノ位置ハ最近數年間ニ多クノ變化ヲ見タリ是レハ以來ノ輸出貿易ヲ現今ニ比較スルヨリ見ルヘキモノニテ十九世紀ノ初期十年代ニハ露

國穀類ノ年々ノ輸出額ハ一千五百萬ブーツニ過キサリシカ一千八百四十四年ト一千八百五十三年ノ間ニ是レガ三倍ノ増加アリテ四千六百萬ブーツニ達セリ其ノ後一千八百六十六年ヨリ一千八百七十年ニハ一億二千八百萬ブーツニ達シ又一千八百八十七年及ヒ一千八百九十一年即チ四年ノ間ニ四億三千八百萬ブーツ即チ三倍半増加ヲ見タリ此ノ如ク我國穀類輸出ノ増加アルニ拘ハラス歐洲ノ市場穀類供給ニ關スル露國ノ比較的位置ハ却テ惡シクナリタリ八十年代ノ終ニハ露國ハ英國及ヒ他ノ歐洲諸國ノ小麥ノ重ナル輸出者ナリ例ヘハ六十年代ニ於テ露國ヨリ得ル所ノ穀類ハ一億二千萬ブーツニテ合衆國ヨリ來ルモノハ七千五百萬ブーツ、奧國ヨリ來ルモノハ三千七百萬ブーツナリ合衆國ト奧國トハ吾人ノ唯一ノ競爭者ニテアリシカ七十年代ニ於テ合衆國ハ鐵道ノ進歩ト人口ノ繁殖トニヨリ小麥ノ產出高ヲ増加スル極メテ大ニシテ一千八百八十一年—八十七年ニハ平均三億一千三百萬ブーツヲ輸出シタリ然ルニ露國ハ同時期ノ間ニ年々三億萬ブーツヲ輸出スルニ過キス是レガ爲メ露國ハ合衆國ニ先鞭ヲ着ケラレタリトナスヘシ然レトモ我國ノ輸出貿易ハ是レガ大ナル需要アル時ニモ南部オーストラ

リヤ、ルーマニア、カナダ及ヒアルゼンタイン共和國等ノ新シキ競争者出ルマテハ大ナル妨害ヲ受ケザリキ斯テ例ヘバ一千八百九十四年乃至五年ノ小麥ノ輸出高ハ露國ヨリスルモノ九千五百萬ブツセルスニテ吾人ト競争スル他ノ國ヨリ三億三千萬ブツセルス即チ大凡ソ三倍半ノ輸出ヲ爲ス豫算ナリ此ノ如ク歐洲諸國ヘ輸入シ來ル小麥ノ總額ハ其需要ニ過キタルカ爲メ其相場ニ下落ヲ來タセリ

總ベテ此ノ如キ事情ハ露國農業經濟ヲシテ直接ニ萬國穀類貿易ノ如何ニヨリテ其損益ヲナサシムルモノナリ六十年代ニ於テハ我國收穫ノ多少及性質ハ歐洲ニ於ケル小麥ノ相場ヲ定メタルモノナレトモ現今ニ於テハ其相場ハ外國市場ノ相場ニヨリ制セラル、ニ至レリ開港場ニ於ケル相場ハ外國相場ノ高下ニ隨フモノニテ内地ニ於ケル相場モ是レカ爲メ高下ヲナスヲ免レス

勿論是レヲ通則トスレトモ例外ナキニアラス或地ノ市場ニ於テハ其相場外國ノ相場ニ動カサル、コト少キ處アリ此ノ如キ處ハ鐵道及ヒ水運ノ便利極メテ少キ處ニテ唯國內ノ需要ヲ滿ス處タルニ過キサルナリ

如何ニモ一千八百九十一年ニ於ケル小麥相場ノ下落殊ニ最近二年間ノ下落ハ我

國地方經濟ノ上ニ最モ憂フヘキ影響ヲ及ボシタリ此外供給需要ノ關係ニ加ヘテ其相場ノ移動ヲ來ス大原因アルナリ即チ紙幣相場ノ移動ガ是レニ向テ如何ナル關係ヲ及ボセシカハ左ノ表ニ就テ見ルヘシ

年 代	小麥一ブツノ相場		紙幣相場移動ノ割合		金貨ニルノ相場
	最高	最低	最高	最低	
一八七一—七五	八八	七四	一〇〇%	一〇〇%	一一九
一八七六—八〇	一〇二	六八	一一六%	九二%	一四九
一八八一—八五	一〇二	六五	一一六%	八八%	一五八
一八八六—九一	八一	五一	九二%	七〇%	一六〇

此表ニ據リテ之ヲ見レハ實際ノ相場ハ一千八百七十年以來斷ヘス下落シツ、アルヲ見ルヘジ一千八百七十六年—八十五年迄ハ相場ノ騰貴シタル如ク見ユレトモ此ハ紙幣ノ下落ニ據ルモノニテ小麥ノ相場ハ依然下落セルナリ紙幣ノ爲替相場ヲ確實ニスル一件ニ就テハ吾人之ヲ財政ノ部ニ説明セリ吾人ハ是レヨリ露國ノ穀類貿易ト其改良ノ方法ニ就テ數言ヲ加フヘシ

我が國穀類ノ輸出額ハ時ニ多少ノ移動ナキニアラサレトモ年々増加シツ、アルハ既ニ上文ニ掲ケタルカ如シ若シ一千八百九十一年即チ饑饉ノ爲メニ小麥ノ輸出ヲ禁シタル年ヲ除キ去ルトキハ時ニハ是レガ普通ノ三分ノ一タル事アリ又時ニハ百分ノ七十二及ハサルコトアルヲ見ル然レトモ之ヲ以テ收穫及ヒ内地ニテ消費スル總額ニ比スル時ハ輸出ニ於ケル移動ハ極メテ僅少ナルヲ知ラン或年ニハ殆ント輸出スヘキ穀類ナク露國ニ産シタル小麥ハ全國民ノ需要ヲ滿スニ足ラサル程ナレトモ前年ト同額ノ輸出ヲ見タルコトアリ是レ前年ヨリ貯ヘ來リタル穀類アルニ因リテ然ルモノニテ輸出ヲ繼續スルヲ得ルハ前年ヨリ年々引續キテ貯ヘ來リタルニ因ルナリ加之ナラス一千八百八十年及ヒ一千八百九十一年ノ如キ凶作ノ年ニハ國內ニテ消費スル穀高ハ著シク減少スルヲ見ル一千八百八十九年ヨリ一千八百九十三年ニ至ルマテ五年間ノ平均ニヨリ穀類輸出ノ割合ヲ見レハ小麥ハ第一ニシテ全輸出額百分ノ四十三次ハ大麥ニテ百分ノ十八之ニ繼グハ裸麥百分ノ十五又燕麥ハ百分ノ十三蜀黍ハ百分ノ六ナリ

是等ノ穀類ノ産額ト輸出額トヲ比較スル時ハ小麥ト大麥ハ總産額ノ三分ノ一燕

麥ハ七分ノ一ニテ裸麥ハ十二分ノ一アルヲ知ル裸麥ノ輸出少キ理由ハ是レカ地方住民ノ重ナル食料タルニ因ル而シテ其輸出ハ重ニ獨國ト和蘭國ニ出スモノニテ獨國ハ全輸出ノ百分ノ六十和蘭ハ其百分ノ二十八ヲ輸入スルナリ之ニ反シテ小麥ハ殊ニ輸出ノ爲ニ産スルモノニテ其重ナル輸出先ハ英國ニシテ其百分ノ三十五ヲ輸入シ同國ハ又之ニ加フルニ燕麥ノ全輸出額ノ百分ノ六十ト大麥ノ百分ノ四十ヲ輸入スルナリ故ニ露國穀類ノ最モ重要ナル市場ハ裸麥ヲ除ク時ハ凡テ英國ニアリトス之ト同時ニ他ノ西歐諸國ニモ多少ノ供給ヲナサ、ルハナキガ其國ニ於テ全輸入ニ對スル露國穀類輸入ノ割合ハ左ノ表ニ據リテ知ルヘシ

國名	小麥	裸麥	燕麥	大麥
英國	三二%	—	七〇%	五〇%
佛國	二八%	—	二九%	一六%
獨國	五六%	八六%	九三%	五〇%
和蘭	四一%	七八%	八一%	五四%

露國ノ穀類ハ重ニ穀類ノ儘輸出スレドモ合衆國ハ小麥ノ半以上ハ粉トシテ輸出

ス露國ノ粉トシテ輸出スルモノハ其ノ百分ノ二ニ過キス然ル所以ノモノハ露國ニテハ水車ノ不足セルカ故ニ在リ我國ニテハ自國ノ需要ヲ滿スニ足ルハ勿論其水車ノ多クハ最モ改良シタル種類ナリトス然レトモ英國ベルゼム及ヒ和蘭ニテハ小麦及ヒ小麦粉ノ輸入ニハ輸入税ナケレハ大ニ輸入ヲ獎勵スルモ多分ニ要スルモノハ精製品ニアラザルナリ如何トナレハ麵包ハ第二等ノ粉ヲ以テ製スルコト多ケレバナリ米國ニ於テハ其國民ガ小麦粉ノ上等品ヲ要スルガ爲メ第二等ノ粉ヲ輸出スルコト難キニアラス之ニ反シテ露國ニテハ内國ニ要スルモノハ劣等ノ品ナレハ此品ヲ多ク外國ニ賣出スヲ得サルノ不利アルナリ此一點ハ露國ガ合衆國ト競争ヲナス上ニ於テ最モ不利ノ位置ニアルモノハナリ

露國穀類貿易ノ重ナル通路ハヴオルガ河ト及ヒ其支流ナル露國ニ未タ一線ノ鐵道ナキ時ヨリ穀類貿易ハ此下流ニ從フテ繁昌ヲ極メタルカ是レ其沿岸地方ノ豐饒ナルト水運ノ利便アルトニヨルナリ然レトモ過去數年間ハヴオルガ河ニ沿ヒタル港ニ穀類ノ蝟集セルモノ漸次減少セルヲ見ルサマラサヲトフオレンゴルグカザン及ヒオウフハノ諸州ニテ年々引續キタル凶作ト他ノ一方ニテ鐵道運輸ノ

發達アルニ由ルナリ即チ一千八百八十八年ニハ其ノ港ニ蝟集シタル穀類ハ九千五百萬ブーヅニ達シタレトモ一千八百九十三年ニハ七千六百萬ブーヅニ減少セリ此河港ニ此ノ如キ穀類ノ蝟集スルハ重ニ冬期ニアリテ其道路宜シク農民ノ閑暇多キ時ニアルナリ冬期ニ買ヒ集メタル穀類ハ春期ニ河水解ケ水運ノ開クル迄ハ倉庫ニ貯ヘ置キ水運開クルヤ否ヤ之ヲ水上ニテ外ニ運搬スルナリ夏期ニ買ヒタル穀類ノ運賃ハ頗ル不廉ナルノミナラス河上ノ氷結ヲ見ル前ニ聖ペートルスホルグマデ運搬シ得ルモノハ稀ナリウオルガ河ノ上流トナリテ穀類貿易ノ中心點タルハリビンスクニテ穀類ハ冬期ノ間爰ニ蝟集ス運搬ノ遲鈍ナルヨリ穀類ヲ賣却クニハ一ヶ年ヲ要スルカ故ニ其港ニテ賣却スル價值ヨリ一ヶ年間ノ金利ト運搬費倉敷料其他ヲ引キ去ルトキハ農民ノ利スル所甚タ僅少ナリ

南西、南方小露西亞ノ諸州及ヒドント北コーカサスノ北方ハ穀類貿易ニ於テ更ニ重要ナル處ナリ此地方ノ貿易ハ凡ヘテ外國輸出ニアリテデニスラル、ボーグ、デニベル及ヒドンノ諸河ニ沿フテ黒海及ヒアゾフ海ノ港ニ凡ソ三億萬ブーヅノ穀類ヲ運搬スルニアルナリ河流ノ乏シキ處ニハ鐵道又ハ荷車ヲ以テ運搬ス此地方ノ

穀類貿易ハ不幸ニモ多クノ仲人、口入人、仲買人ニ多分ノ利ヲ占メラル、ニヨリ害ヲ受ルコト少シトセス

穀類貿易ニ關シテハ他ノ地方ハ重要ナラスアルチエンセルニ灌グ所ノ北デユウキナ地方ニ於テハ凡ソ五百萬ブーヅノ穀類ヲ産スルガ之レハ冬期ニデユウキナ河流マテ陸上ヲ運搬シ之チアルチエンセルノ河上ニテ運搬ス其内半ハ内地ニテ消費シ半ハ外國ニ輸出ス此地方ノ貿易ハ道路ノ惡シキガ爲メ害ヲ受クルコト少ナカラス現今建築中ナルベルム、コットラス間ノ鐵道ノ竣工ヲ見ルニ至ラハ利益スル處少カラサルヘシ六箇ノ黑壤州及ヒ六箇ノ工業州ヲ含有スル所ノ中央地方ニテハ穀類ハ鐵道トオカ、オウバ、ムスタノ諸川ニテ南ヨリ北重ニモスコーニ運ビ之レヨリバルチツク海ノ港ニ輸出スバルチツク、白露、リヅアニア、ポーランドノ諸州ニテハ孰レモバルチツク海ノ港ニ向ケ穀類ヲ輸送ス其重ナル道路ハデニベルウキスチコラ、ニーメン西部デユウキナ河トリガ及ヒオルロフ、リボー及ヒロムニ
1、キーフ及ヒブレス等ノ諸鐵道線路ナリ穀類ノ内地ノ貿易線ハ此ノ如クナルガ其輸出ハ地方ニ因リ之チ四部ニ分ツテ得ベシ白海バルチツク海陸上輸出ト黑海

及ヒアゾフ海ノ輸出是レナリ

白海輸出ニ於テハ其重ナル港ハアルチエンセルナリ聖ペートルスボルグ、レバル、リガ及ヒポーハバルチツク海ノ部ニ合マル陸上輸出ハ獨逸オーストリアハンガリー及ヒルーマニヤノ國境ニ於テ行フモノニテ其最モ重ナル市場ハウエルヂボロウオ、グラエウオ及ヒラワナリ黑海及ヒアゾフ海ノ重ナル輸出港ハオデツサ、ニコライエフ、セバストポール、ノウオルシスク、ロストフ、ダガンログ、マリオプー、ル及ヒベルデアンスクナリ

是等ノ輸出口ノ比較的重要ハ一ナラス最近二十年間ニ於テ最モ重要ナルハオデツサニテ之ニ次クハ聖ペートルスボルグナリシモ最近數年間ニ於テロストフハ聖ペートルスボルグノ右ニ出デ之ニ次クモノハニコライエフトリバノスミエクニテ聖ペートルスボルグハ第六位ニ下リタリ全體ニバルチツク海沿岸ノ穀類輸出ハ近年著シク減少セリ而シテ此ノ地方ノ重ナル輸出品ハ燕麥ニシテ獨逸國境ト南方ノ輸出港ニテハ小麥ヲ以テ第一トス裸麥ハ一時南方トバルチツク地方ト殆ント同額ニ在リタルモ今日ニ於テハ漸次南方ノ増加ヲ見ル大麥ニ於ケルモ亦

之ト同シク南方ニ多クシテ其輸出ハ年々増加シツ、アルナリ
 右ノ四部ノ輸出口穀類ノ比較的輸出額ニ右ノ如キ異動ヲ生シタルハ重ニ鐵道ノ
 布設ニヨルナリ例ヘハ聖ペートルスボルクノ如キ鐵道ノ布設以來ハ著シク衰頽
 シ之レニ反シテリボ、ノヴオロスクノ如キハ鐵道ノ開通以來著シキ進歩ヲナシタ
 リ
 鐵道ノ運費ニ關シテハ從來之カ鐵道會社ノ手ニアリタル時ニハ穀類ハ屢他ノ運
 路ヲ取リタルコトアレトモ今日ニ於テハ凡テノ鐵道運費ガ政府ノ直接ナル管理
 ノ下ニアルガ故從來鐵道會社ニテバルチツクノ諸港ニ輸送スルモノヨリ黑海ノ
 港ニ輸送スルモノニ比較的の多クノ運費ヲ課シタルカ如キコトヲ廢止シタレハ兩
 地方ノ貿易ニ變化ヲ來シタル一ノ原因トナスヘシ
 斯ル變化ヲ來スヘキ他ノ一原因ハ海上ノ運費ノ相違ニ因ルモノナリ例之ハ英國
 ニ輸出スル海上ノ運費ヲ算スルニ「ブロード」ニ就キアゾフ海ノ港ヨリ運送スル者
 ハ黑海ノ港ヨリ運送スルヨリ百分ノ三十高クバルチツク海ノ港ヨリスル者ヨリ
 百分ノ五十高シ此ノ如ク海上運費ノ最モ廉ナルハバルチツクノ諸港ナレトモ此利

益ハ此港カ穀類ノ生産地ヨリ更ニ遠隔セルヲ以テ除去セラル、ナリ他ノ費用ニ
 於テハ其詳細ヲ知ル極メテ難シ出港税ナルモノハ其一ナレトモ之ハ何レモ大同
 小異ナリ穀類ヲ鐵道ニ積ムニハ其生産者ハ鐵道ニ至ルマテノ運費ヲ拂ハサルヲ
 得ス之ヲ生産地ニテ賣捌クトキハ買人ニ此運費ヲモ合セテ拂ハザルヲ得サルナ
 リ鐵道ノ布設猶普カラス而シテ道路ノ便極メテ惡キガ爲メ穀類ヲ停車場ニ運送
 スルハ多クノ費用ヲ要ス然レトモ此運費ノ高價ナル原因ハ遂ニ之ヲ救助スヘキ
 望ナキニアラスサレド仲買人ノ爲メニ占メラル、利益更ニ多額ニシテ是等ノ仲
 買人ハ多分ノ利益ヲ貪ルノミナラス不正ノ所爲ヲナシテ其貿易ニ大ナル害毒ヲ
 流スコトアリ是等ノ仲買人殊ニ南部ノ諸港ニアル人口ハ屢其穀類ニ種々ノ芥塵
 ヲトキ爲ス斯ル事アルカ爲メバルチツク海ノ港ヨリ輸出スル穀類ハ南部諸港ヨ
 リ出スモノ「ブ」ニ付十「コベクス」程高ク賣ルヲ得ルナリ
 然レトモ我國ノ農業者ハ仲買人ナシニハ立チ行クヲ得ス資金ヲ有スル人ニアラ
 サレハ自ラ輸出ヲ企ツルコトモ又ハ其相場ノ宜シキ時ヲ待ツコトヲモナスヲ得

サルナリ故ニ農業者ハ之カ爲メ損失ヲ受クル大ナルヲ思フヘシ鐵道ノ布設ト共ニ露國穀類貿易ノ状態ヲ根本的ヨリ變シ其中心點ヲ内地ノ市場ヨリ開港場ニ移轉シタレハ仲買人ノ事業モ大ニ増加シタルナリ斯ル事情ナルカ故ニ仲買人ノ事業ヲ正直ナル人ニテ取去ルノ企テナスモノモナキニアラス此ノ事業ニ第一ニ着手シタルハ南西鐵道ノ理事舉リテ之カ爲メオデツサニ一ノ商社ヲ開キ僅カノ手數料ヲ以テ其穀類ノ賣捌ヲナシ又其穀類ヲ抵當トナシテ貸金ヲモナスナリ一千八百八十八年ニ於テ政府ハ國立銀行ニテ穀物ノ抵當ニ對シ貸出金ヲナスコトニ就テ一ノ條例ト定メタリ此條例ニヨレハ鐵道會社ノ手ヲ以テ穀類商業ノ中心地ニ倉庫ヲ造リ之ニ貯ヘアル穀類ニ對シ貸金ヲナシ又ハ其穀類ヲ其儘内地若クハ海外ニ於テ賣リ捌クヲ得ルコトトナシタリ此ノ如キ組織アリタルカ爲メ穀類ノ持主ヲシテ其倉ニ積ミ置キ最モ宜シキ機會ヲ見計ヒテ之ヲ賣捌キ又之ヲ賣捌クニ仲買人ノ手ヲ經ス直ニ拂フコトヲ得セシム鐵道ハ此ノ如クニシテ中央ノ市場ト開港場ノ間ニ聯結ヲナスヲ得ルナリ

此ノ如キ方法ニ據ルトキハ穀類ノ天然ノ貯蓄ヲ鐵道及ヒ運河ノ道程ニ沿フテ常

ニ分配シ人民ノ食物ニ一ノ保證ヲ與フルヲ得ヘシ

不幸ニモ此ノ事タル未タ單ニ未來ノ一夢タルニ過キサルナリ現今ニ於テ吾人ハ唯米國ニ於テ見ルカ如キ穀類ノ貯藏所カ強制的ノ分類仕方上ニ關スル監督ヲ爲スモノハニコライエフ、リポーノ如キ二三ノ開港場ナルニ過キス此ノ如キコトハ穀類貿易ニ於ケル種々ノ訴訟不正手段ヲ防禦スル唯一ノ方法タルナリ

此事ニ於テハリピンスタ、聖ペートルスボルグノ陸上場タルカラスニコフ及ヒモスコーニ於テ穀類取引所ノ設立アルニヨリ既ニ其例ヲ開キタルモノナリ而シテ此事タル輸出貿易ニ於ケルヨリモ内地貿易ニ於テ更ニ必要アルコトナリ

第三章 工業及商業

露國工業界ニ於テ政府ノ施行シタル政策ヲ記述スルニ就テハ先ツ此書ノ區域モ目的モ露國ニ於テ無數ノ工業ノ歴史的發展及ヒ詳細ナル現今ノ形勢ヲ詳述スルノ餘地ヲ有セサルコトヲ明言シ置カザルヘカラズ露國工業ノ詳細ノ記述ヲ爲スハ大部ノ書籍ニテモ爲シ得ベカラザル所ナリ故ニ讀者ハ此書ニテハ露國工業ノ

サルナリ故ニ農業者ハ之ヲ爲メ損失ヲ受ケル大ナルヲ思フヘシ鐵道ノ布設ト共ニ露國穀類貿易ノ状態ヲ根本的ヨリ變シ其中心點ヲ内地ノ市場ヨリ開港場ニ移轉シタレハ仲買人ノ事業モ大ニ増加シタルナリ斯ル事情ナルカ故ニ仲買人ノ事業ヲ正直ナル人ニテ取去ルノ企テナスモノモナギニアラス此ノ事業ニ第一ニ着手シタルハ南西鐵道ノ理事舉リテ之カ爲メオデツサニ一ノ商社ヲ開キ僅カノ手數料ヲ以テ其穀類ノ賣捌ヲナシ又其穀類ヲ抵當トナシテ貸金ヲモナスナリ一千八百八十八年ニ於テ政府ハ國立銀行ニテ穀物ノ抵當ニ對シ貸出金ヲナスコトニ就テ一ノ條例ト定メタリ此條例ニヨレハ鐵道會社ノ手ヲ以テ穀類商業ノ中心地ニ倉庫ヲ造リ之ニ貯ヘアル穀類ニ對シ貸金ヲナシ又ハ其穀類ヲ其儘内地若クハ海外ニ於テ賣リ捌クヲ得ルコトトナシタリ此ノ如キ組織アリタルカ爲メ穀類ノ持主ヲシテ其倉ニ積ミ置キ最モ宜シキ機會ヲ見計ヒテ之ヲ賣捌キ又之ヲ賣捌クニ仲買人ノ手ヲ經ス直ニ拂フコトヲ得セシム鐵道ハ此ノ如クニシテ中央ノ市場ト開港場ノ間ニ聯結ヲナスヲ得ルナリ

此ノ如キ方法ニ據ルトキハ穀類ノ天然ノ貯蓄ヲ鐵道及ヒ運河ノ道程ニ沿フテ常

ニ分配シ人民ノ食物ニ一ノ保證ヲ與フルヲ得ヘシ

不幸ニモ此ノ事タル未タ單ニ未來ノ一夢タルニ過キサルナリ現今ニ於テ吾人ハ唯米國ニ於テ見ルカ如キ穀類ノ貯藏所カ強制的ノ分類仕方上ニ關スル監督ヲ爲スモノハニコライエフ、リポーノ如キ二三ノ開港場ナルニ過キス此ノ如キコトハ穀類貿易ニ於ケル種々ノ訴訟不正手段ヲ防禦スル唯一ノ方法タルナリ

此事ニ於テハリピンスク、聖ペートルスボルグノ陸上場タルカラスニコフ及ヒモスコーニ於テ穀類取引所ノ設立アルニヨリ既ニ其例ヲ開キタルモノナリ而シテ此事タル輸出貿易ニ於ケルヨリモ内地貿易ニ於テ更ニ必要アルコトナリ

第三章 工業及商業

露國工業界ニ於テ政府ノ施行シタル政策ヲ記述スルニ就テハ先ツ此書ノ區域モ目的モ露國ニ於テ無數ノ工業ノ歴史的發達及ヒ詳細ナル現今ノ形勢ヲ詳述スルノ餘地ヲ有セサルコトヲ明言シ置カザルヘカヲズ露國工業ノ詳細ノ記述ヲ爲スハ大部ノ書籍ニテモ爲シ得ベカラザル所ナリ故ニ讀者ハ此書ニテハ露國工業ノ

大體及ヒ是レカ一國經濟ニ及ホス大勢ノミヲ論述スルモノナルヲ知ルヘシ

第一節 村落工業

露國工業ノ西歐諸國ノ工業ニ異ナル要點ハ露國ニテハ之レガ村落ノ經濟ト最も親密ナル關係ヲ有スルコトナリ是レ蓋シ露人ハ單ニ五穀材木畜類等ノ原料ノミヲ以テ製造スルノ工業ヲ專ラト爲スノ謂ニ非ルナリ露國ノ工業ハ最も多クノ場合ニ於テ農業ト共ニ村落ニ存シ商業モ亦市町ヨリ寧ロ村落ニ於テ多ク發達セラルナリ

古代ノ露國ニ於テハ市町ハ工業ニ對シ比較的顯要ノ位置ニ立チタリ然レドモ已ニモスコイ時代ニテハ政府ノ權力ノ増加ト市町ノ權力ノ衰退ト共ニ工業ハ漸時村落ニ散布セラレタリ而シテ村落ニテハ職工ハ一時雇役ノ爲メカ若クハ皇帝ノ公役ヲ果サン爲メニ市町ニ出入スルコトアリタルノミ村落ニテ工業ノ發達ヲ遂ケタル原因一ニシテ足ラズ一ハ當時市町ノ發達甚タ微弱ニシテ殆ント村落ト區別ヲ爲シ難キ程ナリキ且ツ村落ニテハ今日ト同シク農業ノミニテハ何時ニテモ何處ニテモ農民ニ十分ナル生活ノ便ヲ與フルコトヲ爲サマリシニアリ次ニ冬季

ノ長時期殊ニ中央及北部ノ露國ニテハ農民ニ多クノ閑暇ノ時ヲ與フルコトナリ又一種ノ地方制度ノ流行ハ農民ヲシテ其土地ヲ去ルコトヲ厭ハシムルニ大ナル勢力アリタルハ疑フヘカラズ此他多クノ理由ニヨリテ工業ハ重ニ村落ニ發達シ農民家族ノ維持ニ缺クヘカラサルノ要素トナリタリ

此ノ村落工業ハ一家ノ主人ノ外家内ノ男女トモ其業ヲ共ニス或ハ場合ニ於テハ七歳乃至十歳ノ小兒モ其業ニ從事スルナリ或ル業例ヘハ「レース」ノ製造及機業ノ如キハ女子ノ労働ヲ以テ最も多シトス村落工業ハ其發達ヲ爲スニ於テ一種特別ナル方法ト労働ノ分業ヲ生シタリ例ヘハ一業ノ一部ハ小兒ニテ爲スコトアレバ他ノ一部ハ成人之ヲ爲シ第三ノ部ハ老人之ヲ爲スコトアリ一ノ村落ニテ一品ノ一部ヲ造ルコトアレバ次ノ村落ニテハ他ノ部分ヲ造リ第三ノ村落ニテ全部ヲ組立テ第四ニテ之ガ裝飾ヲ施スコトアルナリ然レトモ凡テ此ノ如キコトハ工業ソレ自身ノ必要アリテ自然ニ發達シタルモノニテ他ヨリ法律ヲ以テ之ヲ制シタルノ結果ニアラサルナリ

村落工業ハ斯ル境遇ノ下ニ在テ農民労働及原料ノ廉ナルコト競争ノ結果及販賣

ノ困難ハ共ニ其製品ノ相場ヲ非常ニ廉ナラシムルコトアルニ係ハラズ漸次發達
 ナ遂ケタリ現今凡ソ五十種ノ村落工業アルヲ見ル
 各種ノ工業ヲ記述スルコトヲ止メ吾人ハ單ニ其大要ヲ掲クベシ一言以テ之ヲ言
 ヘバ境遇ノ然ラシムル結果木材ヲ以テ製スル製品最モ多シトス籠、疊、車輪、卸鈕、匙、
 其ノ他家具、樂器等ノ製造者凡ソ八萬軒アリ北部ノ麻ノ生産地ニテハ「リン子」機
 掛、手拭等ヲ多ク製出ス中央部ニテハ綿ノ織物ヲ製出スル所多シ革類ノ製造ニ從
 事スルモノ凡ソ十五萬人以上鐵類ノ製造者凡ソ一萬九千軒アリ鐵類ノ製造ニテ
 最モ有名ナルハ「ジ」ノ「ヴ」ゴ「ロ」ツ「ド」縣ノ「パウロウオウ」オ「ルス」マ「ベ」ス「チ」ツ「ノ」エ等
 ノ諸村落ナリ此ノ諸村落ハ其近方ノ村落ト共ニ每年數百萬ルーブルスノ收益ヲ
 得ルナリ而シテ「パウロウオウ」ハ其製出スル刃物ノ秀逸ナルガ爲ニ露國セツ「フ」キ「ール」
 「ド」ノ名ヲ得タリ若シ之レニ加ヘテ「ツ」ラ縣ニ於ケル「サモワール」ノ工業即チ木材
 上ノ肖像畫(一年凡ソ二百萬「レ」ス)ノ製造(凡ソ三百萬)及玩弄品ノ製造等ヲ列舉セ
 バ之レニテ村落工業ノ大要ヲ知ルヲ得ベシ
 露國ニテハ斯クノ如キ製產品ニ對スル正確ナル統計ノ存スルナキガ爲メ其ノ工

業品製産ノ總額ヲ知ルコト極メテ困難ナリ或ル人ハ七千五百萬乃至一億萬ルー
 ブルスナラント謂ヒ又或ル人ハ之レヲ三億萬迄ニ計算セリ何レモ正確ナル計算
 トナス可ラズ此村落工業ニ從事スル人員ノ總數ヲ知ルモ又同様ノ困難アリ或ル
 人ハ凡ソ六百萬人ナリト云フ即チ大製造場及鑛山ニ從事スル人員ノ四倍ナリト
 ナセリ其正確ナル總計ハ知ルヘカラスト雖トモ之レガ一國ノ經濟ニ於テ重大ナ
 ル關係ヲ爲スモノタルハ疑フヘカラス工業ノ或ル種類ニ至テハ市町ノ製造場ニ
 テ製出スルモノヨリ多クテ製出ス例ヘバ革類ノ如キ製造場ノ製産高ハ三千七百
 萬乃至四千二百萬ルーブルスナルニ村落工業ノ製産高ハ五千八百萬ルーブルス
 ニ達スルナリ

露國ニ於ケル村落工業ガ遂ニ大仕掛ナル製造ニ壓倒セラルヘキカハ一ツノ疑問
 ナリ露國ニ於テハ此ノ疑問ノ解釋ハ單ニ大小製造ノ利害即チ西歐諸國ニ於ケル
 カ如ク職工ト器械ノ競争又ハ器械ノ應用勞働賃金ノ減少ニ關スルニアラズ却テ
 農民ガ村落ニテ得ル所ノ農業收益トノ關係ニ因ルナリ農民ガ農業ノ傍ヲ是等ノ
 工業ヲ以テ農業ノ代用ヲ爲シ得ル間ハ其ノ製作品ノ賣價ヲ減殺シ製作品ノ賣價

額ト原料ノ賣價ト殆ンド差ナキガ如クニ至リ又其工業ノミヲ以テ獨立ノ生計ヲ爲シ能ハサル程ノ廉ナル賃金ヲ以テ満足スヘシ斯クノ如クナルカ故ニ製造家ニ於テハ寧ロ製造ノ原料ヲ村落ノ職工ニ與ヘ其勞働ヲ利用シ即チ村落ニ於テ十軒乃至二十軒ノ農民ヲ集メテ其ノ業ヲ營マシムルハ大ナル製造場ヲ起シ以テ職工ヲ集ムルヨリモ遙カニ利益多カルヘシ斯クノ如ク村落工業ハ未來ニ於テ長ク其ノ狀態ヲ維持スヘキ多クノ要素ヲ有スルナリ村落工業ノ一種特別ナル境遇ノ下ニ在ルコトハ之レガ外部ヨリ少シノ獎勵ヲ受ケズト雖トモ顯著ナル成效ヲ爲シタルヲ見テ知ルヘシ例ヘバパウロ村ノ刃物製造ノ如キ之レガ始メテ設ケラレタルハ十八世紀ニシテ大地主ノセーレンメチーフ伯ノ創意ニヨルト雖トモ爾來大ナル發達ヲ遂ケ終ニ同地方全體ノ繁榮セル原因トナリタリ

他ノ一方ノ場合ニ於テハ村落工業者ノ經濟的ノ狀況ハ多クノ場合ニ於テ決シテ羨ムヘキ有様ニ非ルナリ彼等ハ屢々其器具及原料ヲモ買入ルヘキ資本ニ缺乏シ爲メニ商人ノ奴隷トナリ製造品ノ賣價ノ如キハ商人ノ勝手ニ定ムル所トナルヲ免レズ商品ノ賣價ニシテ斯ノ如ク低廉ナルガ故工業家ハ其製作品ノ精巧雅致ヲ

期スルノ餘裕ナク唯其製作品ノ多量ナランコトヲ期スルノミ村落工業ノ製作品ノ劣等ナルハ此ノ外其ノ職人ノ無教育ナルト其器械方法ノ不完全ナルニモアルナリ或ル地方ニ於テハ甚タ不完全ナル工業學校ナルモノナキニ非レトモ其數至テ尠ナク爲メニ多クノ職工ハ自然ノ必要ニヨリテ獨立ニ一種ノ器械方法ヲ發見シ之ニヨリテ其改良ヲ期スルモノ多シトス

以上論スル所ニ由テ之ヲ見レバ村落工業ノ改良ヲ謀リ其位置ヲ高ムルニ最モ必要ナル方案ハ第一工業教育ノ普及第二低利ナル賃金ヲ爲スヘキ銀行ノ設置第三都會ニ於テ是等ノ製作品ヲ販賣スル店ヲ開クコト等ナルヘシ是等ノ問題ハ近時中央政府及地方政廳ニ於テ最モ詳細ナル注意ヲ要スル所ナリ

低利ナル賃金ヲ爲スヘキ銀行ノ設置ニ付テハ吾人ハ本書ノ農業ノ部ニ於テ已ニ論述シタル所アリ又工業教育ノ普及ニ就テハ後段ニ於テ論スルコトアルヘシ茲ニハ唯製作品販賣ノ便益ヲ謀ルコトニ付テ一言セン地方議會及農務省ニ於テハ久シキ以前ヨリ村落工業ノ研究ヲ爲シ其結果ヲ全國ニ公ニスルコトヲ務メ居タリ即チ聖ペートルスボルグ農業館ニ於テ村落工業品ノ展覽會ヲ時々各地ニ設ク

ルガ如キ又モスコイニ於ケルカ如ク村落工業品ノ販賣店ヲ開クカ如キ其一例ナリ地方議會及農務省ノ官吏ハ互ニ其工業ノ各部ニ於ケル最モ適當ナル製造法ヲ示スコトヲ勤ムルノミナラズ製造家ニ必要ナル原料ノ買入及其製造品販賣ノ媒介者トナリ双方ノ便利ヲ謀ルコトヲ務ムルナリ又農務省ハ製造家ト海軍省及ヒ陸軍省ノ間ニ立チテ其ノ注文ノ媒介ヲ爲シ千八百九十四年度ニ於テ農務省カ各州ノ工業者ノ爲メニ注文ノ媒介ヲ爲シタル金額ハ十二萬ルーブルスノ多キニ達シタリ斯ノ如キ獎勵ハ已ニ見ルヘキ結果ナキニアラズ例ヘハモスコイ地方議會ノ助力ニヨリテモスコイニ於ケル札板製造ハ遂ニ大製造家ノ手ヨリ村落製造者ノ手ニ歸シタリ

村落工業ノ組合共同ヲ謀ルコト亦頗ル緊要ナリ共同ノ主義ハ大ナル製造ニ向テ資本ノ集注ヲ防クニ就キ一ノカタルハ疑フベカラサル所ナリ此ノ思想ハ西歐諸國ニテハ近時漸次發達シツ、アル所ナルガ吾人職工組合ハ既ニ有スル所タリ而シテ爰ニ村落工業ニ關シ職工組合ノ工業發達ニ大ナル利益ヲ與フヘキコトヲ考ヘ殊ニ之ニ注意ヲ下スノ必要アルニ依リ此問題ヲ研究スル目的ヲ以テ村落工業

委員ナル者ヲ農務省内ニ設ケベイトルアレキサンドロイウツチ、オルデルブルク公ヲ其委員ニ加ヘタルハ注目スベキ事ナリトス

第二節 鑛業

村落工業ハ我國經濟上ノ發達ニ於テ農業地方ノ收益ニ根本ノ原因トナレリ加之ナラス又大製造業ノ起ラサル以前ヨリ多クノ物品供給ヲ爲シタルノミナラズ露國工業勞働ノ第一ノ修練所タルナリ然レトモ國內ニ製造品ノ消耗ノ増進セルト萬國商業ノ漸次發達セルヲ以テ一國ヲ以テ全ク其國內ノ工業ニノミ限リテ置クハ到底望ムヘカラサル所ナリモスコイ時代ノ皇帝等ハ己ニ此ノ理ヲ覺リ外人ヲ雇聘シ來リテ製造場ヲ起スコトヲ始メタリ然レトモ露國ニ於テ製造業ヲ創設シタルノ名譽ハベイトル一世ニ歸セサルヲ得ズ此ノ大改革家タルベイトル大帝ハ先ツ第一ニ我國鑛物富源ノ穿鑿ニ注意ヲ用ヒタリ鑛山ノ富源ナクシテハ大ナル製造業ノ起ランコトハ望ムヘカラズ何トナレバ製造業ニテ第一ニ要スルモノハ石炭金屬等鑛產物クレバナリベイトル大帝ハ一千七百十九年ニ於テ露國鑛業ノ基礎タルヘキ第一ノ鑛業條例ヲ發布シタリ鑛業條例ノ根本タル問題ハ誰モ能ク

知ル如ク地中ノ鑛物ハ誰ニ屬スヘキヤ即チ一國ノ經濟ニ最モ必要ナル鑛物ハ土地ノ所有主ニ屬スヘキカ又ハ國家ニ屬スヘキカ之レナリペートル大帝ハ隣國ナル獨逸聯邦ノ例ニ倣ヒ之ヲ第二ノ意義ニ定メタリ即チ其言ニ曰ク「鑛業ハ國產トシテ吾等ニノミ屬ス」ト之レ所謂帝室專有權ノ原理ナリ然レトモ神ノ恩惠ノ空シク地下ニ埋マラレサラン爲メ何人モ何レノ所即チ帝室所有ノ地ニ於テモ又ハ人民所有ノ地ニ於テモ鑛物ヲ穿鑿シ之レヲ鑛解精鍊スルコトヲ許シタリ鑛物ノ發見者ハ鑛山局ニ出願シ鑛物探掘ノ許可ヲ得其探掘高ノ十分一ヲ帝室ニ納メ其三十二分ノ一ヲ地主ニ納メ此外鑛業ニ要スル土地ノ代價及其山ヨリ伐リ出ス薪炭ノ代價ヲ所有主ニ拂フヘキナリ其次年千七百二十年ニ於テペートル大帝ハ嚴ニ鑛業ノ發達ニ妨害ヲ與フルモノヲ禁スルノ新シキ法令ヲ發シタリ是等ノ獎勵ハ著シキ効果ヲ著ハシウラルツテオロネソツ地方ニ於テ帝室ノ鑛業モ人民ノ鑛業モ盛ニ起ルニ至レリ然レトモ千七百十九年ノ條例ニテ與ヘラレシ自由鑛業ノ主義ハ永ク其勢力ヲ存スルコトヲ得サリシカテリン第二世ハ一種ノ理論家ノ理論ニ動かサレ土地所有者ノ所有權ハ土地ノ中心即チ之ニ存スル鑛物迄ニ達スル

コトヲ公布シ自由鑛業ノ主義ヲ全ク廢止シタリ其後千八百六六年ニ至リ鑛物自由穿鑿ノ主義ハ只國有地ニノミ再ヒ行ハル、コト、ナリタリ現行鑛業條例ノ特別ナル所ハ鑛業稅ヲ拂フ鑛業者ノ專有權ト金銀ノ場合ニテハ必ス之ヲ帝室ニ納メサルヘカヲサルノ條件ト私有地ニ於ケル鑛物穿鑿ノ自由ナキト官有地ニ於ケル穿鑿ノ自由トニアルナリ唯ポーランド國ノミハ之ニ異ナリタル條例アルヲ見ル同國ニテハ鑛業專有權ト自由ノ主義ハ久シキ以前ヨリ兩立セシモ全ク忘レラレタルカ如ク其實行ヲ見サリシガ千八百六十年ニ於テ政府ハ其隣國タル普國ト自國ハ殆ント同様ノ天然ノ境遇ノ下ニ在リテ鑛業ノ盛衰大ニ其度ヲ異ニスルコトヲ發見シ銅ト亜鉛、銻、鐵ノ場合ニ於テハ鑛業ノ自由ヲ發布シタレバ爾來同國ノ鑛業ニ一ノ新シキ活氣ヲ與ヘタリ

鑛業ノ内此ノ國ニ於テ最モ肝要ナルハ石炭、石油、鐵、金及鹽是レナリ

(甲) 石炭鑛業 炭鑛ノ豐富ナルハ一國ニ於ケル隆盛ノ最モ必要ナル元素ナリ工業全體ノ發達モ之レガ根本トナレバ吾人ハ石炭ノ問題ヲ稍詳細ニ論スルコトアルヘシ露國ノ工業ハ國中ニ薪炭ノ供給多キカ爲メ西歐諸國及米國トハ此點ニ於

テハ大ニ趣ヲ異ニスルコトアリ右ノ諸國ニ在リテハ大ナル製造場ハ常ニ炭礦ノ近傍ニ設ケタル、コトアリサレド我國ニ於テハ製造場ハ炭礦ノ未タ發見セラレザル先ヨリ起リタルモノナレバ之レト關係アラサルナリ第十八世紀ノ始メニ當リテペートル大帝ガアヅフ地方ニ行軍セラレタルトキニ石炭ノ一塊ヲ獻上シタルモノアリタリ時ニ彼レハ左ノ如キコトヲ述ベタリ曰ク「此礦物ハ吾等ニハ格別益ヲナサルモ吾ガ子孫ニハ必ズ非常ナル益ヲナスヘシ」ト然レトモ其後永年ノ間石炭ノ採掘ハ着手スルコトナカリキ炭礦ノ豐富ナル一點ニ於テハ露國ハ恐ラク他ノ國ニ讓ルコトナカルベシ歐羅巴露西亞丈ケニテモ二ヶ所ノ最モ富メル炭田アリドネツツ及ビポーランドノ炭田ハ永久年間露國ノ工業及ビ運搬業ノ如何ニ發達スト雖トモ其ノ燃料ヲ與ヘテ尙ホ餘裕アルヘシエカテリノスラス州ノドネツツ平原ノ西部ニ於ケル石炭ノ供給ハ凡ソ四百十五億萬ブーヅ「ブーヅ」ハ四貫三百六十一匁餘ト概算セラル而シテドンコサツク地方東部ノ石炭ハ更ラニ之レヨリモ多量ナリトセラル又亞細亞露西亞ニ於テハシベリヤノクーツネツツノ炭礦ハ以上二ヶ所ニ劣ラス且ツ其地方ノ炭礦ハ世界ニ於ケル最モ大ナル炭田ノ

一ニシテ最良ナル「コークス」ヲ製造スルニ足ル石炭ナリ「コークス」ハ他ノ工業上ニ於テ必需品タルコト言テ俟タズ以上列記シタル三個ノ炭田ノ外ニモスコイ、キーフ、ウラール、コーカサスノ諸地方而シテ亞細亞露西亞ニテハサガレン島トルキスタン、キルギース地方ニ炭礦ノ存スルヲ見ルナリ然レトモ吾人が前ニ述べタルガ如ク是レ等ノ富源モ未タ多クハ毫モ採掘ニ着手セラレズ又タ已ニ着手セラレタルモノモ何レノ處ニテモ適當ノ方法ニテ採掘セラレサルヲ知ル南部ナルドーンネツツ地方即チ山林ノ稀ナル所ニテサヘ鑄鐵ヲ爲スニ未タ石炭ヲ用キルコトヲナサルナリドンコサツク地方ニテハ今日ニ至ルマテ同地ニ廣ク行ハル、農業汽車ニハ藁ヲ以テ重ナル燃料ト爲スハ著シキ事ナリ南部ニ於テ鐵ヲ鑄解スルニ石炭ヲ用キルコトヲ試ミタルハ漸ク此ノ世紀ノ三十四十年頃ナレトモ少シク其成功ヲ見タルハ七十年ノ始メ頃ナリ千八百六十五年頃ニ於テ南部ニテハ鐵道ニ石炭ヲ用キルコトヲ始メタリ而シテ炭田ノ近傍ニ鐵道ノ布設アリタル以來漸ク炭礦ノ採掘ヲ見ルニ至レリ政府モ以前ニ於テハ炭鑄事業ヲ殆ント度外視シタリ一八八四年ニ至ルマテハ石炭ノ輸入ハポーランド

國ヲ除クトキハ凡テ無税ニテアリタリ其年ヨリ外國輸入ノ石炭ニ税ヲ課スルコトヲ始メタルガ其税ハ南部ニ於テ重ク西部バルチック海近傍ニ於テハ輕シ即チ是レドネッツ石炭鑛業ニ保護ヲ與ヘン爲メニ設ケタルモノナリ鐵道ノ布設ハモスコイ地方工業地ノ石炭ノ運搬ヲ便ニシ又榮糖業ノ發達セシカ爲メ露國南西部ニ於ケル石炭ノ需用ヲ増加シタリ又一方ニ於テハ山林ノ減少ハ石炭ノ需用ヲ來セリ或ル地方ニ於テハ薪炭ハ夥シクアリタルモ今ハ以前ニ反シ其ノ缺乏ヲ感シツ、アルナリ

凡テ此等ノ事情ハ露國南部石炭鑛業ノ發達ニ直接ノ勢力ヲ及ホシタリ一八八五年ニ於ケルドネッツ地方ノ石炭產出高ハ四百五十萬ブーヅナリシガ四十年ノ後ニハ其ノ產出高二億九千四百萬ブーヅ即チ六十五倍ノ多キニ達シタリポーランド炭田ノ產出高モ一八九四年ニハ殆ント之レト同様ノ多額ニ達シタリ即チ二億〇五百萬ブーヅナリシ然レトモポーランドノ石炭鑛業ハドイネッツニ於ケルモノト稍其趣ヲ異ニセリポーランドニテハ恰モ西歐諸國ト同ジク他ノ工業ハ凡テ石炭礦ノ傍ニ發生セリ此レ其事業ニ多クノ石炭ヲ要スルニ依ルナリ同地方ニテ

ハ山林甚タ勤ナキカ故製造場ニ於テモ鐵道ニ於テモ又ハ一家ニ於テモ其ノ燃料ハ專ラ石炭ニ依レリ斯カル理由アルカ故ニウイスト州ノ境域ヲ越ヘテハポーランド石炭ノ輸出ハ甚タ少額ニシテ近頃漸ク運搬費ノ廉價ニナリタルガ爲メ少シク増加シタリ之ヲ以テ觀レバポーランドノ石炭ノ消耗ハ重ニ其内國ニアリト知ルベシ之ニ反シテドイネッツ地方ノ石炭礦ハ露國內地工業地及ビ鐵道ニ石炭ヲ供給ス故ニドイネッツノ石炭ハ露國全體ノ工業ニ最モ大ナル關係ヲ有スト云フト雖トモ逸言ニアラサルベシ南部ニ於テ石炭ノ富源ノ豐富ナルニ比シ石炭鑛業ノ進歩ノ遅々タルハ工業ノ發達尙ホ幼稚ナルニ原因スト謂ハサルヲ得ズ同地方ニテハ石炭ハ十分ノ市場ヲ有セズ他ノ燃料殊ニ廉價ナル石油槽ト競争セサルヲ得ザルノ位置ニアレバナリ此ノ事情ハ露國ノ南部ニ於テ愈工業ノ發達ヲ見ルコトアラバ之レト共ニ石炭業ノ發達ヲ來タスコトアルヲ知ルベシ他言以テ之ヲ謂ヘハ南部ハ工業ノ發達ニ於テ最モ便益ナル位地ニ在リ之ニ加フルニ其地味真好ナルヲ以テ此所ハ將來歐羅巴露西亞中尤モ繁榮ノ所トナルヤ疑フヘカラス其產出ノ高ニ於テハドイネッツ及ポーランドノ炭田ハ遙カニ他ノ炭田ニ勝レリ

ウラルノ炭田ハ一千六百萬ブーツヲ產出シモスコノ炭田ハ一千二百萬ブーツヲ產出スモスコノ炭田ハ此十年許ノ間毎年其產出高ヲ減シツ、アルナリ之レドネツツ炭トモスコノ近傍ニ生スル石油槽トノ競争ニヨルナリ

此他ノ炭田ハ全體ヲ合スルモ僅カニ四百萬ブーツヲ產スルニ過キズ一八九四年ニ於ケル石炭產出ノ總額ハ實ニ五億三千萬ブーツニ達セリ四十年前ニテハ僅カニ其總額ハ九百五十萬ブーツニテ二十年前ニ至リ漸ク一億〇四百萬即チ其五分ノ一ニモ及ビタリ

石炭鑛業ノ進歩斯ノ如ク速カナルニモ係ラズ外國石炭ノ輸入ハ更ニ減少セザルノミナラズ増加シツ、アルヲ見ル千八百六十四五年頃ニハ四千九百萬ブーツニ過キザリシガ八十年頃ニ於テハ一億一千二百萬ブーツニ増加シタリ而シテ一八九四年ニハ一億三千八百萬ブーツニ達セリ工業全體及ビ鐵道ノ發達ノ影響タル石炭ノ消費ハ石炭業ノ發達ヨリモ尙ホ速カナルハ之ニヨリテ明ナリ然レドモ試ニ我國ノ石炭消費額ヲ以テ他ノ文明諸國ノ消費額ト比較セバ尙ホ我國ノ消費額ハ至テ少額ナルコトヲ知ルベシ英國ニテハ年々一人ニ付キ二百五十二ブーツヲ

費シタルシニヨリテハ八百八十八ブーツ北米合衆國ニテハ百三十九ブーツ獨乙ニテハ百十二ブーツ佛蘭西ニテハ五十八ブーツ而シテ澳國ニテハ三十六ブーツナルモ我國ニテハ一人僅カニ四ブーツナルニ過キス即チ僅カニ澳國ノ九分ノ一タルナリ

此ノ大ナル相違ハ重ニ石炭ハ我國ニテハボーランドヲ除テハ殆ンド家内ニ之ヲ用キサルノ理由ニヨルヤ疑ナシ露國ニテハ其ノ自國ニテ產出シタルト他國ヨリ輸入シタル凡テノ石炭ノ百分ノ十一ヲモスグノ如キコトニ用キタル、コトナシ

第二ノ原因ハ工業發達ノ猶幼稚ニシテ之レニ石炭ヨリモ薪炭ヲ多ク用キルニア

ルナリ現今ニ至ル迄ハ工場鐵道漁船ニテ消費スル總テノ燃料ノ五分ノ二ハ石炭ニシテ其五分ノ一ハ礦油精及泥炭ニテ残りノ五分ノ二ハ薪炭ナリトス殊ニ冶金業ニ於テ用ル燃料ノ百分ノ五十八ハ木炭ナリトス斯クノ如ク我工業社會ノ幼稚ナル有様ハ石炭鑛業ノ發達ニ一ノ妨害ヲ與フルモノト爲サ、ルヲ得ズ

(乙) 礦油業 礦油業ノ呈出スル所ノ現象ハ全ク石炭鑛業ト其ノ趣ヲ異ニセリ礦油ガ一ツノ燃料トナリタルハ至テ近時ノコトニテ殊ニウオラガ地方及ヒ其ノ近

ウラルノ炭田ハ一千六百萬ブーヅヲ產出シモスコノ炭田ハ一千二百萬ブーヅヲ產出スモスコノ炭田ハ此十年許ノ間毎年其產出高ヲ減シツ、アルナリ之レドネツツ炭トモスコノ近傍ニ生スル石油槽トノ競争ニヨルナリ

此他ノ炭田ハ全體ヲ合スルモ僅カニ四百萬ブーヅヲ產スルニ過キズ一八九四年ニ於ケル石炭產出ノ總額ハ實ニ五億三千萬ブーヅニ達セリ四十年前ニテハ僅カニ其總額ハ九百五十萬ブーヅニテ二十年前ニ至リ漸ク一億〇四百萬即チ其五分ノ一ニモ及ビタリ

石炭鑛業ノ進歩斯ノ如ク速カナルニモ係ラズ外國石炭ノ輸入ハ更ニ減少セザルノミナラズ増加シツ、アルヲ見ル千八百六十四五年頃ニハ四千九百萬ブーヅニ過キザリシガ八十年頃ニ於テハ一億一千二百萬ブーヅニ増加シタリ而シテ一八九四年ニハ一億三千八百萬ブーヅニ達セリ工業全體及ビ鐵道ノ發達ノ影響タル石炭ノ消費ハ石炭業ノ發達ヨリモ尙ホ速カナルハ之ニヨリテ明ナリ然レドモ試ニ我國ノ石炭消費額ヲ以テ他ノ文明諸國ノ消費額ト比較セバ尙ホ我國ノ消費額ハ至テ少額ナルコトヲ知ルベシ英國ニテハ年々一人ニ付キ二百五十二ブーヅヲ

費シベルシユームニテハ八百八十八ブーヅ北米合衆國ニテハ百三十九ブーヅ獨乙ニテハ百十二ブーヅ佛蘭西ニテハ五十八ブーヅ而シテ澳國ニテハ三十六ブーヅナルモ我國ニテハ一人僅カニ四ブーヅナルニ過キス即チ僅カニ澳國ノ九分ノ一タルナリ

此ノ大ナル相違ハ重ニ石炭ハ我國ニテハポーランドヲ除テハ殆ンド家内ニ之ヲ用キサルノ理由ニヨルヤ疑ナシ露國ニテハ其ノ自國ニテ產出シタルト他國ヨリ輸入シタル凡テノ石炭ノ百分ノ十一ヲモスクノ如キコトニ用キラル、コトナシ第二ノ原因ハ工業發達ノ幼稚ニシテ之レニ石炭ヨリモ薪炭ヲ多ク用キルニアルナリ現今ニ至ル迄ハ工場鐵道汽船ニテ消費スル總テノ燃料ノ五分ノ二ハ石炭ニシテ其五分ノ一ハ礦油槽及泥炭ニテ殘リノ五分ノ二ハ薪炭ナリトス殊ニ冶金業ニ於テ用ル燃料ノ百分ノ五十八ハ木炭ナリトス斯クノ如ク我工業社會ノ幼稚ナル有様ハ石炭鑛業ノ發達ニ一ノ妨害ヲ與フルモノト爲サ、ルヲ得ズ

(乙) 礦油業 礦油業ノ呈出スル所ノ現象ハ全ク石炭鑛業ト其ノ趣ヲ異ニセリ礦油ガ一ツノ燃料トナリタルハ至テ近時ノコトニテ殊ニウオルガ地方及ヒ其ノ近

傍ノ工業地ニ於テハ廣ク販路ヲ得ルニ至リタリ鑛油業ノ重ナル中心ハバツク
 ノアブセロン半島ニアリトス又テレック及ビクーパーノ地方ニモ頗ル裕カナル
 鑛油ノ源泉存スツランスカスピヤノ地方及トルキスタンクリミヤ及コーカサ
 スノ或ル部分ニ於テモ鑛油ノ生スル所アリアブセロン半島ハ全産額ノ凡ソ百分
 ノ九十八ヲ産ス鑛油ノ此地ニ發見セラレタルハ第九世紀ノ頃ナルモ之カ工業上
 緊要ノ產物トナリタルハ此世紀ノ六十年ノ頃アリトス此事業ノ進歩ノ速カナラ
 サリシ原因ハ其頃迄ハ鑛油ヲ清ムルノ法明カナラズ爲メニ之レヲ燃料ニ用ユル
 カ若シクハ粗雜ナル器械ヲ滑カニスル爲メニ用キタルニ過キサリシナリ又鑛油
 泉ニ關スル拘束法ハ之レカ發達ヲ妨ケタリ或ル時ハ帝室自ラ此業ヲ採リ官業ト
 シテ之ヲ營ミタリ而シテ其成功ナキヲ見ルヤ遂ニ人民ニ之ヲ貸與スルコトニナ
 リタリ然レトモ當時其產出額ハ二百萬ブーヅニ達スルニ至ラサリシ斯カル有様
 ナルガ故ニ一八七二年ニ至リテ鑛業條例大體ノ主義ニ從ヒ僅カノ稅ヲ課スルノ
 ミニテ之ヲ全體ニ開放シタリ其時ヨリシテ鑛油業ノ驚クヘキ速カナル進歩ヲ見
 ルニ至レリ鑛油泉ヲ所々ニ開鑿スルニ從テ莫大ナル鑛油ノ有スルヲ發見シ一八

七三年ニ至テ鑛油業ノ上ニ大革命ヲ來タスコト、ナリタリ一ブーヅ四十五コベ
 ツクス(一)コベツクスハ七厘五毛ニ當ルナリシ石油ハ一ブーヅニコベツクス迄ニ下
 落シタリ鑛油ノ產出實ニ夥シク爲ニ當時行ハレ居タル清淨ニスル器械ノミニテ
 ハ之ヲ清淨ニナシ能ハサル程ナリシガ一八七五年ニ至テ鑛油業ニ一驚慌ヲ來シ
 政府ハ止ムヲ得ズ石油ニ稅ヲ課スルコトヲ廢スルニ至レリ此ノ稅法ハ其後一八
 八八年ニ至リ鑛油業モ漸ク鞏固ナル基礎ヲ得ルコト、ナリタレバ再ヒ實施セラ
 レタリ鑛油業ガ如何ニ迅速ニ發達シタルカハ右ノ統計ヲ以テ知ルヘシ一八七〇
 年ニ於テハ全露國ノ鑛油產出額ハ百七十五萬ブーヅニ過キサリシカ一八八二年
 ニ至リテ其產出額ハ五千萬ブーヅニ達シタリ又其後十年ノ後ニハ三億萬ブーヅ
 ニ達シ一八九四年ニハ三億千六百萬ブーヅニ増加シタリ其内三億九百萬ブーヅ
 ハバツク州ニテ產出スル所ナリ此ノ莫大ナル鑛油ハ勿論露國一國ニテ消費スル
 モノニ在ラズ年々多額ノ石油ヲ外國ニ輸出セリ一八八一年ノ輸出額ハ一百萬ブ
 ーヅナリシガ一八九三年ニハ六千萬ブーヅニ増加シタリ(一八九四年ニハ五千三
 百萬ブーヅ)斯クテ鑛油ハ露國輸出ノ物品中其價額ニ於テ穀物、麻、木材ニ次キテ第

一位ヲ占ムルニ至ル又其産出ノ總額ニ於テハ世界ニ於テ合衆國ヲ除クノ外露國ニ及ブモノナシ露國鑛油ノ産出額ノ斯クノ如ク莫大ナルニモ係ハラズ世界ノ市場ニ於テ未ダ重要ノ位置ヲ占ムルニ至ラサル理由ハ他ナシ其多クハ天然ノ儘之ヲ清メスシテ輸出スルニアルナリアブセロン半島ニテ産出スル三億萬ブーヅノ鑛油中「ランブ」ニ用ユル爲メ清メタル石油トシテ産出スルモノハ僅カニ其十分ノ三ナリ若シ器械ノ設備十分ナルニ至ラハ其十分ノ八ヲ清メタル石油トシテ産出スルコト難キニアラズ目下露國ヨリ他國ニ輸出スルモノハ多ク「ランブ」ニ用キル石油ニシテ六千萬ブーヅノ中五千萬ブーヅハ其類ノ石油ナリ而シテ是等ノ石油ガ米國ノ石油ト競争スルヲ得ルハ我國鑛油ノ價額ノ非常ニ廉ナルニヨルナリ米國ノ鑛油ハ「ブーヅ」十五乃至十八「コベツクス」ナルモ露國ノ石油ハ二乃至三「コベツクス」ナリ競争ニヨリテ漸次驕リ下ケヲレタル鑛油ノ代價ハ其ノ産出ノ費用サヘ價ハザル程ナリ之レカ爲メ不思議ナル現象ノ行ハル、ヲ見ルバツク地方ニテハ只鑛油ノミテ産出シテ之レヨリ石油ヲ取ルコトヲ好マザルノ傾キアリ其故ハ石油ノ代價甚タ廉ナルカ故石油ニテ損スル所ハ鑛油精ノ賣却ニテ之ヲ價フノ有

様ニテ石油ハ成ルヘク産出セザランコトヲ務ム然レトモ鑛油ノ儘外國ニ輸出スルモノ甚タ尠ナケレバ其産出ノ増加ハ益其價額ノ下落ヲ來シ爲メニ此業全體ノ損失ヲ來タスコトアルナリ

鑛油精ハ運搬ニ便利ニシテ且ツ廉價ナル燃料ナレバ之カ一ツノ肝要ナル産物タルハ論ヲ俟タスウオルガ地方ニテハ已ニ鑛油ノ流行ニヨリ漸次薪炭及石炭ヲモ排除スルニ至レリ然レトモ鑛油ノ天然ノ産物トシテ最モ國益ヲ爲ス所ハ石油トシテ輸出セラル、ニアルコト論ヲ俟タス而シテ現今石油ノ販賣ニ於テ一ノ妨害タルハ則チ其相場ノ廉ナルニアレトモ教授メンデリーフ氏ノ説ニヨレバ是レ全クバツクヨリ黒海迄運搬スル運搬機關ノ缺乏セルニヨルナリ其故ハバツクノ地方ニテ産出スル鑛油ヲ米國ノ如キ方法ヲ以テ之ヲ製スルトキハ二億五千萬ブーヅノ石油ヲ得ルハ容易ナレトモ「ランスコ」カシヤンノ鐵道ハ僅カニ六千萬乃至八千萬ブーヅヨリ多クヲ運搬スルコト能ハズ其鑛業者ガ裏海ノ近方ヨリウオルガ其他中央露西亞ニカケ其近方ニテ成ルベク廉價ニ鑛物ノ儘鑛油ヲ賣捌カント望ムモ無理ナラヌコトナリ然レトモ斯クノ如キ燃料ノ増加ハ一方ニテ石炭業

當然ノ發達ヲ妨クルコトアルノミナラス一旦鑛油業ニ驚慌ヲ來タスコトアルトキハ忽チ全國ノ工業ヲ危險ノ地ニ陷シ入ル、コトアルノ恐レアルナリ

是等ノ妨害ハトランスコーカシヤン鐵道ノ運搬力ヲ増加スルカ若クハバツクヨリバツームニ至ル鐵管ヲ設ケ之ニテ石油ヲ輸送スルノ便ヲ開クコトアルニ在リ又ドン河及ドネツツ河ニ於ケル航海ノ改良ドネツツ石炭礦ヨリウオルガニ至ル鐵道ノ布設ニヨリ之ヲ排除スルヲ得ベシ此外露國全體ニ石油ノ消費ヲ増加スルハ其價額ヲ保ツ一助タルヘシ現今歐洲諸國ニテハ一人前二十若クハ三十封ノ石油ヲ消費スルモ露國ニテハ一人前十封ヲ消費スルニ至ラサルナリ

(丙) 鐵鑛業 一國工業ノ進歩ニ缺クヘカラザルモノハ燃料ニ次キテハ冶金工業ノ發達ナリ而シテ冶金業ニ於テ最モ大切ナルハ鑛鐵、鑛鋼鐵及銅ナリ吾人ハ茲ニ銅ノ工業ニ就テハ論スルコトヲナサザルヘシ第十八世紀ニテハ歐洲諸國ニ銅ヲ供給シタルハ露國ニテ今世紀ノ中頃マテハ歐洲市場ニテ露國ハ此金屬ノ重ナル製産者ノ一ナリシナリ然レドモ其ノ後ハ一ハ銅ニ對スル輸入稅減少ノ影響ト一ハ他ノ國ニ於ケル銅ノ產出ノ多量ナルニヨリ露國銅ノ產出額ハ非常ニ減少シ從

テ其輸出ハ殆ント廢滅ニ歸シタルノミナラズ其輸入ハ却テ著シク増加シタリ之レ銅ノ需用ノ益増加スル徵候ト云フヘシ之レト同時ニ露國ノ銅鑛ハ未ダ掘リ盡シタリト爲スヘカラズ何トナレバウラル、ゴーカーサス、キルギースノ地方ニハ尙ホ富裕ナル銅鑛存スルコトアレバナリ

鐵ノ製造ニ就テハ何レノ處ニモ鐵鑛ノ富源豐富ナルニモ均ハラズ露國ハ他ノ歐洲諸國ニ比シテ尙ホ其下位ニ立ツモノト云ハサルヘカラズ我國ニ於テ鐵鑛ガ炭鑛ノ近方ニ多キハ不思議ナル配置ト言ハサルヲ得ズ例ヘバ南部ハポーランド、ウラル、シベリヤ及ビアルタイノ地方ニテハ鐵鑛ハ炭鑛ト共ニ每時發見セラレシナリ然レトモ吾人が前段ニ述ヘタル如ク鐵ノ製造業ハ未タ石炭業ノ起ラサル前ヨリ發達シタリ之カ第一ニ發達シタルハ薪炭ノ尤モ多キ地方ナルウラルニ於テセリ此地方ニテハ著名ナル鐵鑛ハブラゴダツト、ヴキソカヤ、マグニタヤ等ニテ何レモ年ニ數百萬ノ鐵鑛ヲ產出シ而シテ是レ等ノ鑛物ハ百分ノ六十乃至七十ノ純鐵ヲ含メリペートル大帝及ヒ其ノ大臣等ガウラル地方ニ於ケル鐵ノ製造ヲ非常ニ獎勵シタルガ爲メ已ニ一七二四年ニハモスコイ縣全體ハ外國輸入ノ鐵即チ瑞典

ノ鐵ヲ用ヒザルニ至リタルノミナラズ皇帝陛下ノ獎勵ノ下ニテ海外輸出マデ企テラル、ニ至レリ十八世紀ノ中頃ニ至テ鐵ハ露國輸出品ノ重ナル者トナリ一七八二年ニハ其輸出額五百萬ルーブルスニ達シタリ十八世紀ノ終リニ至テハ英國ノミニテモ露國ヨリ輸入スル鐵ハ二百萬ブツツノ多キニ及ベリ然レトモ此世紀ノ始メヨリシテ他ノ國殊ニ英國ニ於ケル鐵ノ製造發達シタル爲メ其輸出ハ漸次減少シタリ一八二〇年ノ頃ニハ露國ニテ産出スル鐵ノ總額ハ佛國ニテ産スルモノ、一倍半普國ノ四倍半白耳義ノ三倍北米合衆國ト殆ント同額ナリシガ其後漸次減少シテ現今ハ遙カニ右諸國ノ後ニアルニ至レリ

殊ニクリミヤ戰爭ノ頃ニ於テ凡テノ事業及ヒ交通ノ機關ニ著シキ滯滞ヲ來タシタレバ政府ニ於テハ鐵道及ヒ諸種ノ製造業ニ凡テ出來ル丈ノ獎勵ヲ與ヘタルニ我國ニ産スル鐵ノミチ以テ此ノ需用ヲ充タスコト叶ハサルコト、ナリタレバ政府ハ止ムヲ得ズ鑄鐵鐵及ヒ器械ノ輸入ヲ獎勵セサルヲ得サルコト、ナリタリ一八五〇年頃迄ハ外國ノ鐵及鑄鐵ニ對スル海關稅ハ保護貿易ノ主旨ニテ甚タ重ク海上ヨリ來ルモノハ殆ント全ク禁止セラレタル程ニテアリタレトモ一八五七年

ニテハ既ニ此ノ禁止モアゾフ海ノ諸港ヲ除クノ外ハ廢除シ且ツ其輸入稅ハ全體ニ著シク減少セラレ其後器械及製造ニ用ヒル諸器具ハ凡テ無稅ニテ輸入セラル、コト、ナリタリ此ノ如クシテ單ニ鑄鐵及鍊鐵ニ課シタル輸入稅ハ海外輸入ノ器械ニ於ケル利潤ノ本トナリタレバ却テ我國ノ機械製造業ニ妨害ヲ與ヘタリ夫故ニ其後ニ於テハ自國器械製造ノ爲メトテ鑄鐵及鍊鐵モ無稅ニ輸入ヲ許サル、コト、ナリタリ此ノ如キ政策ノ結果ハ外國鐵ノ輸入ヲ著シク増加シ已ニ一八七〇年ニハ此ノ輸入ハ一千八百萬ブツツニ達シ自國ニ産出スル鐵ノ總額ニ超過スル凡ソ二百五十萬ブツツトナリタリ

然レトモ露國鐵ノ製造業ノ衰頽ノ原因ヲ以テ單ニ稅法改革ノ結果ニ歸スルハ寧ロ不當トナサ、ルヘカラス露國ニテ以前ヨリ鐵ノ製造業ノ稍々盛大ヲ致シタルハ全ク保護稅ノ然ラシムル所ナリシモ此ノ業退歩ノ原因ハ猶ホ深クシテ全ク他ノ國ニテハ鐵ヲ鑄解スルニ石炭ヲ用ユルモ露國ニテハ近頃迄重モニ木炭ヲ用ヒタル事實ニ歸セサルヲ得ス

政府ニテモ此ノ理由ヲ覺リタルカ故ニ一八六九年英國倫敦ノミルウオル製造所

ノ技師長タルジョンヒウス氏ト條約ヲ結ビ政府ニテ彼レニ便利ナル條件ノ下ニ鐵軌ノ多クノ注文ヲ爲ス代リニ露國エカテリンノスラフ縣ニ於テ一ノ製鐵所ヲ設立スヘキコトヲ約シタリ現今ニ於テ此ノ製鐵所ニ五個ノ鑄鐵爐ヲ備ヘ毎年鑄鐵凡ソ六百萬ブーヅ鍊鐵百萬ブーヅ鋼鐵及ヒ鐵軌三百萬ブーヅヲ製造ス之ト同時ニドブ縣ニテ露國ノ資産家パスツーマ氏ハ其近方ニ於テ發見スル無烟炭ヲ以テ鑄鐵ヲ鑄解セン爲メ之ト同様ナル製造所ヲ設ケタリ其ノ後グリウイローグニ豐富ナル鐵礦ノ發見セラレタル爲メ石炭ヲ用ユル同様ナル多クノ製造所起リタリ一方ニ於テ政府ハ露國鐵道ノ發達ヲ謀ルノ目的ヲ以テ鋼鐵ノ鐵軌製造業ニ種々ノ獎勵ヲ與ヘ爲メ一八八一年ニ至レリ是レ等ノ製造所ヨリ一千三百萬ブーヅノ鋼鐵軌ヲ製造スルニ至レリ器械製造ニ就テハ前ニ述ヘシ如ク政府ハ鑄鐵及鍊鐵ノ無稅輸入ヲ許スニヨリテ之ヲ獎勵シタリ然レトモ器械及器具ノ輸入モ無稅ニテアリタレバ左程ノ利益モ爲サマリシ事情此ノ如クナルニ係ハラズ國中一般ノ需用大ニ増加シタルカ爲メ一八六〇年代ニ於ケル製造所ノ數ハ五十年代ノ凡ソ四倍ニシテ其後一八八〇年ニ至ルマデ續キテ増加シタリ奇ナルコトニハ其

後是等ノ製造業ニ保護稅ヲ加ヘラレタルモ器械ノ製造業ハ漸次衰退ニ赴キ鐵道熱ノ冷ヘタル後ハ鋼鐵軌製造業ノ衰退殊ニ甚シク一八八九年ノ後漸ク幾分カ恢復ヲ見ルニ至レリ

夫レ故ニ一八五七年ノ後クリミヤ戰爭前ニ存シタル保護稅ニテ永續セラル、コトアラバ之レガ我國製鐵業ノ發達ニ如何ナル影響ヲ及ボシタルカヲ知ルハ極メテ難事ナリトス當時製造業ノ衰退セルニ加ヘテ外國ノ鐵、鑄鐵及ヒ器械ノ輸入ニ妨害ヲ與ヘラル、コトアラバ一國全體ノ經濟上及其交通機關ノ發達ニ恐ラクハ不利ヲ與ヘタルナルヘシ然レトモ一八八〇年ノ始メニハ我製鐵業モ已ニ鞏固トナリ國中ノ需用ヲ充タスニ足リタルヲ以テ外國鐵及器械ノ無稅輸入ニテ永ク存スルコトアラバ國內製造業ニ容易ナラサル損害ヲ與ヘタルヲ知ルヘシ是レ一八八一年以來鑄鐵及鍊鐵ニ對スル輸入稅ヲ漸次増加シ以前ノ鐵及器械無稅法ヲ全ク廢シタルノ理由ナリトス

此ノ保護政策ノ結果ハ左ノ製産及ヒ輸入ノ統計表ニ依リテ最モ明カニ見ルヲ得ヘシ

製造總額 一八八一年

一八九三年

鑄鐵	二千八百六十六萬ブーツ	七千十四萬一千ブーツ
鐵	一千七百八十三萬九千ブーツ	三千三十八萬四千ブーツ
鋼鐵	一千七百九十萬七千ブーツ	三千八百六十二萬四千ブーツ
輸入總額	同	同
鑄鐵	一千四百二十九萬三千ブーツ	九百七十九萬九千ブーツ
鐵	六百五千四萬四千ブーツ	五百三十三萬九千ブーツ
鋼鐵	一百四十五萬ブーツ	二百十四萬五千ブーツ

此表ニヨリテ見レバ鋼鐵ノ輸入ハ幾分カ増加シタリト雖トモ鑄鐵ノ輸入ハ著シク減少セリ然レトモ國內消費ノ爲メニスル輸入品ト自國產ノ關係ハ全ク其趣キヲ異ニセリ即チ此ノ時期ノ間ニ内國產ノ増加ハ著シキコトニテ鑄鐵鐵鋼鐵ノ消費大ニ増加シタレトモ其多分ハ自國品ニテ供給セラル、コトナリ

西歐諸國及米國ニ於ケル製鐵業ノ進歩モ露國南部製鐵業ノ進歩モ何レモ鐵ヲ鑄解スルニ石炭ヲ用キルコトナレバ今後露國ノ製鐵業ニ於テモ同様ノ方針ヲ取テ

サルヘカヲサルコトハ明カナリ一八七〇年ノ頃露國ヲ漫遊シタル澳國ノ冶金學者ダンネル氏嘗テ左ノ如キコトヲ云ヘリ曰ク「ウラル」ノ鐵礦ハ宜シクドンドンニ其礦物ヲ供給スヘシ此ノ如キ便利ヲ有スル露國ハ製鐵業ニ於テハ一ノ競爭者ヲ有セサルベシ」ト當時ハ豐富ナルクリウイロツクノ鐵坑ハ未タ發見アラザリシ時ニテアリタルガ今日ハウラルノ鐵坑ノ助力ヲ仰カザルモ南部ヲ以テ露國製鐵業ノ最モ肝要ナル中心トナスニ足ルナリ然レトモ之レカ爲メニウラルノ鐵坑モ不用トナリタルニアラズ尙ホ之レヨリモ盛ニ發達セシメサルヘカラス一八九一年ノ穿鑿ニヨレバ只三十六個ノ製鐵場ノミハ其地方ニ産スル薪炭ヲ消費シ盡サザルモ他ノ十九個ノ製鐵場ハ其薪炭既ニ盡キントスルノ域ニ達シ而シテ他ノ三十六個所ハ其地方ニ生スル薪炭ヲ已ニ用ヒ盡シタレバ石炭ヲ用ヒサルヲ得サルノ位置ニ立テリウラルノ地方ニドネツツ炭坑アリ石炭ヲ供給シ而シテ未來ニ於テハ東部露國ノクズネツツ地方ヨリシベリヤ鐵道ニ之ヲ供給スルハ難キニアラサルヘシ蓋シクツネツツ地方ノ石炭ハ冶金業ノ如何ナル種類ニモ適應スル最モ佳良ナル「コーク」石炭ヲ産スト云フ又ウラル地方ニモ今日マデハ未タ其採掘ニ着手セザ

ルモ新シキ炭田ナキニアラサルナリ
 斯クテ露國製鐵業ノ未來ノ盛大ハ鐵礦及石炭ノ豊富ナルニヨリテ保證セラレタ
 リト云フヘシ要只此業ニ對スル十分ノ智識ヲ以テ適當ナル設計ヲ爲スニアルナ
 リ吾人ハ例令外國ノ市場ニテ勝ヲ得ルコトアラサルモ我國ニテ年々増加スルノ
 製鐵ハ國內ニテ充分ノ需用アルヲ知ルヘシ現今我國ニ於ケル鐵ノ需用ハ比較的
 尙ホ尠シト云フヘシ合衆國及白耳義ニ於テハ鑄鐵ノ消費額ハ一人六、ブーヅ十分
 ノ八獨國ニテハ五、ブーヅ十分ノ四英國ニテハ四、ブーヅ十分ノ五ノ割合ナルニ露
 國ニ於ケル此ノ消費額ハ一人前一、ブーヅノ百分ノ九十八ナルニ過キズ工業及交
 通機關ノ進歩ト共ニ鐵ノ需用ノ増加スルハ疑フヘカラズ一八八〇年ノ頃ニハ一
 人ノ消費額凡テ十七磅ナリシヲ思ヘバ大ニ増加シツ、アルヲ知ルヘシ
 製鹽業ハ之ニ對スル租稅ノ廢止以來頗ル發達シタルハ己ニ財政ノ篇ニ於テ述ヘ
 タルガ如シ吾人ハ茲ニ製鹽業ニ對シテ論述スルコトヲ止メ直チニ金ノ礦山業ニ
 論及ボスヘシ金ハ露國ニ於ケル凡テノ礦山業中產出金額ノ第一位ヲ占ムルモノ
 ニテ將來金貨本位ヲ實行スルニ望ミツ、アレバ經濟上殊ニ顯要ノ產物タルナ

リ

(丁) 金。鐵。業。 金ノ露國ニ於テ始メテ發見セラレタルハ十八世紀ノ時代ニアリト
 ス當時全世界ニ於ケル金ノ總額ハ二十五億萬ルブルスニ過キサリキ其後今世
 紀ノ二十年頃ニ至ルマテハ露國ノ金礦ハ甚ダ遅々タル進歩ヲ爲シタリ當時ハ現
 今金ノ重モニ生スル砂地ノ存スルコトハ未ダ知ラザル時ニテ金ハ重ニ水晶石
 ヨリ採リタルモノナルガ之ヲ水晶ヨリ得ルニハ資本ハ勿論有力ナル裝置ヲ要ス
 ルコトニテ此ノ如キコトノ爲メ資本ヲ出ス人ヲ金礦業者ノ中ニ得ルハ比較的ニ
 難事ナリシカバ往時此ノ業ノ進歩ノ遅々タリシモ理由ナキニアラサルナリ政府
 ノ此ノ業ニ對スル態度ハ時々變化シテ一定ノ方針アリトスルニアラズ一八一二
 年ニ至ルマテハ一私人ニテ此ノ業ヲ營ムヲ許サ、リシ其後地主丈ハ自家所有ノ
 地ニテ此ノ業ヲ營ムハ妨ナキコトニナリタリ其後砂金ノ發見アリタルニヨリ官
 有地ニ於テモ或人々ニ限リテ其業ヲ營ムコトヲ許シタリ而シテ一八三八年ニ鑛
 業條例ノ發布アリタルト共ニ一般ノ人々ニ此業ヲ營ムコトヲ許サレタリ此條例
 ニヨレバ金礦ノ穿鑿ハ猶太人ヲ除クノ外ハ何人モ自由ニ爲スヲ得然レトモ金ノ

探擇ニ着手スルニハ豫メ政府ヨリ許可ヲ受ケサルヲ得ズ金礦ノ出願人ハ先ツ或ル區域ニ限リ其地ヲ借用スルヲ得其探擇ノ方法ハ衛生ノ法律ヲ守リ人命ニ損害ヲ與ヘサル以上ハ礦業者勝手ニ定ムルヲ得礦業者ハ其借地ニ對シ借地料ヲ納ムルト共ニ探擇シタル金ニ對シテハ一定ノ租稅ヲ納メサルヲ得ズ礦業者ハ其金ヲ得ルヤ先ツ之ヲエカデリンブルグ、トムスク若クハイルクーツスクノ鍊金場ニ送り之ヲ金塊トナシ之ヲ聖ペートルスボルクノ造幣局ニ送りテ金貨トナス礦業者ハ六ヶ月毎ニ支拂フヘキ注文ヲ受クレトモ多クハ資金乏シキ人々ナレハ其融通ニ窮スルコトアレハ國立銀行ハ其産出シタル金ニ對シ資金ノ立替ヲ爲スコトヲ得ルナリ

年々金ノ産出高ニ相違ヲ見ルハ多クノ原因アルナリ先ツ第一ハ夏期中ノ降雨ノ分量如何ニヨリ水ノ多寡ヲ生シ爲メニ金礦業ニ大ナル影響ヲ及ホスナリ又穀物ノ相場ハ勞働人ノ賃錢ニ影響ヲ及ボシ且其廉不廉ハ金ノ産出ニ尠カラサル影響ヲ及ホスナリ最モ大ナル原因ハ金ト紙幣ノ爲替相場ノ相違ニシテ紙幣ノ價廉ナレバ金礦ノ利益多シトス礦業者ノ得失ハ屢其爲替相場ノ如何ニアルコトアリ是

等ノ理由アルカ故ニ將來金ノ製出高ヲ豫メ定ムルハ極メテ難事ナリトス

露國金ノ重ナル産地ハ第一東部シベリヤニテ其次ハウラル第三ハ西部シベリヤナリ此ノ三個所ニテ産出スル金ノ總額ハ九ト四ト一ノ比例ナリ凡テノ金礦ニテ産スル金ノ百分ノ九十三ハ砂金ヨリ得ルモノニテ其ノ百分ノ七ハ水晶石ヨリ得ラルハナリ一八八〇年以來ハ毎年金ノ産出額ハ二千十五ブーツト二千七百三十ブーツノ間ニアリテ格別ニ増減アルヲ見ス但シ此ノ三年間(一八九二年ヨリ一八九四年ニ至ル)ノ産出額ハ十年前ノ産出額ノ平均ヨリ遙カニ増加シタリ之レヲ要スルニ我國ノ金ノ産出額ハオースタラリヤ南部アフリカ及合衆國ニ次キテ第一位ヲ占ムルモノニテ世界ニ産スル金ノ凡ソ五分ノ一ニ達スルナリ

(戊) 礦業ノ産出總額 試ニ一八九三年ノ統計ニヨリ露國ニテ産出スル金及他ノ礦物ノ産出額及價格ヲ比較セハ左ノ如キ結果ヲ生スルヲ見ル

礦物

金

鑛鐵

二七三九

五四六七四二七

七〇、一四〇、五五九

四七、七五〇、〇〇〇

石炭	四六四、八一八、二九三	二、三〇六、三〇〇
ナフサ(礦油)	三五三、五二二、〇八二	六、九五四、六二七
鹽	八二、四八二、〇三七	五五、六〇五、八四四
銅	三三三、五〇八	三、九六六、三一四
白金	三一	二、二九三、〇七七
滿俺	一六、三九九、三五二	一、六七二、七四九
亞鉛	二七四、七七四	一、〇七一、五一〇
銀	五八〇	六九一、七四〇
水銀	一二、二七一	五五二、二一〇
地松香	九一一、二〇〇	二八七、〇〇〇
硫鐵	九九三、三二八	一二八、〇〇〇
鉛	五一、五一七	一一七、三〇六
フオッフオライツ	八三六、七三五	九二、四八五
グラブルスフート	三〇七、六三六	九一、八八五

灰色金	八九〇、四二九	八七、七五三
グラファイ	一九、〇〇〇	三八、〇〇〇
粘土	一九五、二〇一	三二、一二一
硫黃	三五、九七五	一八、〇〇〇
石絨	六四、六五四	一七、〇八九
錫	四一五	六、二五三
キル	一〇三、六〇〇	四、一四九
洋青亞鉛礦	一九二	

一四九、一六九、一二三

右ノ礦物中白金ノミハ之ニ一言ヲ加フルノ必要アルヘシ何トナレバ此ノ金屬ニ就テハ露國ノミガ其生産者ト云フモ謬言ニアラサレハナリ他國ニ於ケル白金ノ産出額ハ其總額ニ於テ僅カニ一年十、ブーヅニ過キサレハシ又水銀ハ重ニカテリノステフ州ノアフエルバク會社ノ製造所ニテ製出スルモノナルガ其會社ノ巧ナル設計ニヨリ他ノ國ニ於ケルヨリモ利潤多キ方法ヲ以テ製出スルコトアリ其結

果トシテ以前ハ一年三千乃至五千プーヅヲ輸入シ來リタルガ現今ハ八千乃至二萬プーヅヲ輸出スルコト、ナリタリ滿俺ハ重ニ高加索地方クレーテイ州及ベルム州ニテ産出スルガ此三地方ハ世界ニ於ケル最大ナル生産地ニテ全世界生産額ノ半以上ヲ産出スルナリ

以上陳述シタル所ニヨリテ之ヲ見ルモ露國ニ於ケル鑛物ノ生産額ハ未タ其天然ノ富源ノ裕ナルニ比較シ難キ程ニテ到底國民ノ需用ヲ充タス能ハサルコトヲ明言シ置クノ必要アルナリ而シテ是等ノ天然ノ富源ノ多分ハ未タ其採掘ニ手ヲ下サ、ルモノニテ他ノ西歐諸國ニ比シテハ非常ナル好望ノ位置ニアルモノト云フヘシ西歐諸國ニテハ己ニ何レノ處ニテモ地ノ中心マデ穿鑿シタルノミナラズ其ノ採掘ニ着手シテヨリ己ニ永年ヲ經タレハ早晚其財源ヲ取り盡スノ恐レアルナリ然レトモ斯ノ如キ觀察ヲ以テ吾人ハ現今ノ幼稚ナル位置ニ満足スヘキニアラズ現今吾人が如何ニ奮發シテ鑛業ヲ盛ニスルコトアルモ露國ニテハ永年ノ間ハ天然ノ富源ノ缺乏スルノ恐レナカルヘシ

第三節 製造業ノ重要

吾人が鑛山業ニ就キ稍詳細ノ論述ヲ爲シタルハ之ヲ以テ工業全體ノ發達ノ基礎ト爲シタレハナリ今ヤ他ノ業ニ移ラントスルニ當リ序論トシテ少シク製造業ノ重要ナルコトヲ掲グルハ無益ノコトニアラサルヘシ

露國カ世界ノ商業ニ於ケル位置ハ猶ホ比較的ニ劣等ナリト云ハサルヘカラス世界全體ノ商業中露國ノ商業ハ僅ニ其百分ノ三乃至三半ニ過キサルナリ然レトモ其輸出貿易ハ内國經濟ノ發達ト共ニ常ニ増加シツ、アルヲ見ル一八五〇年ニ於テハ輸出輸入ヲ合セ全體ノ外國貿易ハ金貨ニテ一億五千五百萬ルーブルスニ達シタリ即チ四十年間ニ五倍ノ進歩ヲ爲シタリト云フヘシ此ノ如キ進歩ニシテ將來愈繼續スト爲サバ終ニ世界ノ貿易ニ於テ最モ大ナル利益ヲ占ムル様之ヲ經營スヘキハ必要ノコトタリ而シテ此最モ大ナル利益ヲ占ムル道唯一アリ即チ國民勞働ノ生産力ヲ増加スルコト是レナリ實ハ勞働ノミガ天然ノ富源ニ價值ヲ與フルモノニテ地味如何ニ膏腴ナリト雖トモ勞働以テ之ヲ耕スコトナクバーノ價值アルナシ麥ハ膏腴ノ地ニ生ジ農夫ハ其收穫ヲ以テ之ヲ賣却ス即チ其利ヲ得ルモノハ只農夫ノミナリ又水車業者ハ小麥ヲ挽テ粉トナシ其勞働ニヨリテ利益ヲ

得酒造家ハ麥ヲ酒トナシ其勞働ニヨリテ利益ヲ得ルナリ若シ農夫ト水車業者ト
 造酒家ト同時ニ同國ニ住スルコトアラバ其ノ凡テノ收益ハ其國ニ存スヘシ小麥
 粉若クハ酒ヲ外國ニ輸出スルコトアラバ外人ハ其勞働ニ向テ代金ヲ拂ハサルヘ
 カラズ之ニ反シテ若シ麥ノ儘之ヲ輸出スルコトアラバ花粉トナシ又ハ酒トナシ
 タル利益ハ盡ク外人ニ占メラル、モノニテ若シ之ニ加ヘテ其花粉若クハ酒ニシ
 テ再ヒ輸入シ來テバ其國ノ損失更ニ大ナリトス勿論他國人ニ勞働ヲ與フル爲メ
 自國民ハ多クノ閑暇ヲ得ヘキモ此ノ閑暇ノ爲メ何ノ得ル所ナキノミナラズ反テ
 其閑暇ノ爲メ外人ニ多クノ代價ヲ拂ハサルヲ得サルナリ農業ノミナラズ他ノ業
 ニ於ケルモ其原理ハ之レト更ニ異ナルナシ此ノ如ク一國ノ富ト繁榮ノ増加ハ全
 ク其國民ノ勞働ヨリ得ル利益ノ如何ニアリトス而シテ勞働ヨリ得ル所ノ利益ハ
 工業ニ多キヤ又ハ農業ニ多キヤ此ノ問題ニ對シテハ我國經濟上ノ狀況ハ最モ有
 カナル答ヲ爲ステ得近時我國ノ工業ハ速カニ發達シツ、アルモ之ヲ西歐及合衆
 國ニ比スレバ尙ホ甚々幼稚ノ有様ニアリトナサ、ルヘカラズ我國ニ於テハ人口
 ノ百分ノ八十五ハ農民ニシテ工業製造業ニ従事スル人民ハ僅カニ其百分ノ一、二

五ニ過キズ

而シテ農産物ト製造品ノ總產出額ヲ概算スルニ農産物ハ人口一人ニ付十四ル
 ブルスニシテ製造品ハ十三ルブルス半ナリ製造ニ従事スル人甚々少ナキモ其
 產出總額ニ於テハ農産物ト殆ンド等シキニ在ルヲ知ルヘシ
 斯カル結果ヲ生スル理由ハ農業ニ用ユル働カハ多ク何ノ結果モナク何ノ價ヲ得
 ルコトモナク徒ニ消耗セラル、コトアレバナリ教授メンデリア氏ノ計算ニヨレ
 バ我國ノ農産ハ概畧其耕耘ト收納トヲ合セテ凡ソ五十億萬ノ人力一日一人前ノ
 勞働ヲ要ス露國一億二千萬ノ人民ノ内五千萬人が農業ニ従事シ毎年二百日(英國
 ニテハ一年一人ノ働日ハ三百日ナリ)勞働ニ従事スルト爲サバ百億ノ人力ヲ生ス
 ヘシ即チ其人力ノ半即チ五十億萬日ハ無益ニ消耗スルモノナリト知ルヘシ此勞
 働ヲ如何ニ有益ニ費スヘキカハ我國將來ニ於ケル經濟上尤モ大切ナル疑問ナリ
 此勞働ノ價値ヲ増加スルニ就テハ勿論智識ノ進歩種々ナル新事業ノ發起其他多
 クノ必要アルヘケレトモ今此所ニ論及スルコトヲ止メ單ニ農業ト工業ノ比較ヲ
 爲ス時ハ農業ノ改良器械ノ輸入等ハ如何ニ農業ノ生産力ヲ増加スルコトアラン

モ一國ノ富源ヲ爲スニ於テハ工業ニ依ラサレバ他ニ其途ナカラン
 農業ノ編ニ於テ吾人ハ己ニ我國穀類ノ相場ハ世界ノ競争ニヨリテ常ニ左右セラ
 ル、コトヲ指示シタリ不幸ナルコトニハ此ノ競争ニ於テ労働ノ最モ廉ナル南部
 ノ熱帶露國モ亦加フルニ至リシカバ穀類ノ下落甚クシク吾人ハ此上尙ホ農民勞
 働ノ賃銀ヲ引下クルニアラサレバ此ノ競争場裡ニ立ツ能ハサル位置ニ立テリ露
 國ニテ工業ノ進歩ト共ニ穀類消費ノ中心タル都市ノ成長ヲ見ルコトアルニ非レ
 バ穀類ノ相場ハ外國ノ相場ニ制セラレ愈下落スルニ至ラン此ノ農民收得ノ減少
 ハ一國ノ經濟ニ憂フヘキ影響ヲ來タセリ其ノ理由ハ我國ノ輸出ハ年々増加シツ
 、アリ工業モ益發達シツ、アリ其商況甚ク宜シキカ如クナレトモ内國民ノ消費
 額ハ更ニ増加スルノ傾キナキカ如キ不思議ナル現象ヲ見ルニヨリテ明カナリ
 農業ノ章ニ於テ吾人ハ我國ニ於テハ穀類ノ消費額ハ他ノ諸國例ヘハ佛國ノ如キ
 者ヨリモ僅少ナルコトヲ明言セリ然レトモ穀類ノ消費ハ全體人口ノ増加ニ比例
 シテ増加スヘキナリ製造品ノ消費額ハ一國富ノ増加ト共ニ併ビ進ム者ナリ一八
 八〇年ニ於テ露國製造場及鑛業ニ依テ製出シタル物品ノ消費額ハ外國輸入品ト

モ合セテ十八億一千八百萬ルーブルスニ達シタリ其ノ後一八八一年ヨリ一八八
 五年ニ至ル五年間ノ平均消費額ハ十八億五千四百萬ルーブルスニテアリタリ又
 次ノ五ヶ年即チ一八八六年ヨリ一八九〇年ニ至ル平均ハ十九億三千二百萬ルー
 ブルスニ及ベリ即チ十年間ニ於ケル増加ハ一億一千四百萬ルーブルスナリ而シ
 テ一八八〇年以後其消費額ハ年々増加シ遂ニ一八九〇年ニハ二十億七千二百萬
 ルーブルスニ達シタリ即チ一八八〇年ノ消費額ニ比スレハ二億五千四百萬ルー
 ブルス多ク一割四分ノ増加ナレトモ吾人カ茲ニ記憶セサルヘカラサルコトハ同
 時ニ於テ我カ人口ハ少ナクモ同等ノ比例ニテ増加シタルコトナリ其レ故ニ製造
 品ノ消費ハ人口ノ増加ト共ニ増加シツ、アレトモ國民ノ購買力ニ於テハ少シノ
 増加アルヲ見サルナリ然ルニ此ノ數年間穀類ノ價ニ於テ甚シキ下落アリタルヲ
 見ルニ其ノ購買力カ之レト共ニ減少セサルノ理由ハ其ノ國民ガ農業以外ノ製産
 ニ其労働ヲ用ヒタルノ結果ニ歸セサルヲ得ス是レ將來ニ於テ我カ國製造業ノ發
 達ニ最モ力ヲ用ヒサルヘカラサル所以ニテ前二帝ノ經濟上ノ政畧モ此ノ目的ヲ
 達スルニ外ナラサリキ

一八六一年二月十九日ノ大改革ヲ以テ我國ニ始メテ自由勞働ナルモノ起リタリ
 (即チ奴隸ノ解放ヲ云フ)是レ一國繁榮ノ基礎ニシテ一國繁榮ノ發達ニ大ナル門戸
 ナ開キタリト云フヘシ同時ニ交通ノ機關ニ大ナル改良ヲ施サレタリ吾人カ財政
 ノ章ニ於テ明言シタルカ如クアレキサンダー三世ノ賢明ナル保護政策ハ露國
 ニ新ニ生シタル製造ヲ保護シ之ニ多少外國ニ獨立シタル位地ヲ與ヘタリ此ノ政
 策ノ結果如何ヲ判スルニハ製造品輸出入ノ總計ヲ比較スルニアリトス
 歐洲國境ニ於ケル輸出入五ヶ年ノ平均ハ左ノ如シ

年	輸出	輸入	合計	輸出超過
一八五二—一八五五	八千二百萬	七千四百萬	一億五千五百萬	七百萬
一八五六—一八六〇	一億四千二百萬	一億二千萬	二億六千一百萬	二千一百萬
一八六一—一八六五	一億四千萬	一億二千百萬	二億六千一百萬	一千九百萬
一八六六—一八七〇	一億九千二百萬	二億一千二百萬	四億〇四百萬	輸入超過 二千萬
一八七一—一八七五	三億〇三百萬	三億六千四百萬	六億六千七百萬	同 六千一百萬
一八七六—一八八〇	三億四千五百萬	三億二千六百萬	六億七千一百萬	輸出超過 一千九百萬

一八八一—一八八五	三億四千六百萬	三億〇四百萬	六億五千萬	同 四千二百萬
一八八六—一八九〇	三億八千萬	二億二千四百萬	六億〇四千萬	五千六百萬
一八九一	四億二千三百萬	二億二千萬	六億四千三百萬	二億〇三百萬
一八九二	二億五千二百萬	二億一千九百萬	四億七千一百萬	三千三百萬
一八九三	三億三千九百萬	二億五千八百萬	五億九千七百萬	八千二百萬
一八九四	三億九千九百萬	三億二千七百萬	七億二千七百萬	七千二百萬

是ニ依テ之ヲ見レバ千八百七十六年以後ハ保護稅ノ影響トシテ外國貿易ノ平均
 ハ常ニ益々自國ノ利益ニ歸シツ、アルヲ知ルヘシ一八九一年ニ於テハ其差異殊
 ニ甚ダシ是レ全ク其年ノ保護稅ノ結果ニ因ルナリ一八九二年ニ於テ輸出ノ減シ
 タル理由ハ穀物輸出ノ禁アリタルニヨル後ノ二年ハ我外國貿易ガ當然ノ發達ヲ
 爲シツ、アルヲ見ルヘシ

外國製造品輸入ノ減少アルニヨリテ自國製造業ノ益々發達スルヲ見ルヘシ一八
 七八年ヨリ一八九二年ニ至ルマデ其製造品ノ價格ハ酒、煙草、其他ノ有稅品ヲ除キ
 五億八千八百萬ルーブルスヨリ十二億二千五百萬ルーブルスニ増加シタリ即チ

一倍ヨリ多キノ増加ナリ又一八八〇年ノ製産額八億四千二百萬ルーブルスノ四割五分ノ増加ナリ内國ノ市場ニ於テ自國品ハ漸次輸入品ヲ放逐シツ、アリー一八〇年ニハ自國製造品ノ價格ハ全消費額ノ百分ノ六十六ナリシカ一八九二年ニハ百分ノ八十二達シタリ此ノ如キ成功ハ偶然ニ得ラレタルモノニアラズ全ク多年ノ勤勉ト保護政策ノ効果ニヨルナリ然レトモ露國ノ製造業ハ茲ニ止マルヘキニアラス保護政策ハ不思議ニ其効果ヲ顯ハシ露國製造業ノ發達ニ獨立ノ位置ヲ與ヘタリト雖トモ尙ホ其發達ヲ全フスルニハ今後資本ト智識ト労働者ノ適當ナル組合組織ヲ要スルナリ

第四節 製造業ノ種類

我國ニ於ケル各種ノ製造業中孰レカ比較的ニ大切ナルモノナルカハ其製造品價格ノ統計ニヨリテ知ルヲ得ヘシ

一、織物糸物類	一八八〇年	一八九二年	比較増減
二、食品(酒煙草等ヲ除ク)	四億二千萬	五億八千一百萬	増 百分ノ三十八
	一億二千四百萬	二億一千三百萬	増 七十二

三、金屬類	一億一千六百萬	二億〇四百萬	増 七十六
四、草及畜類	九千八百萬	七千三百萬	減 二十五
五、陶磁器	二千七百萬	三千三百萬	増 十八
六、木材	一千九百萬	三千一百萬	同 六十三
七、紙類	一千六百萬	二千六百萬	同 六十三
八、化學製造品	一千三百萬	三千萬	同 百三十
九、他ノ製造品	九百萬	三千五百萬	同 二百九十

酒、砂糖、其他有稅品ノ價格ニ關シテハ未タ充分ノ取調ヘナキカ爲メニ茲ニ掲グルヲ得ス一八九二年ニ於ケル是等有稅品ノ價格ハ其ノ税金ヲ除キテ概畧二億六千百萬ルーブルスナリトス

以上ノ統計ノ比較ニヨリテ之ヲ見レバ製産額ノ最モ多キハ織物類ニテ其七割ハ木綿類ナリトス之レニ次クモノハ酒、砂糖等有稅品ニテ其次ハ食品終リニ金屬類ナリトス此書ニ於テ是等諸種ノ製造業ノ詳述ハ爲シ得ヘキニアラズ故ニ吾人ハ政府ヨリ殊ニ其獎勵ヲ與ヘタル四種ノ製造ニ對シ數言ヲ費スヘシ金屬類ニ就イ

テハ鑛山ノ部ニ於テ己ニ掲ケ置キタルコトナレバ再ヒ之ヲ記述スルノ必要ナカ
ルヘシ

(甲) 酒造業 酒造業ヨリ得ル所ノ租税ノ金額ハ僅少ニアラズ酒造業ニ對スル政
府ノ政策ハ己ニ財政ノ章ニ於テ詳論セシ所ナリ故ニ吾人ハ之レニ關スル數點ノ
考説ヲ掲クヘシ

酒造業ハ農業ト非常ニ密切ナル關係ヲ有スルモノナリ農業者ニ於テ酒ヲ造リ其
ノ酒精ヲ殘シテ酒ノミヲ賣ルハ穀類ノミヲ賣ルニ比スレバ遙カニ利益多シ其ノ
理由ハ農産物ナル馬鈴薯、玉蜀黍、甜菜、穀類ヲ以テ酒精ヲ製スルハ亩ニ農産物ヲ以
テ運搬ニ便ニシテ高價ナル物體ニ變セシムルノミナラズ此ノ物體ノ元素タル植
物ガ空氣ヨリ吸收スル水ト炭素ト窒素ノミナレバ農夫ハ只空氣ヨリ得ルモノヲ
賣却スルノミニテ地ヨリ得ル所ノ窒素質其ノ他ノ元素ハ酒精ノ中ニ殘シ置キ之
ヲ以テ肥料トナシ再ビ地ニ歸セシムルヲ得ルナリ故ニ農業者ハ農産物ノ代リニ
酒精ヲ賣却スルコトヲセバ亩ニ之レニ對シテ多額ノ代金ヲ得ルノミナラズ地ヲ
瘠セシムルコトナク同時ニ酒精ヲ以テ家畜ヲ飼ヒ之ニヨリ尙ホ多クノ利益ヲ得

ルナリ

此ノ如キ考案ハ一個人ノ場合ニ於テモ有益ナルノミナラズ露國ノ如キ産業國ニ
於テハ殊ニ然リトス露國ニテハ穀類ヲ輸出スルヨリモ之ヲ酒精トシテ輸出スル
ハ遙カニ利益多キコトナリトス然ルニ不幸ニシテ露國酒精ノ製造ハ尙ホ未タ其
有望ナル發達ヲ見サルナリ政府保護金ノ影響トシテ一八六〇年ニハ僅々十萬ウ
エドロス位ノ輸出額ナリシ酒精ハ一八八七年ニハ六百五十萬ウエドロスニ達シ
シタリ然レトモ其後保護金ノ減少ニヨリ漸次衰退ニ趣キ今日ニ於テハ二百萬ウ
エドロスニ過キス我國ノ酒精製造家ガ只政府ノ保護ニ依頼シテ獨立ニ此ノ業ノ
發達ヲ謀ラサルハ嘆スヘキコトナリ斯クノ如キ状態ナレハ吾人ハ國內ニ於ケル
消費額ニヨリテ酒精ヲ製セサルヘカラルカ不幸ニモ此ノ消費額ハ近來絶ヘズ減
少シツ、アルナリ一八八三年ニ於テ一人ノ消費額ハウエドロス百分ノ三十三ナ
リシガ今ハ十分ノ二ニ減シタリ之レヲ以テ獨國、英國、佛國等ニ比スレバ三分乃至
四分ノ一ニ過キサルナリ而シテ製造地ニ於ケル一人前平均ノ消費額ハ稍々多ク
レトモ農業地ニ於テノ消費額ハ實ニ僅少ナリトス此ノ如キ事情ノ下ニアリテハ

酒精ノ製造モ到底増加スルノ望ミナシ一八八三年ヨリ同シク八十八年ニ至ル六年間ニ於テ毎年ノ酒精ノ製造額ハ三千三百萬ウエドロスナリシカ次キノ六年即チ一八八八年ヨリ九十三年ニ至ル製造額ハ平均一ケ年三千萬ウエドロスニ減シタリ

(乙) 製糖業 酒精ノ外露國製造業ニ於テ著シキ位置ヲ保ツモノニアリ製糖業及ヒ木綿業是レナリ製糖業ハ西歐諸國ト同時ニ起リタルモノニテ其始メハツラ縣ニ起リタリ最初數年ノ間ハ格別緊要ノ業ト見做サレサリシ最初ハ製糖機ハ凡テ地主ノ所有スル所ニテ製糖業ハ全ク農業ニ對スル副業ニテアリタリ製糖ノ新法ノ發見及ヒ一八二五年外國ノ輸入ノ砂糖ニ對シ重稅ヲ課セラレタル以來我カ國ノ製糖業ハ頓ニ著シキ發達ヲ爲シタリ一八四四年ニハ製造場ハ二百六個所ノ多キニ及ビ砂糖ノ製産額ハ四十八萬四千ブツニ達シタリ此ノ如キ製糖業ノ發達ハ政府ノ俄カニ注意スル所トナリ之ヨリ財源ヲ得ルノ目的ヲ以テ一八四六年ニ初メテ適當ナル稅ヲ課セラレタリ之レカ爲メ製糖業ノ發達ヲ妨グルコトナク一年ニ五十萬ルーブルスノ歲入ヲ來タシタリ其ノ後製糖場ハ漸次増加シ其產出

額モ年々増進シ外國砂糖ノ輸入モ大ニ減少スルニ至レリ此ノ世紀ノ五十年代ノ半ヨリ新式ノ製糖法發見セラレ製糖業ニ一紀元ヲ開クコトナリタリ
蒸氣沸騰ノ輸入ト共ニ小製造場ノ利益大ニ減少シ製糖業ハ漸次比較的少數ノ人々ノ手ニ渡リ大仕掛ノ製造ノミ盛ニナリ農業者ノ所有シタル製造場ハ全ク閉チラルハニ至リタリ此變化ニ關シテハ奴隸開放ノ影響尠ナカラズ何トナレバ農業者ハ從來彼レ等ガ利用シタル無代價ナル奴隸ノ勞働ヲ失ヒタレバナリ一八六〇年ニハ尙ホ四百三十二個所ノ製造場アリシガ一八七〇年ノ始メニ至リ二百三十五個ニ減ジ同時ニ砂糖ノ製造額ハ殆ント十倍シタルナリ又一八七〇年ヨリ同シク八十年ニ至ル間ニ製造場ノ數ハ更ニ増加セサレトモ砂糖ノ製造額ハ二倍スルニ至レリ此ノ如ク小製造ノ衰退ニ至リタルニハ他ニ又一ノ原因アルナリ即チ課稅ノ方法ガ小製造ニ不利益ナリシナリ租稅ハ製造シタル砂糖ノ量ニ對シテ課セラルハニアラス只タ砂糖ノ原料タル甜菜ノ或ル一定ノ分量ニ課セラル製造ノ方法ハ益改瓦ヲ見ルニ從テ從來ノ甜菜ノ幾何ヲ以テ砂糖ノ幾何ヲ製出スルモノトセラレタル法律ハ大ニ其實ヲ誤ルコトナリタレバ一個人ニテ多量ノ砂糖ヲ製

スレバ比較的ニ少額ノ租税ヲ納ムルナリ即チ其利益ハ少量ノ砂糖ヲ製スル人々ニ比シテ甚タ多シトス故ニ多量ノ砂糖ヲ製スル人ハ最初定メラレタル一定ノ租税ノ三分ノ一若クハ四分ノ一ヲ納メテ事足ルコト、ナリタリ

又他ノ一方ニ於テハ大藏省ハ外國ニ輸出スヘキ砂糖ニ對シ其ノ僅少ナル税ヲモ免シタルナリ是等ノ事情ト砂糖ノ高價ナルコトハ製糖業ニ於ケル一時ノ不健全ナル流行ヲ來タシタリ又タ一八八一年ニ於テ砂糖ニ對スル課税法ヲ改革シ製造シタル砂糖ノ額ニ對シテ税ヲ課スルコト、ナリタルカ爲メ政府ノ歳入ハ二倍乃至三倍ノ増加ヲ見タリ然レトモ砂糖ノ製造額八年々漸次増加シ一八八五年ニハ二千九百萬ブツノ多キニ達シタリ其後砂糖ノ代價俄カニ下落シタレハ政府ハ内地ニ在ル餘分ノ砂糖ヲ處置シ其代價ヲ維持セン爲メ特別ノ政畧ヲ行ヒタリ一八八五年以後ニ於テハ政府ハ輸出スヘキ砂糖ニ對シテ徒ニ其税ヲ免スルノミナラズ之レニ保護金ヲ與ヘタリ爲メニ砂糖ノ輸出ハ著シク増加シタレトモ之ニヨリテ内地ニ於ケル砂糖ノ代價ヲ維持スルコト能ハサリキ何ントナレバ一八八五年後ハ甜菜ノ製産額殊ニ多額ナリシナリ大藏省ニ於テハ砂糖製造家ヲ警メテ甜

菜ノ植付ヲ減セシメ又保護金ノ下付ヲ止ムヘキコトヲ以テシタレトモ格別ノ效カナク一八八六年ニ於テハ砂糖ノ代價又著シク下落スルニ及ビタリ

一八八七年ニ至リ製糖業者ハ外國シンジケート(糖業組合)ニ倣ヒ一種ノ組合ヲ設ケ内國市場ニ於ケル砂糖ノ代價ヲ或ル程度マデ昇ス爲メ製造品ノ或ル部分ヲ輸出スルノ約ヲ結ヒタリ此ノ組合ニ加入シタル製糖業者ハ二百十人ニシテ一八九二年ニ至ル迄ハ之カ爲メ砂糖ノ相場ニ格別ノ變動アルヲ見ズ畧一定ノ相場ヲ維持スルヲ得タリ同年ニ至リ甜菜ノ不作ト内國ノ市場ニ於ケル砂糖ノ欠乏トニヨリ其相場ハ俄ニ昇リタレバ當ニ組合約束ノ輸出ヲ廢シタルノミナラス政府自ラ外國ヨリ砂糖ヲ買入レ之ニヨリテ不當ナル砂糖相場ノ騰貴ヲ防キタリ

政府ニテ斯クノ如キ保護ヲ與ヘタルニ係ハラズ國內ニ於ケル需用外ノ産出ハ減スル所ナカリキ一八八五年ヨリ一八九五年ニ至ル迄政府ノ非常ナル助力ヲ以テ四千八百萬ブツノ砂糖ヲ輸出シタレトモ其相場ヲ充分維持スルコト能ハサリシハ全ク獨國佛國及ヒ澳大利ニ於テ露國ト同シク需用外ニ多クノ砂糖ヲ産出シ共ニロンドンノ市場ニ積ミ出シタルニヨルナリ此ノ如キ事情アリタルカ爲メ製

糖業者ノ組合モ充分其効ヲ奏スルコトヲ得サリキ是レ一ニハ製糖業者ニテ此ノ組合ニ加入セサルモノアルト又之ニ加入セシモ嚴重ニ其ノ條約ヲ守ラサリシニヨルナリ

以上開陳シタルカ如キ事情ナルカ故政府ハ遂ニ製糖業ニ對シ一種ノ制限ヲ設クルニ至レリ先ツ砂糖ノ消費額ヲ政府ニテ査定シ此ノ額ニ超過スル所ノ砂糖ニシテ市場ニ賣出サル、コトアラハ之ニ一倍ノ稅ヲ課シ若シ之ヲ以テ海外ニ輸出スルコトナセハ全ク無稅タルヲ得且ツ各製造家ハ砂糖ノ或ル額ヲ蓄ヘ置カサル可カラズ而シテ若シ消費者ニ害ヲ與フル程相場ニ高直ヲ來スコトアラハ之ヲ市場ニ賣出ス可シ全國毎年ノ消費額ハ年々査定セラル、所ニヨル此ノ保護策ハ一千八百九十五年ノ終ニ於テ皇帝ノ裁可ヲ經タル者ナリ

(丙) 木綿業 木綿製造業ノ呈出セシ現象ハ全ク砂糖業ト異ニシテ木綿業ノ始テ露國ニ起リタルハ十八世紀ニアリトス最初ハ何ノ機械モナク綿糸ハ村々ニ於テ農民ノ間ニ分配セラレ普通用ヒラル、所ノ簡單ナル手機ニテ織ラレタリ其後間モナク二十若クハ三十ノ機ヲ備ヘタル小ナル織場ハ處々ニ設ケラレ十八世紀ノ

中頃ニ至テハ村落ニ於ケル木綿機業ノ流行甚シク之レガタメ殆ント麻布織ノ業ヲ排斥スルニ至レリ之レト同時ニ染物業ハ先ツウラジミール縣ノイウアノウオ村ニ起リ而シテ十八世紀ノ終ニ於テハ處々ニ起リタリ其ノ頃ハ露國ノ綿布及ヒ晒綿^{サシメ}殊ニ其染方ニ於テハ他ノ西歐諸國ノ製造ニ勝ルトノ評アリタリ此世紀ノ始メヨリ英國ノ糸ヲ以テ織ル粗ナル晒綿織ハウラジミール、モスコ^イノ二縣ノ外他ノ處々ニモ擴マリタリ而シテ綿糸ノ必要大ニ増加シタルガタメ紡績所ヲ起スノ企アルニ至ル千八百十二年ノ戰爭ハ露國木綿業ノ發達ニ大ナル妨害ヲ與ヘタレトモ七十年代ニハ俄ニ此業ノ發達アルヲ見ル最初ハ露國器械製造所ノ不整頓ナルガタメ紡績器械ハ悉ク英國ニ其ノ輸入ヲ仰キタリ然ルニ政府ハ一千八百四十二年ニ至ル迄其ノ器械ノ輸入ヲ禁シタルカタメ多ク密輸入ニヨリテ之ヲ輸入シタリ斯カル障害アルニ係ラズ千八百四十三年ニハ四十ヶ處ノ紡績所ニテ三十五萬錘ヲ備フルニ至ル而シテ其ノ十年後ニハ殆ト百萬錘ニ増加シタリ
露國ノ木綿業カ如何ニ發達シツ、アルカ八年々露國ニ輸入スル綿ノ増加ニヨリテ知ルコトヲ得ベシ一千八百五十五年綿ノ輸入ハ僅ニ百五十萬ブーヅニ過ギサ

リシガ其後年々増加シタルハ左ノ表ニヨリ之ヲ知ルベシ
年々平均輸入額

一八七七—一八八一	五百八十萬ブーツ
一八八二—一八八六	六百九十萬ブーツ
一八八七—一八九一	八百十萬ブーツ
一八九二	九百四十萬ブーツ
一八九三	九百六十萬ブーツ
一八九四	千百三十萬ブーツ

此綿ハ歐洲ノ國境ヲ越ヘテ輸入シ來リタル者ナルガ年々亞細亞ノ國境ヲ越ヘテ輸入シ來ルモノ大約八十乃至九十萬ブーツアルナリ之ノミナラズ尙重大ナル事實ハ露國ニ於テ莫大ナル綿ノ產出アルコトナリ現今ノ綿ノ重ナル生産地ハトルキスタン、コーカサス、キーワ、ボクハラノ諸地方ナリ此諸方ニテ産スル綿ハ一千八百九十年ニ於テ三百萬ブーツニ達シタリ現今ハ恐ラク之ヨリ遙ニ多額ナル可シ露國木綿ノ發達右ノ如ク著名ナルガ故現今ハ露國人民木綿ノ需用ハ殆ト全ク内

國産ノミニテ供給セラルモノト知ル可シ

紡績糸ノ輸入ハ年々大ニ減少シ今日ハ全國ニ費ス紡績糸ノ百分ノ二半ニ過ギズ而シテ木綿織物ノ輸入モ亦非常ニ減少シ現今ハ全露國人ノ消費スル木綿物ノ三百分ノ一ニモ及ハサル可シ勿論露國ヨリ木綿織物ヲ他國ニ輸出スル者ハ至テ僅少ニシテ其ノ市場モ全ク亞細亞ニ限ラレタルガ此ノ輸出ハ年々大ニ増加スルノ望ミアルナリ内國ノ市場ハ今ヤ全ク内國品ニテ勝ヲ制シ居ルカ其ノ消費額カ年々増加スルノミナラズ又タ其ノ品位モ年々高マリツ、アルヲ見ル千八百八十年木綿織物ノ總額ハ輸入品トモ合セテ二億七千萬ルーブルスニ達セザリシガ其ノ十年ノ後千八百八十九年ニハ五億萬ルーブルスニ達セリ

現今紡績業ニ就テハ歐洲大陸中露國ハ其ノ第一位ヲ占ム即チ千八百九十一年ニ於テ佛國及ヒ獨國ニ於テハ各五百萬鍾以内ナルニ露國ニハ既ニ六百萬鍾アリタリ他ノ大陸諸國ノ紡績業ハ遙カ此レニ劣レリ斯クテ歐洲大陸紡績業ノ四分ノ一ハ露國ノ占有スル所ナリ然レトモ之レヲ以テ英國ニ比スレハ尙ホ遙ニ其ノ背後ニ立ツト云ハサル可カラズ千八百九十四年ニ於ケル英國ノ紡績ハ五千二百萬鍾

ナレハ露國ノ七倍乃至八倍ナリトス然レトモ生綿ヲ用ユル量ニ於テハ露國ハ比較的ニ英國ヨリ多ク用ユルナリ何トナレハ英國ニテハ重ニ上等ノ紡績糸ノミヲ製スルニ露國ニテハ中若クハ下等ノ紡績糸ヲ製スレハ一錘ニテ用ユル處ノ生綿ハ大約ソ英國ノ二倍ナリトス是レ露國製造家ノ深慮ヲ要スル所ニテ現今ノ有様ニテハ上等ナル糸ヲ製スルニ於テ英國ト競争スルコトハ到底爲シ得ベカラサル所ナレバナリ

木綿製造家ハ政府ガ外國ノ木綿ニ對シ輸入稅ヲ課スルコトナレハ外國ト競争スルノ恐ナシ此故ニ木綿品ハ他國ニ比スレハ稍高價ナリ而シテ此レカ爲メ消費者ニ僅少ナル損失アリト雖モ斯業ノ發達ヨリ全國ニ大ナル利益ヲ來スコトアレバ此ノ損失ヲ購フテ尙ホ餘リアリト云フ可シ何トナレハ若シ此ノ保護アラサルニ於テハ吾人ハ外國人ニ向テ生綿ヨリモ木綿ノ織物ニ對シ二倍半ヲ拂フニ至ル可シ(一億萬ノ代リニ二億五千萬)此上ニ尙ホ我國民ハ四千萬ルーブルス以上ノ資金ヲ損ス可シ且ツ然ラサルニ於テハ常ニ發達シツ、アル木綿ノ產物ハ遂ニ國內ニ於テ増進スルノ機ナカル可シ

製糖業ト酒造業ト木綿業ノ發達ノ順序ヲ比較スルトキハ其ノ間ニ存スル根本的ノ相違ニ注意スルコトナクンバアヲズ第一ノ業ニ於テハ其ノ發達ハ總テ政府ノ特別ナル保護獎勵ニヨルナリ製造家ハ自己ノ利益如何ヲ顧ミルコトナク唯其ノ生産高ヲ増加センコトヲ計リ終ニ政府ヲシテ法律ヲ以テ其ノ製造ヲ規定スルノ已ムヲ得サルニ至レリ之レ製造家自身ニテ爲ス可キ事ヲ政府自ラ此レヲ爲シタル者ナリ木綿業ノ場合ニ於テハ全ク此レニ反シ政府ハ唯輸入品ニ稅ヲ課スルノミニシテ他ノ業ト同様ナル保護ヲ與ヘタルニ過キズ此ノ業ニ於テハ製造家ハ政府ノ保護補助ニ依頼スルコトナク當然ノ順序ニヨリテ漸次發達ニ就キ外國品ヲ着々内國ノ市場ヨリ放逐シ遂ニハ其ノ國境ヲ超ヘテ他國即チ競争ノ最モ少ナキ亞細亞ノ諸國ニ迄輸出シ其ノ製造品モ重モニ國狀ニ適スル者ノミヲ製シタリ又此業ノ製造家ハ其ノ製造品ノ相場ヲ適當ニ引下ケ大ニ其ノ得意先ノ區域ヲ廣メタリ製糖家ノ場合ニ於テハ砂糖ノ相場ヲ維持スル能ハサルヨリ政府ノ保護ニヨリテ之ヲ維持シタルガ其ノ相場タル之ヲ以テ其他歐洲ノ市場ノ相場ニ比スレハ其稅金ヲ引去ルモ尙高價ナリトス是レ露國ガ他ノ歐洲諸國ニ比シテ砂糖ヲ消費